

平成 29 年 度

学 生 要 覧

新 潟 大 学 教 育 学 部
新 潟 大 学 養 護 教 諭 特 別 別 科

目 次

1	はじめに	1
2	履修計画作成の手引き	2
(1)	履修	2
1)	教養教育に関する科目の履修	2
2)	専門教育に関する科目の履修	2
3)	履修科目選択時の注意事項	3
(2)	履修の手続き	3
1)	履修申請（聴講希望科目の聴講許可申請）	3
2)	履修確認	3
3)	聴講の取消し	3
4)	試験及び単位認定	3
(3)	指導教員	4
(4)	卒業のための基準	4
3	各課程の教育指導方針及び専門教育に関する授業科目の履修	6
(1)	学校教員養成課程	6
	学校教育学専修	7
	教育心理学専修	7
	特別支援教育専修	8
	国語教育専修	8
	社会科教育専修	9
	数学教育専修	10
	理科教育専修	10
	音楽教育専修	11
	美術教育専修	12
	保健体育専修	12
	技術科教育専修	13
	家庭科教育専修	14
	英語教育専修	14
(2)	専門教育に関する授業科目履修案内	16
4	教育職員免許状の取得	42
(1)	取得することができる教員免許状の種類及び免許教科	42
(2)	教員免許状取得に当たって	42
(3)	義務教育教員免許状取得に際しての介護等体験の義務づけ	44
(4)	教育実習の履修要件	45
(5)	教員免許状取得のための授業科目の履修方法（主専攻の履修方法を示す。）	47
5	教育学部の事務組織	64

6 修学上の諸事項	65
(1) 学生への通知・連絡	65
(2) 学生証	65
(3) 各種証明書の交付	65
1) 在学証明書・学業成績証明書・卒業見込証明書等	65
2) 学生旅客運賃割引証（学割証）	65
3) 通学証明書	66
(4) 休学・退学等の願い出	66
1) 休学願，退学願	66
2) 復学届	66
3) 長期欠席届	66
(5) 届け出等の諸手続き	67
1) 連絡先届	67
2) 身上異動（改氏名・本籍変更・保証人変更・保証人住所変更等）	67
3) 海外旅行	67
(6) 課外活動等の手続き	67
1) 教室使用願	67
2) 文書等・印刷物の掲示，配布，発行	67
3) 団体結成届及び集会（催物）届	67
(7) 大学構内への車両乗り入れ規制	68
(8) 盗難防止	68
(9) 悩みや困りごと相談	68
7 新潟大学養護教諭特別別科	72
(1) 履修の手続き	72
(2) 指導教員	72
(3) 修了のための基準	72
(4) 修了後の資格	72
8 教育学部諸規程	73
(1) 新潟大学教育学部規程	73
(2) 新潟大学教育学部教育実習規程	107
(3) 新潟大学教育学部卒業研究細則	110
(4) 新潟大学教育学部第1年次に入学した学生の既修得単位等の認定に関する取扱要項	112
(5) 新潟大学養護教諭特別別科規程	116
9 関係法規	120
(1) 教育基本法	120
(2) 教育職員免許法抄	123
(3) 教育職員免許法施行規則抄	128

1 はじめに

1 はじめに

教育学部は、総合大学である新潟大学における教員養成の基幹学部として、学校及び地域社会における教育的指導者の養成を目標とし、専門職としての学校教員の養成を行う。

教育学部の教育は、教養教育(教養教育に関する授業科目)と専門教育(専門教育に関する授業科目)とから成る。

教養教育は、豊かにして高度な人間的資質の育成を目的とする。科学技術が高度化し、専門化・細分化されていく現代社会においては、それぞれの専門領域を超えて、問題を多角的・包括的・総合的に捉えることのできる資質・能力が必要とされてきている。教養教育では、このような現代的課題に応えるべく、特定の専門領域に偏ることなく、広範囲に亘って学習することが求められる。一般論としても、専門的な学問研究を創造的に推進していく基盤として位置づけられる教養教育であるが、それは実践的指導力を身につけた教育的指導者の養成を目的とする本学部においては、特に重要な位置を占めることになる。このような観点から、ともすると過小評価を以て敬遠しがちな教養教育についても、より積極的・能動的に受講することが求められる。

専門教育は、それぞれの専門領域に関する知識や技能の修得を目的としていることは言うまでもない。しかし、その専門的な知識や技能が、現実実践的指導力として十分に機能しうるものでなければ意味をなさない。単に伝達された受動的な知識・技能では不十分であり、直接的な体験を通して臨床的に体得された、積極的・能動的な知識・技能でなければならない。特に、複雑・多様な現代的課題の解を得るためには、体験的・臨床的に獲得された知識・技能が不可欠である。それゆえ、本学部の専門教育においては、教育実習を始めとする体験的・臨床的な学習が重視されている。単に受動的に学ぶのではなく、自らの身体を通して積極的・能動的に学習しようとする意欲・姿勢が求められる。そのためには、まず自ら問題(課題)意識を持つことが必要である。日常生活においても、常に自分自身を取り巻く状況・事柄に興味と関心を抱き、そこから問題を見出し、それを課題化する鋭敏な知性と感性とが求められる。

以上のような本学部の教育目標とカリキュラムの特色を十分に理解し、綿密・周到な履修計画を立て、実り豊かな大学生活を築き上げてほしい。

2 履修計画作成の手引き

2 履修計画作成の手引

(1) 履 修

1) 教養教育に関する授業科目の履修

教養教育に関する授業科目は、人間、社会及び自然に対する広く深い理解を育成し、現代世界が抱える様々な問題に立ち向かうことができる多角的・総合的な見方行動力を養うことを目的としています。

本学部の卒業に必要な教養教育に関する授業科目は 33 単位であり、その内訳は教育学部規程の別表第 2 に示してあります。履修に際しては、各区分の必要単位数を考慮して履修しなければなりません。なお、科目区分「人文社会・教育科学」は、日本国憲法 2 単位が必修となっています。また、科目区分「健康・スポーツ」のうち、細区分「体育実技」は、「健康スポーツ科学実習 I」を履修してください。

教養教育に関する授業科目は第 1 年次を中心に履修することになりますが、興味や問題に応じて 1 年次から 4 年次を通じて履修することができます。

教養教育に関する授業科目は、その大半を総合教育研究棟（教養校舎）で履修することになりますが、履修計画の作成に当たっては、「教育学部学生要覧」、「新潟大学授業科目開設一覧」及び「履修ガイド（Gコード科目）」を熟読のうえ、十分に理解し間違いのないようにしてください。

2) 専門教育に関する授業科目の履修

① 原則的には、第 2 年次以降に履修します。ただし、各課程・コース及び専修が学部 4 年一貫教育の観点から必要と認め、指定する専門教育に関する授業科目については、第 1 年次において履修してください。

第 1 年次に履修することのできる専門教育に関する授業科目は、各コース・専修のガイダンスでの指示事項及び後述の「3 各課程の教育指導方針及び専門教育に関する授業科目の履修」（6 ページ以降）を参照してください。

② 専門教育に関する授業科目の履修については、各課程・コース・専修別に定められているので、その履修基準に従い、履修計画の作成に当たっては、後述の「(6) 専門教育に関する授業科目履修案内」（16 ページ以降）を参照のうえ作成してください。

③ 教職に関する授業科目の履修方法

教職専門科目の履修方法が各専修によって異なるので、16 ページ以降の「(6) 専門教育に関する授業科目履修案内」の所属専修のものを参照のうえ、履修してください。

④ 教育実習の履修

ア 教育実習は卒業要件単位となっているので、必ず履修しなければなりません。

イ 教育実習を効果的に行うために必要な最低限の教職科目の履修を義務づける目的で、教育実習の履修要件が設けられています。45 ページの「(4) 教育実習の履修要件」を参照してください。

⑤ 卒業研究

第4年次学生には、卒業研究が課せられ、必ず履修しなければなりません。

卒業研究は、本学部に3年以上在学し、95単位以上の科目単位を修得していなければ履修することができません。

卒業研究の内容、審査方法等については、教育学部卒業研究細則によりコース及び専修ごとに定められています。

卒業研究の題目は、あらかじめ指導教員の承認を受け、第4年次の第1学期末までに届けて、1月20日の午後4時までにその成果を提出しなければなりません。ただし、1月20日が日曜日又は土曜日に当たるときは、それぞれ1月21日又は1月22日の午後4時が提出締切となります。

3) 履修科目選択時の注意事項

「同一科目名」の授業を重複して履修する場合、一つの科目の単位のみが卒業要件単位として認められます。

ただし、専門教育に関する授業科目については、「講義題目表」の講義題目名又は講義内容解説等が異なる場合及びコース及び専修又は授業担当教員の指示等による場合は、卒業要件単位として重複して認められることがあるので、履修計画を立てる際、個別に授業担当教員に確認してください。

(2) 履修の手続き

1) 履修申請（聴講希望科目の聴講許可申請）

各自の履修計画に基づき、所定の期間内に「学務情報システム（インターネットのweb画面）」或いは「聴講票」により履修申請を行い、授業担当教員の承認を得ることが必要です。

なお、聴講希望学生が授業科目の定員を越えた場合、又は教育的な観点から受講者を制限することがあるので、聴講が許可されたかどうかの確認を忘れないようにしてください。

2) 履修確認

履修申請手続終了後に、個々の履修科目が正しく登録されているか学生の皆さんから確認してもらいます。後日、思わぬ不利益を被ることのないように、履修確認を確実に行ってください。

履修確認の具体的な期日は、学務情報システム及び掲示板で指示します。

3) 聴講の取り消し

聴講を許可された後に聴講を取り消す場合は、速やかに聴講取消票を授業担当教員に直接提出してください。

4) 試験及び単位認定

(1) 試験

① 試験は、学期末に行われます。ただし、不定期に開設する授業科目、その他特別の事情により学期末に試験を行うことができない授業科目については、授業担当教員が指定した方法等によって行います。

② 試験を受験するためには、原則としてその授業科目の授業時数の3分の2以上出席していなければなりません。

- ③ 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、追試験を行うことがあります。

(2) 単位認定

- ① 授業科目の修了の認定は、試験により行うことを原則とし、出席状況など、平素の学習状況その他を加味して行います。
- ② 授業科目の成績の判定は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た科目を合格とし、所定の単位が与えられます。
- ③ 成績の標語は、秀、優、良、可、不可とし、90点以上の成績を秀、80点以上90点未満の成績を優、70点以上80点未満の成績を良、60点以上70点未満の成績を可、60点未満の成績を不可とします。
- ④ 成績の確認
修了の認定によって修得した単位等は、各学期末に各自が学務情報システムで確認してください。

(3) 指導教員

本学部の学生は、自らの履修計画を学部規程に基づき自由に立てることができます。さらにまた自ら立てたその履修計画に沿って毎日の生活を設計することができます。大学生活はまさに自由そのものであるとも言えます。しかし、自由には責任が伴います。また人間は自由であると迷い、不安に陥ることもあります。本学部では、学生の自由な大学生活を積極的に支援し、それが充実した実りあるものにするために、指導教員制度を取り入れています。

本学部の専修別に指導教員が置かれ、学生は定められた指導教員の指導を受けることができます。

指導教員は、その担当する学生の履修計画を支援し、その学習及び卒業研究の指導助言を行うとともに、広く学生生活全般に関しても助言します。学生の皆さんは一人で思い悩むことなく、指導教員と常に緊密な連絡を保ち、学習・研究に関するだけでなく、人生の悩み、人間としての生き方、進路・将来のことなど、何事に関しても遠慮することなく積極的に相談し、大学生活を十分意義あるものとしてください。

(4) 卒業のための基準

本学部を卒業するには、本学部に通算4年以上在学し、次に示す履修基準に従い、124単位以上を修得しなければなりません。

なお、卒業の時期は通常学年末ですが、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないときは、第1学期末においても卒業させることがあります。

教育学部履修基準表

科目区分	細区分	教養教育に関する授業科目		専門教育に関する授業科目
		必修	選択必修	
健康・スポーツ	体育実技	1	/	/
	体育講義	2		
情報リテラシー		2	/	/
大学学習法		2		
英語		4	8	/
初修外国語		2		
新潟大学個性化科目	自由主題 地域入門 地域研究	2		
自然系共通専門基礎		4		
自然科学				
人文社会・教育科学		6 (日本国憲法2 単位を含む。)	教育学部規程別表 第1～第11において、各課程で 定める科目・単位数	
小計		33		56～90
自由科目		1～35		
合計		124		

3 各課程の教育指導方針及び 専門教育に関する授業科目 の履修

3 各課程の教育指導方針及び専門教育に関する授業科目の履修

(1) 学校教員養成課程

(1) 教育指導方針

1) 学校教員養成課程は、学校教育の教員に必要な専門的能力を、実践的に身につけることを目的としている。

学校教育の教員には、①教育や子どもの成長・発達についての深い理解、②教科に関する専門的な知識や技能、③子どもの到達段階に即して教科内容や教材を展開するなど、創造的な教育を行うことができる学習指導力、④置かれている条件に応じて、子どもの状況を的確に理解し指導する力など、さまざまな能力が必要とされる。また、いじめ・不登校など学校現場が抱える現代的な諸問題について、正確に理解・把握することも必要である。

これらの能力は、講義等を受講すれば自然に身につくというものではなく、将来「教える立場」に立つことを自覚し、自ら努力して獲得するより外にない。教員免許状の取得はあくまでも必要条件であって、最終目標でないことは言うまでもない。

2) 学校教育コースのカリキュラムは、教育学や教育心理学を中心に学び、主として小学校教員や特別支援教育の教員に必要な力量の形成をめざして編成されている。

3) 教科教育コースのカリキュラムは、教科の内容や教育方法(教科教育)を中心に学び、小学校教員と中学校教員に必要な力量の形成をめざして編成されている。

教科教育コースでは、2年次から小学校主免(主として小学校教員をめざす履修コース)と中学校主免(主として中学校教員をめざす履修コース)に分かれるが、この振り分けは1年次末に学生の希望を取ったうえ、2年次のはじめに決定される。教科教育コースにおける小学校主免と中学校主免の比率は、おおむね5:4とする。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1) 専門教育に関する授業科目の履修基準は、学部規程別表第1に定められている。課程共通科目4単位、卒業研究6単位は学校教員養成課程として共通であるが、その他の履修基準は、学校教育コースでは専修によって異なり、教科教育コースでは小学校主免と中学校主免で異なる。

2) 教職専門科目、教科専門科目、専修専門科目については、別表第4、第5及び第6に定められている。履修にあたっては、「3 各課程の教育指導方針及び専門教育に関する授業科目の履修」の各専修の項(7~16ページ)に十分留意すること。

3) 課程共通科目は、1年次から4年次の間に4単位修得すること。

4) 1年次において、課程共通必修科目「教職入門」及び「教育心理学」を履修すること。

5) 教員免許状の取得については「4 教育職員免許状の取得」(42~63ページ)に述べられているので、十分に参照し、履修計画を作成すること。

学校教育学専修

(1) 教育指導方針

この専修では、教育制度や教育理論についての歴史的、また本質的考察が重視されるとともに、いじめ・不登校・落ちこぼれ問題などの教育諸問題を理論的、実証的に研究することが推進される。そのことによって、現代社会の要請に応えながら、より質の高い教育を追求する教師の養成がめざされる。所属学生は、この目的の下で、教育哲学、教育内容・方法、授業論・学級指導論、教育史、教育政策と法、教育社会学など、多面的な学問分野を履修することになっている。

(2) 教職専門科目の履修

- ① 1年次においては教養教育に関する授業科目を中心として、本学部の1年次指定科目と興味のある諸分野を広く学習する。
- ② 2・3年次においては、将来進むべき方向や取得する免許状の種類を確定しながら、無理のない範囲でできるだけ多くの専門教育に関する授業科目を履修する。
- ③ 3年次においては、演習科目2以上、4年次においては演習科目1以上を履修しなければならない。

※ 第2年次の終わりに、研究室所属が決まるので、それ以後の履修については指導教員と相談すること。

(3) 卒業論文の指導

教育学に関する研究とし、その題目・内容については指導教員と協議し、第3年次の終わりまでに決定することが望ましい。

教育心理学専修

(1) 教育指導方針

教職に必要な教育と発達についての教育心理学の基礎知識に加えて、より専門的な職務を実践的に果たす上で求められる認知や学習、発達、臨床、測定・評価等の心理学的な素養を身につけることを目的としている。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては様々な学問分野の知識を身につけるとともに、教養教育に関する授業科目の心理学と統計学を履修することが望ましい。

2年次においては教育心理学実験演習Ⅰ・Ⅱと教育統計学が必修である。

3年次においては選択必修科目から幅広く履修することが求められる。そして3年次後期においては教育心理学総合演習Ⅰがあり、ここでは卒業研究の準備を行う。

4年次においては、それまで修得した学問的基礎の上に卒業研究を遂行し、卒業論文にまとめることが課せられている。

(3) 卒業研究

卒業研究の指導教員は、本人の希望を参考にしつつ、3年次に決定する。卒業研究では本人が明らかにしたい教育心理学的テーマについて研究計画を立て、データを集め、分析するなどの実証的なアプローチが要求される。

特別支援教育専修

(1) 教育指導方針

まず特別支援教育学，障害児心理学，障害児病理学，言語障害心理学の講義を通して，特別支援教育に関する基礎的内容を学習する。次に，実習やボランティア活動を通して，特別支援教育に関する研究を深めることができるようにしている。本専修は，特別支援学校教員，特別支援教育を担当できる教員の養成を目的としている。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

学生は 2 年次から専門教育に関する授業科目を履修できる。専門教育に関する授業科目の履修と同時に，基礎免許取得のための教職専門科目，教科専門科目を履修しなければならない。

専門教育に関する授業科目では，特別支援教育の基礎理論に関する科目，特別支援教育領域（心理・生理及び病理，教育課程及び指導法）に関する科目，特別支援教育領域以外の領域（重複障害，発達障害など）に関する科目がある。

3 年次からは指導法に関する演習があり，特別支援教育学，障害児心理学，障害児病理学，言語障害心理学それぞれの領域で，専門的な学習を主体的に行う。なお，3 年次，4 年次に附属特別支援学校での教育実習があり，理論的な学習と同時に，特別支援教育に関する実際的な学習を行うことができる。

4 年次では，主に卒業論文に関する演習と，卒業論文に関する研究を自主的に行う。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

特別支援教育学，障害児心理学，障害児病理学，言語障害心理学のいずれかで卒業研究を行う。

障害のある子どもや人に関する様々な先行研究や障害のある人の問題に基づき，自ら研究課題を設定して，創造的な研究を行うことを期待する。

国語教育専修

(1) 教育指導方針

国語学・国文学・漢文学・国語科教育学という国語科の各分野にわたって幅広い知見を習得する中で，とりわけ学校教員に必須である言語と文化に関わる専門的能力を高めながら，高度な教育実践力を養うことを目的とする。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

第 1 年次においては教養教育に関する授業科目を履修することが中心となるが，第 1 年次に配当されている「国語教育基礎演習Ⅰ」や，第 1 年次から聴講することができる「国語学概論」，「国文学概論」，「国文学史」，「漢文学講義」などの専門教育に関する授業科目を積極的に聴講し，基礎的な学問内容を早期に修得するよう努める。「漢文学講義」は第 1・2 年次に履修するのが望ましい。

第 2 年次以降は「国語教育基礎演習Ⅱ」に加え，「文法及び文章表現」，「音声言語」，「国語学講義」，「国文学講義」，「国語科教育法（初等・中等）」，「書道講義及び実習」など，専門教育に関する授業科目中の講義科目が多数聴講できるようになるので，これらを広く聴講するように努め，第 2 年次末に行われる専攻別研究室配属（後述）に備えて自らが専門的に追求する分野を決定する。「国文学講義」は第 2・3 年次に履修するのが望ましい。演習科目の内「漢文学演習」は，「漢文学講義」の単位を修得していることを条件に第 3 年次から履修することができる。な

お、漢文学の単位を6単位以上修得しようとする者は、「漢文学演習」を2単位以上含めて修得することが望ましい。

第3・4年次には、「漢文学演習」に加えて「国語学演習」、「国文学演習」、及び「国語科教育学演習」などの演習科目、および各専門分野の「課題研究」が開講されるが、各専門分野での卒業論文作成予定者はそれぞれの分野に応じた演習・課題研究を第3・4年次に継続して履修することが望まれる。なお、演習科目は、卒業論文作成に関わりなく、通年履修が望ましい。

(3) 卒業研究および卒業研究指導

国語教育専修では、所属学生全員に上記国語学・国文学・漢文学・国語科教育学の中の、何れかの分野での卒業論文の作成を課している。納得のいく卒業論文を作成するためには、できる限り早めに研究テーマを決定し、十二分に時間をかけて研究を行う必要がある。第1年次から関係講義・演習、「3年生研究発表会」、「卒論修論中間発表会」及び「卒論修論発表会」などの専修行事や「教育学部国語国文学会」等の関連学会に積極的に参加して、知見を広め学問センスを磨くように日常的に努めなければならない。

制度上の方策としては、第3年次から専攻別研究室配属を行い、以後担当教員による一貫した指導体制が敷かれるようにしている。配属は第2年次中に行われる配属説明会・希望調査によっておよそ12月末には決定されるが、希望の偏りによっては若干の調整を要する場合もあるため、希望通りに配属されないこともある。

社会科教育専修

(1) 教育指導方針

学校教育や現代社会が直面する課題に対して、自らの問題意識や興味・関心を持って主体的に探求しその課題解決に資すると共に、児童・生徒の人間形成や科学的・社会的認識力の形成を支援できる、人文・社会科学的見識、教育学的洞察及び実践的指導力をもった力量ある教員の育成を狙いとしている。

このために、歴史学、地理学、経済学・社会学、法律学・政治学、哲学・倫理学及び社会科教育学にわたって基礎的な学問内容や方法論を探求するとともに、人権・平和・環境などの現代的諸課題について学際的・総合的に学ぶことを目指している。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては、教養教育に関する授業科目の諸分野について幅広く学習するとともに、1年次開講の専門教育に関する授業科目の履修を通して、教育問題についての問題意識や関心を掘り起こすことを狙いとしている。また、社会科教育専修学生のための「スタディ・スキルズ」が開講されている。

2年次から学校教育関係の専門教育に関する授業科目を広く履修するとともに、各専攻分野(ゼミ)に所属して、歴史的分野・地理的分野・公民的分野の諸専門分野及び社会科教育学の専門的学問的な探究を目指す。専門教育に関する授業科目の履修にあたっては、小教主免・中教主免の別及び副免の種類に応じた履修計画が必要になる。また、2年次では各専門分野の研究法の演習が開講され、学問方法の基礎について学ぶ。

3年次・4年次では各専門分野を中心に学習しつつ、他の専門分野についての学習を広めることで、人文・社会科学や教育学についての見識・洞察を深める。また、附属学校及び公立学校での教育実習体験を通して、教員として求められる児童・生徒理解や実践的指導力の基礎を形

成する。なお、4年次においては卒業研究が中心となる。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

歴史学，地理学，経済学・社会学，法律学・政治学，哲学・倫理学，社会科教育学のいずれかで卒業研究を行う。社会の諸課題や教育問題について自ら主体的に課題を設定して，これまでの学問的成果や教育実践の在り方を批判的に検討して，新しい学問的成果を創り出したり教育実践の在り方を吟味する質の高い研究が期待される。

数学教育専修

(1) 教育指導方針

代数学，幾何学，解析学，統計学，情報数学，数学教育学の分野にわたって，基礎的内容を幅広く修得し，各専門分野の学習をいっそう深める。自然科学の体系的な学習，創造力，洞察力，応用力を修得し，教育指導力を身に付けることを目標とする。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては，教養教育に関する授業科目を中心に，本学部の1年次から学ぶように指定された専門教育に関する授業科目や興味ある諸分野を広く学習すること。

2年次においては，代数学，幾何学，解析学，統計学，情報数学の分野を偏りなく修得しておくこと。

3年次においても，各分野を広く学習すること。小学校主免の学生は小学校算数と算数科教育法を3年次で修得することが望ましい。中学校主免の学生は，専修専門科目を3年次までに24単位程度以上修得しておくことが望ましい。

4年次においては，卒業研究を中心として，関連する専門分野や各自興味ある分野を深く学ぶ。

(3) 卒業研究

代数学，幾何学，解析学，統計学，情報数学，数学教育学のいずれかの分野を選び，卒業研究を行う。分野の決定，指導教員の決定は3年次に行う。

卒業研究は指導教員のもとで，研究発表，質疑，討論を行うセミナー形式で毎週実施する。今までに修得した知識を元に，大学4年間の総決算として，学問研究や研究発表のしかた，教育指導法を学習するとともに，選択したテーマの深い理解と応用を考察する。

理科教育専修

(1) 教育指導方針

物理学，化学，生物学，地学，理科教育の5分野にわたって基礎的な学問内容を広く学習するとともに，各専門分野の学習をいっそう深めるなかで，科学的な教育観と教育内容を自身で構成できる力量を養うことが望まれる。自然科学の体系的な学習と批判的・創造的研究方法の取得が理科教育専修の学習や教育指導の基本となろう。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては教養教育に関する授業科目を中心に，本学部の1年から学ぶように指定された専門教育に関する授業科目や興味のある諸分野を広く学習し，将来進むべき方向を模索する。スタディ・スキルズⅠと基礎物理学Ⅰを履修すること。

2年次においては，物理学，化学，生物学，地学の4分野及び理科教育などの基礎的事項を広く学習する。そのため，主として2年次学生向けに開講されている4分野すべての講義と実験

を履修するのが望ましい。理科教育専修専門科目の各実験は、4分野にわたり各2単位が必修であり、2年次において8単位修得すること。

3年次当初から物理学、化学、生物学、地学、理科教育の5分野に分かれ、分野ごとの専門教育に関する授業科目を中心に学習し、4年次にはその分野の卒業研究を行う。分野の決定にあたって、希望は尊重されるがそのとおりにならないこともある。

4年次においては、卒業研究が学習の中心となる。そのための演習2単位が必修である。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

物理学、化学、生物学、地学、理科教育の5分野のいずれかで、卒業研究(物理分野ではそれに代わる業績)を行う。この卒業研究では、自ら課題を設定して、これまでの成果を批判的に検討しつつ、新しいものを創り出すような、質の高い学習・研究が期待されている。卒業研究に取り組む事は、4年間にわたって学習してきた大学での学問の総決算であるという意義もある。

音楽教育専修

(1) 教育指導方針

器楽、声楽、音楽理論、音楽史、音楽教育学の各分野にわたって基礎的な技能と理論を学習する。また、音楽教師として必要とされる実践的な能力をさまざまな活動を通して養う。演奏、理論ともに広範囲の音楽様式を学習し、時代のニーズに応じた総合的な音楽能力を身に付ける。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては教養教育に関する授業科目を中心に、本学部の1年から学ぶように指定された専門教育に関する授業科目や興味のある諸分野を広く学習する。また、音楽実践Ⅰ、Ⅱなどの実技系の実習や音楽表現Ⅰを1年次より履修し、音楽の基礎能力を養う。

2年次においては、音楽理論、音楽史、合唱、合奏などの科目の履修を通して、音楽の専門的な学習を深める。さらに、音楽科教育法などの音楽教育における実践的かつ総合的な科目を履修する。

3年次においては、音楽教育学演習又は音楽環境学演習を履修し、卒業論文を作成するうえでの基礎的事項を学ぶ。また、卒業研究で選択する実技の専攻を決定し、それに関する科目を履修する。

4年次においては、卒業研究が学習の中心となる。そのために必要な実技及び論文作成に関する科目を履修する。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

卒業研究では、演奏(器楽・声楽・作曲作品発表)と音楽教育に関する論文の2つを課する。演奏は1年次より学習してきた実技の中から、自分に適するものを一つ選び、その練習成果を発表する。論文では、音楽教育に関する課題を自ら設定し、音楽教育上のさまざまな問題を調査・研究する。

美術教育専修

(1) 教育指導方針

絵画，彫刻，工芸，デザイン，書道，美術理論，美術科教育法等の造形実践と理論を幅広く学び，それらの知性と各自の教育観とを調和させた授業を構築し，児童生徒の創造性や感性を十分に引き出すような，人間性に富んだ教育が出来るような指導者を育成したいと考えている。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては，教養教育に関する授業科目を中心に履修しますが，絵画，彫刻，工芸，デザイン，美術諸理論などの基礎も同時に学び，それぞれの分野を理解するようにする。

2年次においては，各実技に関する表現や技法の専門性を高める授業や，美術史，美術科教育法などの理論も履修する。

3年次においては，専門性を高めたい授業や，卒業研究のテーマにしたい関連科目等を自主的に選択履修をし，自己の得意とする分野を構築する。小教主免の学生は実技から理論までの分野を総合的に，中教主免の学生は各実技分野の課題制作や理論分野の課題研究などを主として履修し，専門性を高める。

4年次においては，日本画，西洋画，彫刻，工芸，デザイン，美術理論，美術科教育などの分野の中から専攻した領域を中心に，卒業研究に結びつけつつ学ぶ。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

卒業研究では，絵画・彫刻・工芸・デザインのいずれかの作品制作または教育実践と美術理論，美術教育に関する論文を課す。制作は1年次以降学習してきたもののなかからひとつを選び，その成果を作品に仕上げる。論文では造形美術や美術教育に関するテーマを研究する。

保健体育専修

(1) 教育指導方針

保健体育専修では，学校教育における体育及び保健体育の教員としての基礎的内容を学習し専門性を高めるとともに，学校教育に関する体育及び保健体育について主体的に研究し，教育実践できる指導者の養成を目指している。このためには，保健体育科教育，体育学，体育方法学，運動学，学校保健学の5分野にわたり，基礎的学問内容を広く学習するとともに，学校体育実践に必要とされる基礎的知識，実能力及び指導方法を身につけつつ，体育及び保健体育教師としての研究能力と実践能力を主体的に高めることが要求される。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

第1年次では，教養教育に関する授業科目を中心に学習し，将来の進路について模索する。専門教育に関する授業科目として，課程共通科目を履修することができる。

第2年次以降では，以下のように教職専門科目，教科専門科目，専修専門科目を履修する必要がある。

1) 小学校主免の場合

全学年中に，学部規程の教職専門科目(別表第4)における課程共通必修科目18単位及び教科教育コース小学校主免科目30単位(初等教育実習6単位を含む。)の合計48単位以上，教科専門科目(別表第5)における教科教育コース小学校主免必修科目16単位，専修専門科目(別表第6)における教科教育コース小学校主免保健体育専修選択必修科目14単位を修得する。

2) 中学校主免の場合

全学年中に、学部規程の教職専門科目(別表第4)における課程共通必修科目18単位及び教科教育コース中学校主免科目20単位(中等教育実習6単位を含む。)の合計38単位以上、専修専門科目(別表第6)における教科教育コース中学校主免保健体育専修必修科目20単位、選択必修科目9単位及び選択科目1単位の合計30単位を修得する。

第3年次からは、専門教育に関する授業科目の履修を継続するとともに、指導教員の演習(必修)指導を受けつつ、卒業研究6単位に着手する。

第4年次においては、指導教員の演習指導を継続し受けつつ、卒業研究が学習の中心となる。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

保健体育科教育、体育学、体育方法学、運動学、学校保健学の5分野のいずれかで、卒業研究を行う。指導教員の指導を受けつつ、大学における様々な学習と体験から、研究課題を設定し、卒業後も、学校教育における体育及び保健体育の教員として、主体的に研究し、学校教育活動に役立つ課題を探究できることが期待されている。

技術科教育専修

(1) 教育指導方針

金属加工、機械、電気、栽培、木材加工、情報とコンピュータの6領域における学問的基礎を学習し、各領域の科学技術を深め、技術教育に必要な能力を養うことを目的とする。

また、工学・農学に関わる専門を基礎にして、技術教育を担う教員としての教科指導能力も養う。

技術教育領域の科目は、広い学問分野をかかえながら自然科学にも深く通じている特徴を持っているので、高い基礎学力とそれを展開する能力を養う必要がある。そのために、実習・実験を通して身につける学習内容も豊富にある。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては教養教育に関する授業科目を中心に履修する。特に、技術の領域に関連する教養教育に関する授業科目の履修については、重視して履修することが大切である。

2年次以降の履修についての詳しいことは別途ガイダンスするが、金属加工、機械、電気、栽培、木材加工、情報とコンピュータの6領域の基礎科目をそれぞれ最低2単位以上修得することが望ましい。

3年次からは、卒業単位、免許法上必要な科目と卒業研究などを考慮して必要な科目を履修する。実習・実験が多数あり、各科目の開講科目も1コマだけであるため、4年間にわたる綿密な聴講の計画と学習をするよう心がけることが大切である。

4年次は、卒業研究の学習が中心となる。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

卒業研究は、大学での学習の総仕上げであり、学生は自ら学んだことを実践し、研究を行う。卒業研究には次の二つのコースがあるので、このうちのいずれかを選択しなければならない。選択の時期は3年次の前期とする。

(A) 特定研究コース

研究室に所属し、指導教員の指導を受けて卒業研究を行う。学生は所属研究室の特定のテーマに従い、高度かつ深い学問的な卒業研究を行う。

(B) 一般研究コース

研究室には所属せず、技術科の領域にかかわる分野の研究を行う。学生が研究テーマを自主的に決定し教室会議の承認を得る。学生の研究上の援助・助言には、技術科全教員で対応する。

なお、特定研究コースの選択にあつては、3年次始めに修得単位が65単位以上であり、所属研究室の単位を5単位以上修得していなければならない。一般研究コースの選択では3年次始めに50単位以上修得していなければならない。また、4年次に卒業研究履修の資格を有したものは、その時点で分属する。

家庭科教育専修

(1) 教育指導方針

家庭科教育専修では、家庭科の各領域に関する専門的な知識・技能を総合的かつ科学的・実践的に履修することにより、家庭科教育の担当者として有為な人材を養成することを目的としている。この教育理念実現のために、各領域の基礎的・発展的な専門教育に関する授業科目に加え、応用力を身につけるために各領域の演習を開講している。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

1年次においては、教養教育に関する授業科目を中心に幅広い内容を学習する。また、基礎的な専門教育に関する授業科目(被服学Ⅰ・住居学Ⅰ・食物学実験実習Ⅰ・被服学実験実習Ⅰ)を履修する。

2年次以降においては、各領域の基礎的事項に加え、発展的な内容を含んだ専門教育に関する授業科目を履修するが、専門性を体系的に修得できるような履修の仕方が望ましい。なお、学部規程に定められた科目及び取得する免許状に必要な科目・単位数に留意しながら履修計画を立てられたい。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

3年次当初に卒業研究の指導教員を決定し、食物学・被服学・住居学・家庭経営学・家庭科教育学の5つの領域のいずれかにおいて、卒業研究を行う。卒業研究は4年間の学習の集大成であり、それぞれ設定した研究課題に対して意欲的・積極的な取り組みが期待されている。

英語教育専修

(1) 教育指導方針

英語教育学、英語学、英米文学の3分野にわたって基礎的な学問内容を広く学習するとともに、各専門分野の学習をいっそう深めるなかで、幅広い知識・教育観を身につけ、研究方法・教育内容を積極的に自己の力で構築できる力量を養うことが求められる。それと同時に、英語コミュニケーション、異文化理解等の分野で多数用意されているネイティブスピーカー等の授業を通じて、実際の英語運用能力を高めることが求められる。英語全般に関する体系的な学習と批判的・創造的研究方法の修得並びにバランスのとれた英語運用能力の開発が、英語教育専修の学習と教育指導の基本となる。

(2) 専門教育に関する授業科目の履修

〈1年次〉

教養教育に関する授業科目を中心に、本学部の1年から学ぶように指示された専門教育に関する授業科目や興味ある諸分野を幅広く学習し、将来進むべき方向を模索する。「英語教育スピ

ーキング演習Ⅰ，Ⅱ」及び「英語教育と音声学Ⅰ，Ⅱ」を履修する。

〈小学校主免2,3年次、中学校主免2年次〉

英語教育学，英語学，英米文学，英語コミュニケーションの4分野にわたって，基礎的事項を広く学習する。そのため，主として2年次学生向けに開講されている4分野の講義と演習すべてを履修することが強く求められる。

〈小学校主免3,4年次、中学校主免3年次〉

上記4分野及び異文化理解分野の指定された必修，選択科目を中心に，最低必要単位数の充足に満足することなく，積極的に多数の科目を学習すると同時に，卒業研究の準備段階として，英語教育学，英語学，英米文学の各分野で必要な学習を自ら進め，4年次における卒業研究の基礎を作ることが必要である。分野の決定にあたっては，早い段階で各専門分野の教員の指導を受けることが必要である。

〈小学校主免、中学校主免4年次〉

卒業研究が学習の中心となるが，同時に指定されている科目も履修することが求められる。

なお，卒業までに必要な専修専門科目の最低単位数に甘んじることなく，専門的知識の涵養と高度な英語運用能力の育成を目指して，英語学・英米文学・異文化理解・英語コミュニケーションの各分野からできるだけ多くの授業科目を履修することが求められる。

また，英語能力向上のために海外の教育機関に留学した場合や，国内の教育機関で授業研究や教育補助等の実習を行った場合は，その期間・内容に応じて単位が認定される。

(3) 卒業研究及び卒業研究指導

英語教育学，英語学，英米文学の3分野のいずれかで，卒業研究を行う。

この卒業研究では，自ら課題を設定し，これまでの学習成果を十分検討しながら，独創的な卒業研究が生み出せるような質の高い研究が期待される。卒業研究に取り組むことは，4年間にわたって修得してきた大学での学習の成果と学問の総決算をするという意義を持つ。

(2) 専門教育に関する授業科目履修案内

1 学校教員養成課程

(1) 学校教育コース

① 学校教育学専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育（NIE）演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法（初等）	2	
		社会科教育法（初等）	2	
		算数科教育法	2	
		理科教育法（初等）	2	
		生活科教育法	2	
音楽科教育法（初等）		2		
美術科教育法（初等）		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法（初等）		2		
初等教育実習Ⅰ	6			
教職実践演習（初等）	2			
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語（書写を含む）	2	16単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	生活	2		
計	16			
専修専門科目	授業論・学級指導論	2		
	教育内容・方法	2		
	教育哲学	2		
	教育史	2		
	教育社会学	2		
教育政策と法	2			

区分	科目	単位	備考
専修専門科目	授業論・学級指導論演習A	2	
	授業論・学級指導論演習B	2	
	授業論・学級指導論演習C	2	
	授業論・学級指導論演習D	2	
	教育内容・方法演習A	2	
	教育内容・方法演習B	2	
	教育内容・方法演習C	2	
	教育内容・方法演習D	2	
	教育哲学演習A	2	
	教育哲学演習B	2	
	教育哲学演習C	2	
	教育哲学演習D	2	
	教育史演習A	2	
	教育史演習B	2	
	教育史演習C	2	
	教育史演習D	2	
教育社会学演習A	2		
教育社会学演習B	2		
教育社会学演習C	2		
教育社会学演習D	2		
教育政策と法演習A	2		
教育政策と法演習B	2		
教育政策と法演習C	2		
教育政策と法演習D	2		
計	10		
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計	84		
科目自由	教養教育に関する授業科目	7	
	専門教育に関する授業科目		
	計	7	

(1) 学校教育コース
 ② 教育心理学専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育（NIE）演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法（初等）	2	
		社会科教育法（初等）	2	
算数科教育法		2		
理科教育法（初等）		2		
生活科教育法		2		
音楽科教育法（初等）		2		
美術科教育法（初等）		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法（初等）		2		
初等教育実習Ⅰ		6		
教職実践演習（初等）		2		
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語（書写を含む）	2	16単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	生活	2		
計	16			
専修専門科目	教育心理学実験演習Ⅰ	2		
	教育心理学実験演習Ⅱ	2		
	教育統計学	2		
	小計	6		
	教育心理学総合演習Ⅰ	2		
	教育心理学総合演習Ⅱ	2		
	教育心理学総合演習Ⅲ	2		
教育心理学A	2			

区分	科目	単位	備考
専修専門科目	教育心理学B	2	
	教育臨床心理学	2	
	発達心理学A	2	
	発達臨床心理学	2	
	教育心理データ解析論	2	
	教科心理学	2	
	認知心理学	2	
	教育評価	2	
	幼児心理学演習	2	
	幼児発達心理学	2	
	小計	4	
計	10		
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計	84		
科目自由	教養教育に関する授業科目	7	
	専門教育に関する授業科目		
	計	7	

(1) 学校教育コース

③ 特別支援教育専修（小教基礎免）

区分	科目	単位	備考	
課程 共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育（N I E）演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職 共通 必修科目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専修 必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		初等教育実習Ⅱ	5	
教職実践演習（初等）		2		
小計		11		
科目 選択 必修科目	国語科教育法（初等）	2	うち2教科4単位 必修	
	社会科教育法（初等）	2		
	算数科教育法	2		
	理科教育法（初等）	2		
	生活科教育法	2		
	音楽科教育法（初等）	2		
	美術科教育法（初等）	2		
	体育科教育法	2		
	家庭科教育法（初等）	2		
小計	12			
計	41			
教科 専門 必修科目	小学校国語（書写を含む）	2	うち1教科2単位 必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	生活	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	計	10		
専修 専門 必修科目	発達障害心理学	2	うち2単位必修	
	障害児心理学演習	2		
	障害児病理学演習	2		
	障害児指導学演習Ⅱ	2		
	障害児指導学演習Ⅲ	2		
	障害児指導学演習Ⅳ	2		
	障害児指導法演習	2		
	視覚障害教育論	2		

区分	科目	単位	備考
特別 支援 教育 専修 科目	聴覚障害教育論	2	
	聴覚障害言語指導	2	
	特別支援教育学演習	2	
	障害児指導学演習Ⅰ	2	
	計	4	
	特別支援教育の本質と目標	2	
	知的障害心理学	2	
	障害児生理学	2	
	肢体不自由教育総論	2	
	病弱児の心理・生理・病理	2	
	発達障害指導論	2	
肢体不自由指導論	2		
障害児保健学	2		
言語障害心理学	2		
特別支援教育総論	2		
重複障害の心理・指導論	2		
特別支援教育実習	3		
計	25		
研究 卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		90	
科目 自由	教養教育に関する授業科目	1	
	専門教育に関する授業科目		
	計	1	

(1) 学校教育コース

④特別支援教育専修 (中教基礎免)

区分	科目	単位	備考	
課程 共通 科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
数学・数学教育学研究入門	2			
	計	4		
教 科 目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
		小計	18	
	職 門	専修必修科目		
生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ		2		
生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ		2		
中等教育実習Ⅱ		3		
中等教育実習Ⅲ		2		
教職実践演習 (中等)	2			
	小計	11		
科 目 選 択 科 目	専修選 科			
	国語科教育法 (中等) Ⅰ	2		
	社会科教育法 (中等) Ⅰ	2		
	数学科教育法Ⅲ	2		
	理科教育法 (中等) Ⅰ	2		
	音楽科教育法 (中等) Ⅰ	2		
	美術科教育法 (中等) Ⅰ	2		
	保健体育科教育法Ⅰ	2		
	技術教育研究Ⅰ	2		
	家庭科教育法 (中等) Ⅱ	2		
英語科教育法Ⅰ	2			
	小計	2		
	計	31		
教 科 専 門 科 目	国語	20	学部規程別表第6 に定める「(3)教科 教育コース (中学 校主免)」の各専修 の専門科目の中か ら1専修20単位を 修得する。	
	社会	20		
	数学	20		
	理科	20		
	音楽	20		
	美術	20		
	保健体育	20		
	技術	20		
	家庭	20		
	英語	20		
	計	20		
専 修 専 門 科 目	選択必修科目			
	発達障害心理学	2	うち2単位必修	
	障害児心理学演習	2		
	障害児病理学演習	2		
	障害児指導学演習Ⅱ	2		
	障害児指導学演習Ⅲ	2		
	障害児指導学演習Ⅳ	2		
障害児指導法演習	2			

区分	科目	単位	備考	
特別 支 援 教 育 専 門 科 目	視覚障害教育論	2		
	聴覚障害教育論	2		
	聴覚障害言語指導	2		
	特別支援教育学演習	2		
	障害児指導学演習Ⅰ	2		
		計	4	
	特別支援教育の本質と目標	2		
	知的障害心理学	2		
	障害児生理学	2		
	肢体不自由教育総論	2		
研 究 卒 業	病弱児の心理・生理・病理	2		
	発達障害指導論	2		
	肢体不自由指導論	2		
	障害児保健学	2		
	言語障害心理学	2		
	特別支援教育総論	2		
	重複障害の心理・指導論	2		
	特別支援教育実習	3		
		計	25	
	卒業研究	6		
	計	6		
	合計	90		
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	1		
	専門教育に関する授業科目			
		計	1	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

① 国語教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
数学・数学教育学研究入門	2			
計	4			
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
社会科教育法 (初等)		2		
算数科教育法		2		
理科教育法 (初等)		2		
生活科教育法		2		
音楽科教育法 (初等)		2		
美術科教育法 (初等)		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法 (初等)		2		
初等教育実習Ⅰ		6		
教職実践演習 (初等)		2		
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	生活	2		
計	16			
専修科目	国語教育基礎演習Ⅰ	2	うち10 単位必修	
	国語教育基礎演習Ⅱ	2		
	文法及び文章表現Ⅰ	2-4		
	文法及び文章表現Ⅱ	2-4		
	音声言語Ⅰ	2-4		
	音声言語Ⅱ	2-4		
	国語学概論Ⅰ	2-4		
国語学概論Ⅱ	2-4			
国語学講義Ⅰ	2-4			

区分	科目	単位	備考
専修科目	国語学講義Ⅱ	2-4	うち4 単位必修
	国語学演習Ⅰ	2-4	
	国語学演習Ⅱ	2-4	
	国語学演習Ⅲ	2-4	
	国語学演習Ⅳ	2-4	
	国文学史Ⅰ	2-4	
	国文学史Ⅱ	2-4	
	国文学概論Ⅰ	2-4	
	国文学概論Ⅱ	2-4	
	国文学講義Ⅰ	2-4	
	国文学講義Ⅱ	2-4	
	国文学演習Ⅰ	2-4	
	国文学演習Ⅱ	2-4	
	国文学演習Ⅲ	2-4	
	国文学演習Ⅳ	2-4	
	漢文学講義Ⅰ	2-4	
	漢文学講義Ⅱ	2-4	
	漢文学演習Ⅰ	2-4	
	漢文学演習Ⅱ	2-4	
	漢文学演習Ⅲ	2-4	
	漢文学演習Ⅳ	2-4	
	書道講義及び実習Ⅰ	2-4	
	書道講義及び実習Ⅱ	2-4	
	国語学課題研究Ⅰ	2-4	
	国語学課題研究Ⅱ	2-4	
	国語学課題研究Ⅲ	2-4	
	国語学課題研究Ⅳ	2-4	
国文学課題研究Ⅰ	2-4		
国文学課題研究Ⅱ	2-4		
国文学課題研究Ⅲ	2-4		
国文学課題研究Ⅳ	2-4		
漢文学課題研究Ⅰ	2-4		
漢文学課題研究Ⅱ	2-4		
漢文学課題研究Ⅲ	2-4		
漢文学課題研究Ⅳ	2-4		
国語科教育学課題研究Ⅰ	2-4		
国語科教育学課題研究Ⅱ	2-4		
国語科教育学課題研究Ⅲ	2-4		
国語科教育学課題研究Ⅳ	2-4		
国語科教育学演習Ⅰ	2-4		
国語科教育学演習Ⅱ	2-4		
国語科教育学演習Ⅲ	2-4		
国語科教育学演習Ⅳ	2-4		
計	14		
研究	卒業研究	6	
	計	6	
合計	88		
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
	計	3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

② 社会科教育専修

区分	科目	単位	備考
課程共通科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	
教職	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
	専門必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	
生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ		2	
国語科教育法 (初等)		2	
社会科教育法 (初等)		2	
算数科教育法		2	
理科教育法 (初等)		2	
生活科教育法		2	
音楽科教育法 (初等)		2	
美術科教育法 (初等)		2	
体育科教育法		2	
家庭科教育法 (初等)		2	
初等教育実習Ⅰ	6		
教職実践演習 (初等)	2		
小計	30		
計	48		
教科専門科目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修
	小学校社会	2	
	小学校算数	2	
	小学校理科	2	
	小学校音楽	2	
	図画工作	2	
	小学校体育	2	
	小学校家庭	2	
	生活	2	
計	16		
専修専門科目	社会科関係研究法	2-4	うち8 単位必修
	社会科関係実習	2-4	
	社会科関係特講	2-4	
	社会科関係演習	2-4	
	日本史	2	うち6 単位必修
	外国史	2	
	地理学	2	
	地誌	2	
	法律学	2	
	政治学	2	
	社会学	2	
経済学	2		
哲学	2		
倫理学	2		
計	14		

区分	科目	単位	備考
卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
計		3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

③ 数学教育専修

区分	科目	単位	備考
課程 共通 科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
数学・数学教育学研究入門	2		
計	4		
教 職 専 門 科 目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
専 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	国語科教育法 (初等)	2	
	社会科教育法 (初等)	2	
	算数科教育法	2	
	理科教育法 (初等)	2	
	生活科教育法	2	
	音楽科教育法 (初等)	2	
	美術科教育法 (初等)	2	
	体育科教育法	2	
	家庭科教育法 (初等)	2	
	初等教育実習Ⅰ	6	
教職実践演習 (初等)	2		
小計	30		
計	48		
教 科 専 門 科 目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修
	小学校社会	2	
	小学校算数	2	
	小学校理科	2	
	小学校音楽	2	
	図画工作	2	
	小学校体育	2	
	小学校家庭 生活	2	
計	16		
専 修 専 門 科 目	代数学序説	2	うち2 単位必修
	代数系の基礎Ⅰ	2	
	代数系の基礎Ⅱ	2	
	代数学講義Ⅰ	2	
	代数学講義Ⅱ	2	
	応用代数学Ⅰ	2	
	応用代数学Ⅱ	2	
代数学特講	2		

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	幾何学序説	2	うち2 単位必修
	線形代数学Ⅰ	2	
	線形代数学Ⅱ	2	
	幾何学講義Ⅰ	2	
	幾何学講義Ⅱ	2	
	応用幾何学Ⅰ	2	
	応用幾何学Ⅱ	2	
	幾何学特講	2	
	微分積分学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	解析学講義Ⅰ	2	
	解析学講義Ⅱ	2	
	応用解析学Ⅰ	2	
	応用解析学Ⅱ	2	
解析学特講	2		
研 究 卒 業	統計学Ⅰ	2	うち2 単位必修
	統計学Ⅱ	2	
	情報数学Ⅰ	2	
	情報数学Ⅱ	2	
計	14		
科 目 自 由	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
計		3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

④ 理科教育専修

区分	科目	単位	備考
課程 共通 科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	
教 職 専 門 科 目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	国語科教育法 (初等)	2	
社会科教育法 (初等)	2		
算数科教育法	2		
理科教育法 (初等)	2		
生活科教育法	2		
音楽科教育法 (初等)	2		
美術科教育法 (初等)	2		
体育科教育法	2		
家庭科教育法 (初等)	2		
初等教育実習Ⅰ	6		
教職実践演習 (初等)	2		
小計	30		
計	48		
教 科 専 門 科 目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修
	小学校社会	2	
	小学校算数	2	
	小学校理科	2	
	小学校音楽	2	
	図画工作	2	
	小学校体育	2	
	小学校家庭 生活	2	
	計	16	
専 修 科 目	基礎物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
	基礎生物学実験	2	
	地学基礎実習	2	
小計	8		
専 門 科 目 (A 群)	物理学セミナー	2	
	化学演習AⅠ	2	
	化学演習AⅡ	2	
	化学演習BⅠ	2	
	化学演習BⅡ	2	
	生物学演習A	2	
	生物学演習B	2	
	地学演習A	2	
	地学演習B	2	
	計	20	

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目 (B 群)	地層学セミナー	2	
	火山・地球環境セミナー	2	
	自然科学基礎演習Ⅰ	2	
	自然科学基礎演習Ⅱ	2	
	小計	2	
	基礎物理学ⅠA	2	
	基礎物理学ⅠB	2	
	基礎物理学ⅡA	2	
	基礎物理学ⅡB	2	
	現代物理学ⅠA	2	
	現代物理学ⅠB	2	
	現代物理学ⅡA	2	
	現代物理学ⅡB	2	
	現代物理学Ⅲ	2	
	物理学実験	2	
	基礎化学ⅠA	2	
	基礎化学ⅠB	2	
	基礎化学ⅡA	2	
	基礎化学ⅡB	2	
	無機化学	2	
機器分析化学	2		
有機化学実験	2		
物理化学実験	2		
基礎生物学A	2		
基礎生物学B	2		
基礎生物学C	2		
動物学	2		
植物学	2		
地域環境生物学	2		
生物学特論A	2		
生物学特論B	2		
生活環境生物学実習	2		
生物学実験Ⅰ	2		
生物学実験Ⅱ	2		
植物野外実習	2		
地域環境生物学実習	2		
昆虫学実習	2		
基礎地学Ⅰ	2		
基礎地学Ⅱ	2		
天文学・気象学A	2		
天文学・気象学B	2		
地学セミナー	2		
地殻科学	2		
地層学	2		
地殻科学実習	2		
地域地質実習	2		
情報理科特論	2		
情報理科特講	2		
小計	4		
計	14		
研 究 卒 業	卒業研究	6	
	計	6	
計	88		
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
計	3		

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑤ 音楽教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
社会科教育法 (初等)		2		
算数科教育法		2		
理科教育法 (初等)		2		
生活科教育法		2		
音楽科教育法 (初等)		2		
美術科教育法 (初等)		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法 (初等)		2		
初等教育実習Ⅰ	6			
教職実践演習 (初等)	2			
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語 (書写を含む)	2	16単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭生活	2		
計	16			
専修専門科目	音楽表現Ⅱ	2		
	音楽理論	2		
	合唱	2		
	合奏	2		
	計	8		

区分	科目	単位	備考
専修専門科目	音楽表現Ⅰ	2	
	音楽実践Ⅰ	2	
	音楽実践Ⅱ	2	
	音楽実践Ⅲ	2	
	音楽実践Ⅳ	2	
	音楽史	2	
	音楽教育実践入門Ⅰ	2	
	音楽教育実践入門Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅰ	2	
	音楽教育実践Ⅱ	2	
音楽教育実践Ⅲ	2		
計	6		
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
	計	3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑥ 美術教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
数学・数学教育学研究入門	2			
計	4			
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
		社会科教育法 (初等)	2	
		算数科教育法	2	
		理科教育法 (初等)	2	
		生活科教育法	2	
		音楽科教育法 (初等)	2	
美術科教育法 (初等)		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法 (初等)		2		
初等教育実習Ⅰ		6		
教職実践演習 (初等)	2			
小計	30			
計	48			
教科専門	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭生活	2		
	計	16		
専修専門科目	絵画基礎Ⅰ	2		
	彫刻基礎Ⅰ	2		
	工芸基礎	2		
	デザイン基礎	2		
	小計	8		

区分	科目	単位	備考
専選 修択 専必 門修 科科 科目	芸術学	2	うち4単位必修
	日本・東洋美術史	2	
	西洋美術史	2	
	美術教育原論	2	
	西洋絵画	2	うち2単位必修
	日本画	2	
	版画実習	2	
	空間表現	2	
	彫刻論	2	
	日本画技法演習	2	
	芸術学特論	2	
	美術史特論	2	
	比較芸術学特論	2	
	造形教育論	2	
	芸術鑑賞演習	2	
	彫刻制作	2	
	木材実習	2	
	工芸実習Ⅰ	2	
工芸実習Ⅱ	2		
工芸実習Ⅲ	2		
地域と工芸	2		
絵画基礎Ⅱ	2		
くらしと表現・鑑賞	2		
伝統芸術表現	2		
東洋美術の歴史と表現	2		
篆刻と工芸	2		
教育描法演習	2		
芸術総合学習論	2		
小計	6		
計	14		
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
	計	3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑦ 保健体育専修

区分	科目	単位	備考
課程共通科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	
教科専修科目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	国語科教育法 (初等)	2	
	社会科教育法 (初等)	2	
	算数科教育法	2	
	理科教育法 (初等)	2	
	生活科教育法	2	
	音楽科教育法 (初等)	2	
美術科教育法 (初等)	2		
体育科教育法	2		
家庭科教育法 (初等)	2		
初等教育実習Ⅰ	6		
教職実践演習 (初等)	2		
小計	30		
計	48		
教科専修科目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修
	小学校社会	2	
	小学校算数	2	
	小学校理科	2	
	小学校音楽	2	
	図画工作	2	
	小学校体育	2	
	小学校家庭生活	2	
	計	16	
専修専修科目	体育原理	2	うち 10 単位必修
	体育心理学	2	
	体育経営学	2	
	運動方法学	2	
	生理学・運動生理学	2	
	衛生学・公衆衛生学	2	
	学校保健	2	

区分	科目	単位	備考
専修専修科目	体操	1	うち 4 単位必修
	陸上競技	1	
	水泳	1	
	スキー	1	
	サッカー	1	
	剣道	1	
	バレーボール	1	
	ベースボールスポーツ	1	
	卓球	1	
	計	14	
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
	計	3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑧ 技術科教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程 共通 科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論 数学・数学教育学研究入門	2		
計	4			
課程 共通 必修 科目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専 門 科 必修 科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
社会科教育法 (初等)		2		
算数科教育法		2		
理科教育法 (初等)		2		
生活科教育法		2		
音楽科教育法 (初等)		2		
美術科教育法 (初等)		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法 (初等)		2		
初等教育実習Ⅰ	6			
教職実践演習 (初等)	2			
小計	30			
計	48			
教科 専門 科目	小学校国語 (書写を含む)	2	} 16 単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭 生活	2		
	計	16		
専 修 専 門 科 目	木材加工Ⅰ	2		
	木材加工及び実習Ⅰ	2		
	金属加工実習Ⅰ	1		
	機械実習Ⅰ	1		
	電気実習Ⅰ	1		
	栽培実習Ⅰ	1		
	情報基礎及び実習	2		
小計	10			

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	栽培Ⅰ	2	
	栽培実習Ⅱ	1	
	金属加工Ⅰ	2	
	金属加工Ⅱ	2	
	金属加工実習Ⅱ	1	
	機械Ⅰ	2	
	機械Ⅱ	2	
	機械実習Ⅱ	1	
	電気Ⅰ	2	
	電気Ⅱ	2	
	電気実習Ⅱ	1	
小計	4		
計	14		
研 究 卒 業	卒業研究	6	
	計	6	
合計	88		
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
	計	3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑨ 家庭科教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
	教職	教職入門	2	
		教育学概論	2	
教育心理学		2		
発達心理学		2		
教育の制度と経営		2		
教育方法・技術A		2		
道徳指導法		2		
特別活動研究		2		
教育課程論		2		
小計		18		
専門		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
	社会科教育法 (初等)	2		
	算数科教育法	2		
	理科教育法 (初等)	2		
	生活科教育法	2		
	音楽科教育法 (初等)	2		
	美術科教育法 (初等)	2		
	体育科教育法	2		
	家庭科教育法 (初等)	2		
初等教育実習Ⅰ	6			
教職実践演習 (初等)	2			
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語 (書写を含む)	2	} 16 単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	生活	2		
計	16			
専修専門科目	家庭経営学Ⅰ	2		
	被服学Ⅰ	2		
	被服学実験実習Ⅰ	2		
	食物学Ⅰ	2		
	食物学実験実習Ⅰ	2		
	住居学Ⅰ	2		
	保育学	2		
計	14			

区分	科目	単位	備考
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	} 3	
	専門教育に関する授業科目		
計		3	

(2) 教科教育コース (小学校主免)

⑩ 英語教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道德指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専門必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		国語科教育法 (初等)	2	
社会科教育法 (初等)		2		
算数科教育法		2		
理科教育法 (初等)		2		
生活科教育法		2		
音楽科教育法 (初等)		2		
美術科教育法 (初等)		2		
体育科教育法		2		
家庭科教育法 (初等)		2		
初等教育実習Ⅰ	6			
教職実践演習 (初等)	2			
小計	30			
計	48			
教科専門科目	小学校国語 (書写を含む)	2	16 単位必修	
	小学校社会	2		
	小学校算数	2		
	小学校理科	2		
	小学校音楽	2		
	図画工作	2		
	小学校体育	2		
	小学校家庭	2		
	生活	2		
計	16			
専修専門科目	英語教育と英文法Ⅰ	2		
	英語教育と言語学Ⅰ	2		
	英語教育と英文学Ⅰ	2		
	英語教育と米文学Ⅰ	2		
	英語教育リスニング演習Ⅰ	1		
	英語教育スピーキング演習Ⅰ	1		
	英語教育ライティング演習Ⅰ	1		
	英語教育と異文化理解	2		
小計	13			

区分	科目	単位	備考
専修選	英語教育と英文法Ⅱ	2	
	英語教育と英文法研究法Ⅰ	2	
	英語教育と英文法研究法Ⅱ	2	
	英語教育と言語学Ⅱ	2	
	英語教育と言語学研究法Ⅰ	2	
	英語教育と言語学研究法Ⅱ	2	
	英語教育と音声学Ⅰ	2	
	英語教育と音声学Ⅱ	2	
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	2	
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	2	
	英語教育とコミュニケーション	2	
	英語教育とコミュニケーション研究法	2	
	英語教育と英文学Ⅱ	2	
	英文学教材研究Ⅰ	2	
	英文学教材研究Ⅱ	2	
	英語教育と米文学Ⅱ	2	
	米文学教材研究Ⅰ	2	
	米文学教材研究Ⅱ	2	
	英語教育リスニング演習Ⅱ	1	
	英語教育リスニング演習Ⅲ	1	
	英語教育リスニング演習Ⅳ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅱ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅲ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅳ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅱ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅲ	1	
英語教育ライティング演習Ⅳ	1		
英語教育リーディング演習Ⅰ	1		
英語教育リーディング演習Ⅱ	1		
英語教育リーディング演習Ⅲ	1		
英語教育リーディング演習Ⅳ	1		
英語総合演習Ⅰ	2		
英語総合演習Ⅱ	2		
英語教育と異文化理解研究法	2		
初等英語科教育法	2		
英語科教育総合実践	2		
小計	1		
計	14		
卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		88	
科目自由	教養教育に関する授業科目	3	
	専門教育に関する授業科目		
計	3		

(3) 教科教育コース (中学校主免)

① 国語教育専修

区分	科目	単位	備考
課程 共通 科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究 I	2	
	教育実践体験研究 II	2	
	教育実践体験研究 III	2	
	教育実践体験研究 IV	2	
	教育実践研究 I	2	
	教育実践研究 II	2	
	教育実践研究演習 I	2	
	教育実践研究演習 II	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	
教 職 専 門 科 目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術 A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小 計	18	
	生徒指導・教育相談・進路指導 I	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導 II	2	
	中等教育実習 I	4	
中等教育実習 III	2		
教職実践演習 (中等)	2		
国語科教育法 (中等) I	2		
国語科教育法 (中等) II	2		
国語科教育法 (中等) III	2		
国語科教育法 (中等) IV	2		
小 計	20		
計	38		
専 選 修 専 門 科 目	国語教育基礎演習 I	2	うち12 単位必修
	国語教育基礎演習 II	2	
	文法及び文章表現 I	2-4	
	文法及び文章表現 II	2-4	
	音声言語 I	2-4	
	音声言語 II	2-4	
	国語学概論 I	2-4	
	国語学概論 II	2-4	
	国語学講義 I	2-4	
	国語学講義 II	2-4	
	国語学演習 I	2-4	
	国語学演習 II	2-4	
	国語学演習 III	2-4	
	国語学演習 IV	2-4	
	国文学史 I	2-4	
	国文学史 II	2-4	
	国文学概論 I	2-4	
国文学概論 II	2-4		
国文学講義 I	2-4		
国文学講義 II	2-4		
国文学演習 I	2-4		
国文学演習 II	2-4		
国文学演習 III	2-4		
国文学演習 IV	2-4		

区分	科目	単位	備考
専 選 修 専 門 科 目	漢文学講義 I	2-4	うち2単 位必修
	漢文学講義 II	2-4	
	漢文学演習 I	2-4	
	漢文学演習 II	2-4	
	漢文学演習 III	2-4	
	漢文学演習 IV	2-4	
	書道講義及び実習 I	2-4	
	書道講義及び実習 II	2-4	
	国語学課題研究 I	2-4	
	国語学課題研究 II	2-4	
	国語学課題研究 III	2-4	
	国語学課題研究 IV	2-4	
	国文学課題研究 I	2-4	
	国文学課題研究 II	2-4	
	国文学課題研究 III	2-4	
	国文学課題研究 IV	2-4	
	計	30	
研究 卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合 計		78	
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

② 社会科教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
数学・数学教育学研究入門	2			
計	4			
教職専修科目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	専修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		中等教育実習Ⅰ	4	
		中等教育実習Ⅲ	2	
		教職実践演習 (中等)	2	
		社会科教育法 (中等)Ⅰ	2	
		社会科教育法 (中等)Ⅱ	2	
		社会科教育法 (中等)Ⅲ	2	
社会科教育法 (中等)Ⅳ	2			
小計	20			
計	38			
専修科目	日本史	2	8単位必修	
	外国史	2		
	地理学	2	うち2単位必修	
	地誌	2		
	法律学	2	うち2単位必修	
	政治学	2		
	社会学	2	うち2単位必修	
	経済学	2		
	哲学	2	うち2単位必修	
	倫理学	2		
	小計	14		
	専修科目	日本史	2	
		外国史	2	
		地理学	2	
		地誌	2	
		法律学	2	
		政治学	2	
		社会学	2	
経済学		2		
哲学		2		
倫理学		2		
社会科各研究法	2			
社会科各特講	2			
社会科各演習	2			
小計	4			
計	18			

区分	科目	単位	備考
歴史学 (日本史)	日本史特講Ⅰ	2	
	日本史特講Ⅱ	2	
	日本史特講Ⅲ	2	
	日本史特講Ⅳ	2	
	歴史学研究法	2	
	日本史演習Ⅰ	2	
	日本史演習Ⅱ	2	
	日本史演習Ⅲ	2	
	日本史演習Ⅳ	2	
	日本史実習	2	
	計	12	
	歴史学 (外国史)	外国史特講Ⅰ	2
外国史特講Ⅱ		2	
外国史特講Ⅲ		2	
外国史特講Ⅳ		2	
外国史演習Ⅰ		2	
外国史演習Ⅱ		2	
外国史演習Ⅲ		2	
外国史演習Ⅳ		2	
歴史学研究法Ⅰ	2		
歴史学研究法Ⅱ	2		
計	12		
地理学	地理学特講Ⅰ	2	
	地理学特講Ⅱ	2	
	地理学特講Ⅲ	2	
	地理学特講Ⅳ	2	
	地理学研究法	2	
	地理学演習Ⅰ	2	
	地理学演習Ⅱ	2	
	地理学演習Ⅲ	2	
	地理学演習Ⅳ	2	
	地理学実習Ⅰ	2	
地理学実習Ⅱ	2		
地理学実習Ⅲ	2		
計	12		
法学・政治学	法律学特講Ⅰ	2	
	法律学特講Ⅱ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
	法律学・政治学演習Ⅰ	2	
	法律学・政治学演習Ⅱ	2	
	法律学・政治学演習Ⅲ	2	
	法律学・政治学演習Ⅳ	2	
	法律学	2	
	政治学	2	
計	12		
経済学・社会学	経済学特講Ⅰ	2	
	経済学特講Ⅱ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
	経済学・社会学演習Ⅰ	2	
	経済学・社会学演習Ⅱ	2	
	経済学・社会学演習Ⅲ	2	
	経済学・社会学演習Ⅳ	2	
	経済学	2	
	社会学	2	
計	12		
哲学・倫理学	哲学・倫理学特講Ⅰ	2	
	哲学・倫理学特講Ⅱ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
	人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
	哲学・倫理学演習Ⅰ	2	

区 分		科 目	単 位	備 考	
専 修 専 門 科 目	哲 学 ・ 倫 理 学	選 択 科 目			
		哲学・倫理学演習Ⅱ	2		
		哲学・倫理学演習Ⅲ	2		
		哲学・倫理学演習Ⅳ	2		
		哲学	2-4		
	倫理学	2-4			
		計	12		
	社 会 科 教 育 学	選 択 科 目	社会科教材開発実習Ⅰ	2	
			社会科教材開発実習Ⅱ	2	
			人文・社会科学方法論特講	2	
			人文・社会科学方法論演習Ⅰ	2	
			人文・社会科学方法論演習Ⅱ	2	
			社会認識形成史特講	2	
			社会認識形成史演習Ⅰ	2	
			社会認識形成史演習Ⅱ	2	
社会認識教育方法論演習			2		
授業研究法（生活・社会）			2		
教 育 学	目	日本史	2		
		外国史	2		
		社会学	2		
		哲学	2		
		人文・社会科学研究法Ⅰ	2		
人文・社会科学研究法Ⅱ	2				
	計	12			
	専修専門科目 計	30			
研 究 卒 業		卒業研究	6		
		計	6		
合 計			78		
科 目 自 由		教養教育に関する授業科目	} 13		
		専門教育に関する授業科目			
		計	13		

(3) 教科教育コース (中学校主免)

③ 数学教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程共通科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
	数学・数学教育学研究入門	2		
	計	4		
教職専修科目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	計	38		
科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2		
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2		
	中等教育実習Ⅰ	4		
	中等教育実習Ⅲ	2		
	教職実践演習 (中等)	2		
	数学科教育法Ⅰ	2		
	数学科教育法Ⅱ	2		
	数学科教育法Ⅲ	2		
	数学科教育法Ⅳ	2		
	小計	20		
	計	38		
専修科目	代数系の基礎Ⅰ	2		
	線形代数学Ⅰ	2		
	微分積分学Ⅰ	2		
	統計学Ⅰ	2		
	情報数学Ⅰ	2		
	小計	10		
	科目	代数学序説	2	
		代数系の基礎Ⅱ	2	
		代数学講義Ⅰ	2	
		代数学講義Ⅱ	2	
		応用代数学Ⅰ	2	
応用代数学Ⅱ		2		
代数学特講		2		
幾何学序説		2		
線形代数学Ⅱ		2		
幾何学講義Ⅰ		2		
幾何学講義Ⅱ		2		
応用幾何学Ⅰ	2			
応用幾何学Ⅱ	2			
幾何学特講	2			
微分積分学Ⅱ	2			
解析学講義Ⅰ	2			
解析学講義Ⅱ	2			
応用解析学Ⅰ	2			

区分	科目	単位	備考
専修専門科目	応用解析学Ⅱ	2	
	解析学特講	2	
	統計学Ⅱ	2	
	情報数学Ⅱ	2	
	小計	20	
計	30		
研究	卒業研究	6	
	計	6	
計	78		
科目自由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

④ 理科教育専修

区分	科目	単位	備考
課程共通科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	
教職専修科目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
専門科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	中等教育実習Ⅰ	4	
	中等教育実習Ⅲ	2	
	教職実践演習 (中等)	2	
	理科教育法 (中等)Ⅰ	2	
	理科教育法 (中等)Ⅱ	2	
	理科教育法 (中等)Ⅲ	2	
	理科教育法 (中等)Ⅳ	2	
	小計	20	
計	38		
専修科目	基礎物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
必修科目	基礎生物学実験	2	
	地学基礎実習	2	
小計	8		
専修科目	基礎物理学ⅠA	2	うち2単位必修
	基礎物理学ⅠB	2	
	基礎化学ⅠA	2	うち2単位必修
	基礎化学ⅠB	2	
	基礎化学ⅡA	2	うち2単位必修
	基礎化学ⅡB	2	
	無機化学	2	うち2単位必修
	機器分析化学	2	
	基礎生物学A	2	うち2単位必修
	基礎生物学B	2	
	基礎生物学C	2	うち2単位必修
	生物学特論A	2	
	生物学特論B	2	うち2単位必修
	動物学	2	
地域環境生物学	2	うち2単位必修	
植物学	2		
生活環境生物学実習	2	うち2単位必修	
基礎地学Ⅰ	2		
基礎地学Ⅱ	2	うち2単位必修	

区分	科目	単位	備考
共通科目	天文学・気象学A	2	
	天文学・気象学B	2	
	地学セミナー	2	
	地殻科学	2	
	地層学	2	
	自然科学基礎演習Ⅰ	2	
	自然科学基礎演習Ⅱ	2	
	情報理科特論	2	
	情報理科特講	2	
	小計	10	
	計	18	
物理選択科目	物理学実験	2	
	物理学セミナー	2	
	小計	4	
	基礎物理学ⅠA	2	
	基礎物理学ⅠB	2	
	基礎物理学ⅡA	2	
	基礎物理学ⅡB	2	
	現代物理学ⅠA	2	
	現代物理学ⅠB	2	
	現代物理学ⅡA	2	
現代物理学ⅡB	2		
現代物理学Ⅲ	2		
天文学・気象学A	2		
天文学・気象学B	2		
小計	8		
計	12		
化学選択必修科目	有機化学実験	2	うち2単位必修
	物理化学実験	2	
	小計	4	
	化学演習AⅠ	2	
	化学演習AⅡ	2	
	化学演習BⅠ	2	
	化学演習BⅡ	2	
	基礎化学ⅠA	2	
	基礎化学ⅠB	2	
	基礎化学ⅡA	2	
基礎化学ⅡB	2		
無機化学	2		
機器分析化学	2		
小計	8		
計	12		
生物選択必修科目	生物学演習A	2	うち2単位必修
	生物学演習B	2	
	基礎生物学A	2	
	基礎生物学B	2	
	基礎生物学C	2	
	動物学	2	
	植物学	2	
	地域環境生物学	2	
	生物学特論A	2	
	生物学特論B	2	
	生活環境生物学実習	2	
	生物学実験Ⅰ	2	
	生物学実験Ⅱ	2	
	植物野外実習	2	
地域環境生物学実習	2		
昆虫学実習	2		
計	12		

区分	科目	単位	備考
専修科目	地学演習A	2	うち2単位必修
	地学演習B	2	
	地層学セミナー	2	
	火山・地球環境セミナー	2	
	基礎地学Ⅱ	2	
	天文学・気象学A	2	
	天文学・気象学B	2	
	地学セミナー	2	
	地層学	2	
	地殻科学	2	
	地殻科学実習	2	
	地域地質実習	2	
計		12	
必修科目	自然科学基礎演習Ⅰ	2	うち2単位必修
	自然科学基礎演習Ⅱ	2	
	情報理科特論	2	
小計		4	
専修科目	情報理科特講	2	
	基礎物理学ⅠA	2	
	基礎物理学ⅠB	2	
	基礎物理学ⅡA	2	
	基礎物理学ⅡB	2	
	現代物理学ⅠA	2	
	現代物理学ⅠB	2	
	現代物理学ⅡA	2	
	現代物理学ⅡB	2	
	現代物理学Ⅲ	2	
	基礎化学ⅠA	2	
	基礎化学ⅠB	2	
	基礎化学ⅡA	2	
	基礎化学ⅡB	2	
	無機化学	2	
	機器分析化学	2	
	基礎生物学A	2	
	基礎生物学B	2	
	基礎生物学C	2	
	動物学	2	
	地域環境生物学	2	
	植物学	2	
	生物学特論A	2	
	生物学特論B	2	
	生活環境生物学実習	2	
	基礎地学Ⅰ	2	
	基礎地学Ⅱ	2	
天文学・気象学A	2		
天文学・気象学B	2		
地学セミナー	2		
地層学	2		
地殻科学	2		
小計		8	
計		12	
専修専門科目計		30	
卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		78	

区分	科目	単位	備考
科目自由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑤ 音楽教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程 共通 科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論 数学・数学教育学研究入門	2		
計	4			
教 職 専 門 科 目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2		
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2		
	中等教育実習Ⅰ	4		
	中等教育実習Ⅲ	2		
	教職実践演習 (中等)	2		
音楽科教育法 (中等)Ⅰ	2			
音楽科教育法 (中等)Ⅱ	2			
音楽科教育法 (中等)Ⅲ	2			
音楽科教育法 (中等)Ⅳ	2			
小計	20			
計	38			
専 修 科 目	音楽表現Ⅰ	2		
	音楽表現Ⅱ	2		
	音楽実践Ⅰ	2		
	音楽実践Ⅱ	2		
	音楽実践Ⅲ	1		
	音楽実践Ⅳ	1		
	音楽理論	2		
	音楽史	2		
	多文化音楽論Ⅰ	2		
	合唱	2		
	合奏	2		
	小計	20		
	選 択 科 目	音楽教育学演習Ⅰ	1	
		音楽教育学演習Ⅱ	1	
		コレギウムⅠ	1	
コレギウムⅡ		1		
コレギウムⅢ		1		
コレギウムⅣ		1		
コレギウムⅤ		1		
コレギウムⅥ		1		
コレギウムⅦ		1		
コレギウムⅧ		1		

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	音楽教育実践入門Ⅰ	2	
	音楽教育実践入門Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅰ	2	
	音楽教育実践Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅲ	2	
	弦楽器メソッドⅠ	1	
	弦楽器メソッドⅡ	1	
	音楽実践Ⅴ	1	
	音楽実践Ⅵ	1	
	音楽実践Ⅶ	1	
	音楽実践Ⅷ	1	
	声楽アンサンブル	2	
	伴奏法	2	
	コンピュータ音楽Ⅰ	2	
	コンピュータ音楽Ⅱ	2	
	音楽マネジメントⅠ	2	
	音楽マネジメントⅡ	2	
	音楽心理学Ⅰ	2	
	音楽心理学Ⅱ	2	
	西洋音楽史Ⅰ	2	
	西洋音楽史Ⅱ	2	
	音楽文化論	2	
	音楽学Ⅰ	2	
	音楽学Ⅱ	2	
	声楽メソッドⅠ	1	
	声楽メソッドⅡ	1	
	ピアノメソッドⅠ	1	
	ピアノメソッドⅡ	1	
	ピアノ・アンサンブル	1	
	楽曲分析法Ⅰ	2	
楽曲分析法Ⅱ	2		
作曲・理論入門Ⅰ	2		
作曲・理論入門Ⅱ	2		
音楽環境学演習Ⅰ	1		
音楽環境学演習Ⅱ	1		
音楽課題研究	2		
弦楽アンサンブルⅠ	2		
弦楽アンサンブルⅡ	2		
弦楽器実践	2		
小計	10		
計	30		
研 究 卒 業	卒業研究	6	
	計	6	
合計		78	
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑥ 美術教育専修

区分	科目	単位	備考
課程共通科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
数学・数学教育学研究入門	2		
計	4		
教職専修科目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
門科専修必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	中等教育実習Ⅰ	4	
	中等教育実習Ⅲ	2	
	教職実践演習 (中等)	2	
	美術科教育法 (中等)Ⅰ	2	
	美術科教育法 (中等)Ⅱ	2	
	美術科教育法 (中等)Ⅲ	2	
美術科教育法 (中等)Ⅳ	2		
小計	20		
計	38		
専修科目	絵画基礎Ⅰ	2	
	絵画基礎Ⅱ	2	
	彫刻基礎Ⅰ	2	
	彫刻基礎Ⅱ	2	
	工芸基礎	2	
	デザイン基礎	2	
	芸術学	2	
	日本・東洋美術史	2	
	西洋美術史	2	
	美術教育原論	2	
小計	20		
門科選択必修科目	絵画制作	2	うち2単位必修
	日本画制作	2	
	彫刻制作	2	
	工芸制作	2	
	デザイン制作	2	
	美術教育課題研究Ⅰ	2	
	美術教育課題研究Ⅱ	2	
	造形芸術学課題研究Ⅰ	2	
造形芸術学課題研究Ⅱ	2		

区分	科目	単位	備考
専修必修科目	西洋絵画	2	うち8単位必修
	日本画	2	
	版画実習	2	
	空間表現	2	
	日本画技法演習	2	
	デザイン理論	2	
	彫刻論	2	
	芸術学特論	2	
	美術史特論	2	
	比較芸術学特論	2	
	造形教育論	2	
	芸術鑑賞演習	2	
	木材実習	2	
	工芸実習Ⅰ	2	
	工芸実習Ⅱ	2	
工芸実習Ⅲ	2		
地域と工芸	2		
地域芸術研究	2		
くらしと表現・鑑賞	2		
伝統芸術表現	2		
東洋美術の歴史と表現	2		
篆刻と工芸	2		
教育描法演習	2		
芸術総合学習論	2		
小計	10		
計	30		
研究卒業	卒業研究	6	
	計	6	
合計	78		
科目自由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑦ 保健体育専修

区分	科目	単位	備考
課程 共通 科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
数学・数学教育学研究入門	2		
計	4		
教 職 専 門 科 目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小 計	18	
専 修 必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	中等教育実習Ⅰ	4	
	中等教育実習Ⅲ	2	
	教職実践演習 (中等)	2	
	保健体育科教育法Ⅰ	2	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	
	保健体育科教育法Ⅲ	2	
	保健体育科教育法Ⅳ	2	
	小 計	20	
計	38		
専 修 専 門 科 目	体育原理	2	
	体育心理学	2	
	体育経営学	2	
	運動方法学	2	
	生理学・運動生理学	2	
	衛生学	2	
	学校保健	2	
	体操	1	
	陸上競技	1	
	水泳	1	
	スキー	1	
	サッカー	1	
	剣道	1	
	小 計	20	

区分	科目	単位	備考	
専 修 科 目	体育史	2	うち2単位必修	
	体育社会学	2		
	体育行政学	2		
	体育測定評価論	2		
	選 択 必 修 科 目	体操授業実践実習	1	うち3単位必修
		陸上競技授業実践実習	1	
		水泳授業実践実習	1	
		野外活動・スキー授業実践実習	1	
		サッカー授業実践実習	1	
		バスケットボール授業実践実習	1	
		剣道授業実践実習	1	
		バレーボール授業実践実習	1	
		ベースボールスポーツ授業実践実習	1	
		卓球授業実践実習	1	
	専 門 科 目	器械運動	1	うち4単位必修
バレーボール		1		
柔道		1		
ダンス		1		
野外活動		1		
バスケットボール		1		
ベースボールスポーツ		1		
卓球		1		
小 計		9		
選 択 科 目		体育原理体育史演習Ⅰ	1	
	体育原理体育史演習Ⅱ	1		
	体育心理学演習Ⅰ	1		
	体育心理学演習Ⅱ	1		
	保健体育科教育学演習Ⅰ	1		
	保健体育科教育学演習Ⅱ	1		
	体育方法学演習ⅠA	1		
	体育方法学演習ⅡA	1		
	体育方法学演習ⅠB	1		
	体育方法学演習ⅡB	1		
体育方法学演習ⅠC	1			
体育方法学演習ⅡC	1			
生理学・運動生理学演習Ⅰ	1			
生理学・運動生理学演習Ⅱ	1			
小 計	1			
計	30			
研 究 卒 業	卒業研究	6		
	計	6		
合 計		78		
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	13		
	専門教育に関する授業科目			
	計	13		

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑧ 技術科教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程 共通 科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (N I E) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論 数学・数学教育学研究入門	2		
計	4			
教 職 専 門 科 目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小計	18		
専 修 必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2		
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2		
	中等教育実習Ⅰ	4		
	中等教育実習Ⅲ	2		
	教職実践演習 (中等)	2		
	技術教育研究Ⅰ	2		
	技術教育研究Ⅱ	2		
	技術教育研究Ⅲ	2		
	技術教育研究Ⅳ	2		
	小計	20		
計	38			
専 修 科 目	木材加工Ⅰ	2		
	木材加工及び実習Ⅰ	2		
	金属加工実習Ⅰ	1		
	機械実習Ⅰ	1		
	電気実習Ⅰ	1		
	栽培実習Ⅰ	1		
	情報基礎及び実習	2		
	小計	10		
	専 門 必 修 科 目	栽培Ⅰ	2	} うち4単位必修
		栽培Ⅱ	2	
栽培Ⅲ		2		
金属加工Ⅰ		2	} うち4単位必修	
金属加工Ⅱ		2		
金属加工Ⅲ		2		
機械Ⅰ		2	} うち4単位必修	
機械Ⅱ		2		
機械Ⅲ		2		
電気Ⅰ		2	} うち4単位必修	
電気Ⅱ	2			
電気Ⅲ	2			
電気Ⅳ	2			
栽培Ⅳ	2			
情報基礎Ⅰ	2			

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	情報基礎Ⅱ	2	
	栽培実習Ⅱ	1	
	金属加工Ⅳ	2	
	金属加工実習Ⅱ	1	
	機械Ⅳ	2	
	機械実習Ⅱ	1	
	電気実習Ⅱ	1	
	小計	20	
	計	30	
	研 究 卒 業	卒業研究	6
計		6	
合計		78	
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	} 13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑨ 家庭科教育専修

区分	科目	単位	備考
課程 共通 科目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
数学・数学教育学研究入門	2		
計	4		
教 職 専 門 科 目	教職入門	2	
	教育学概論	2	
	教育心理学	2	
	発達心理学	2	
	教育の制度と経営	2	
	教育方法・技術A	2	
	道徳指導法	2	
	特別活動研究	2	
	教育課程論	2	
	小計	18	
専 修 必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
	中等教育実習Ⅰ	4	
	中等教育実習Ⅲ	2	
	教職実践演習 (中等)	2	
	家庭科教育法 (中等)Ⅰ	2	
	家庭科教育法 (中等)Ⅱ	2	
	家庭科教育法 (中等)Ⅲ	2	
	家庭科教育法 (中等)Ⅳ	2	
	小計	20	
計	38		
専 修 科 目	家庭経営学Ⅰ	2	
	家庭経営学Ⅱ	2	
	被服学Ⅰ	2	
	被服学Ⅱ	2	
	被服学実験実習Ⅰ	2	
	食物学Ⅰ	2	
	食物学Ⅱ	2	
	食物学実験実習Ⅰ	2	
	住居学Ⅰ	2	
	住居学実験実習	2	
保育学	2		
小計	22		
選 択 科 目	生活科学教育研究	2	
	生活科学教育演習	2	
	生活科学教育課題の分析	2	
	家庭経営学演習	2	
	家庭経営学課題の分析	2	
	被服学Ⅲ	2	
	被服学Ⅳ	2	
被服学実験実習Ⅱ	2		

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	被服学実験実習Ⅲ	2	
	被服学演習	2	
	被服学課題の分析	2	
	食物学Ⅲ	2	
	食物学実験実習Ⅱ	2	
	調理実習Ⅰ	2	
	調理実習Ⅱ	2	
	食物学演習	2	
	食物学課題の分析	2	
	住居学Ⅱ	2	
	住居学Ⅲ	2	
	住居学演習	2	
住居学課題の分析	2		
家庭看護学	2		
家庭電気・機械	2		
情報処理演習	2		
小計	8		
計	30		
研 究 卒 業	卒業研究	6	
	計	6	
合計	78		
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
	計	13	

(3) 教科教育コース (中学校主免)

⑩ 英語教育専修

区分	科目	単位	備考	
課程 共通 科目	環境教育概論	2		
	教育実践体験研究Ⅰ	2		
	教育実践体験研究Ⅱ	2		
	教育実践体験研究Ⅲ	2		
	教育実践体験研究Ⅳ	2		
	教育実践研究Ⅰ	2		
	教育実践研究Ⅱ	2		
	教育実践研究演習Ⅰ	2		
	教育実践研究演習Ⅱ	2		
	教育臨床研究演習	2		
	学校カウンセリング	2		
	新聞活用教育 (NIE) 演習	2		
	初等外国語活動指導法	2		
	小学校英語	2		
	軽度発達障害心理・教育論	2		
数学・数学教育学研究入門	2			
計	4			
教 職 専 門 科 目	教職入門	2		
	教育学概論	2		
	教育心理学	2		
	発達心理学	2		
	教育の制度と経営	2		
	教育方法・技術A	2		
	道徳指導法	2		
	特別活動研究	2		
	教育課程論	2		
	小 計	18		
	専 修 必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		中等教育実習Ⅰ	4	
		中等教育実習Ⅲ	2	
		教職実践演習 (中等)	2	
英語科教育法Ⅰ		2		
英語科教育法Ⅱ		2		
英語科教育法Ⅲ		2		
英語科教育法Ⅳ	2			
小 計	20			
計	38			
専 修 専 門 科 目	英語教育と英文法Ⅰ	2		
	英語教育と言語学Ⅰ	2		
	英語教育と音声学Ⅰ	2		
	英語教育と英文学Ⅰ	2		
	英語教育と米文学Ⅰ	2		
	英語教育リスニング演習Ⅰ	1		
	英語教育スピーキング演習Ⅰ	1		
	英語教育ライティング演習Ⅰ	1		
	英語教育と異文化理解	2		
	小 計	15		
	選 択 科 目	英語教育と英文法Ⅱ	2	
		英語教育と英文法研究法Ⅰ	2	
		英語教育と英文法研究法Ⅱ	2	
		英語教育と言語学Ⅱ	2	
		英語教育と言語学研究法Ⅰ	2	
英語教育と言語学研究法Ⅱ		2		

区分	科目	単位	備考
専 修 専 門 科 目	英語教育と音声学Ⅱ	2	うち9単位必修
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	2	
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	2	
	英語教育とコミュニケーション	2	
	英語教育とコミュニケーション研究法	2	
	英語教育と英文学Ⅱ	2	
	英文学教材研究Ⅰ	2	
	英文学教材研究Ⅱ	2	
	英語教育と米文学Ⅱ	2	
	米文学教材研究Ⅰ	2	
	米文学教材研究Ⅱ	2	
	英語教育リスニング演習Ⅱ	1	
	英語教育リスニング演習Ⅲ	1	
	英語教育リスニング演習Ⅳ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅱ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅲ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅳ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅱ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅲ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅳ	1	
英語教育リーディング演習Ⅰ	1		
英語教育リーディング演習Ⅱ	1		
英語教育リーディング演習Ⅲ	1		
英語教育リーディング演習Ⅳ	1		
英語総合演習Ⅰ	2		
英語総合演習Ⅱ	2		
英語教育と異文化理解研究法	2		
初等英語科教育法	2		
英語科教育総合実践	2		
小 計	15		
計	30		
研 究 卒 業	卒業研究	6	
	計	6	
合 計		78	
科 目 自 由	教養教育に関する授業科目	13	
	専門教育に関する授業科目		
計		13	

4 教育職員免許状の取得

4 教育職員免許状の取得

(1) 取得することができる教員免許状の種類及び免許教科

本学部の各課程において取得することができる教員免許状の種類及び免許教科は次のとおりです。

学校教員養成課程

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状

中学校教諭一種免許状(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語)

高等学校教諭一種免許状(国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語)

(2) 教員免許状取得に当たって

1) 教員免許状を取得するためには, 教育職員免許法別表第1に示す免許状の種類に応じて, 所定の単位を修得しなければなりません。

また, 小学校及び中学校の教諭の普通免許状を取得するための要件として, 上記の単位の修得に加え, 介護等の体験を行うことが必要です。

2) 上記1)のほかに次の科目の習得が必要です。

○日本国憲法 下記から2単位

人文社会・教育科学区分	日本国憲法 A	2
	日本国憲法 B	2
	日本国憲法 C	2
	日本国憲法 D	2

○体育 健康・スポーツ区分 下記3単位

健康スポーツ科学実習 I	1
健康スポーツ科学講義	2

○外国語コミュニケーション 英語区分 下記から2単位

アカデミック英語 R1	0.5
アカデミック英語 R2	0.5
アカデミック英語 L1	0.5
アカデミック英語 L2	0.5
アカデミック英語 W	1
基礎英語	1

○情報機器の操作 情報リテラシー区分 下記から2単位

情報処理概論 A I	2
情報処理概論 A II	2
情報教育論	2
情報機器操作入門	2
コンピュータセキュリティ入門	2
UNIX リテラシー演習	2

3) 取得しようとする教員免許状の種類に応じて、修得すべき授業科目の履修については、後述の「(5)免許状取得のための授業科目の履修方法」を参照のうえ、履修してください。

4) 中学校及び高等学校教諭の免許状を取得する場合の「教科に関する科目」の修得に際しては、特に下記事項に注意してください。

教育職員免許法施行規則第3条の表及び第4条の表中

① 「及び」という意味は、2つの科目のそれぞれの単位を修得するということである。

例えば、「日本史及び外国史」の単位は、日本史と外国史の両方にわたって修得しなければならない。

② 「(…を含む。)」の場合は、必ず「その含む」こととされている科目を修得しなければならない。

③ 「 」内に表示された科目の単位の修得は、「 」内の1科目だけでも良いし、「 」内の数科目の単位を合算しても良い。

例えば、「哲学、倫理学、宗教学」の単位は、「哲学2単位」又は「哲学2単位及び倫理学2単位」等を修得すればよい。

5) 主専攻・副専攻による免許状の取得について

① 教員学部では、主専攻による免許状の他にも免許状(これを「副専攻免許状」という。)を取得し得るようになっており、この方針に基づいて、主専攻免許状と副専攻免許状(一種免許状又は二種免許状)の複数の免許状を取得して、卒業するように履修計画を立てなければなりません。

② 主専攻による免許状の取得について

学部規程の履修基準は、それぞれの所属コース・専修に関する一種免許状を取得し得るよう定められていますが、その内容については、当該専修教員の指導を受けて、免許の種類に応じた力量を備えるように心がけるとともに、本学生要覧の巻末にある教育職員免許法抄・同施行規則抄を熟読して、履修計画を立てなければなりません。

③ 副専攻による免許状の取得について

ア 副専攻免許状取得に係る履修については、それぞれの所属のコース・専修の指導教員の指導を受ける必要があります。

イ 副専攻免許状の取得方法については、副専攻ガイダンスで配布される別冊子又は教育学部ホームページ (<http://www.ed.niigata-u.ac.jp>) を参照してください。

(3) 義務教育教員免許状取得に際しての介護等体験の義務づけ

1) 趣旨

平成9年6月に、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(平成9年法律第90号)が公布され、平成10年4月1日から施行されました。この法律の施行により、義務教育(小学校及び中学校)教員の免許状を取得するには、「介護等の体験」を行うことが義務づけられました。

その趣旨は、「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる。」とあり、もって「人の心の痛みのわかる人づくり、各人の価値観の相違を認められる心を持った人づくりの実現に資する。」ことを目的としています。

2) 介護等体験の内容

小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けるためには、教育職員免許法第5条第1項に規定された要件に加えて、「介護等の体験」が課せられることとなります。小学校及び中学校の教員免許状の授与申請に当たっては、介護等の体験を行った学校又は施設の長が発行する介護等の体験に関する証明書を提出することが求められます。この証明書の提出がないと教員免許状は授与されません。

「介護等の体験」とは、18歳に達した後、7日間を下らない範囲内において、特別支援学校又は社会福祉施設その他の施設で文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定めるものにおいて行われる介護等の体験をいいます。

3) 施行期日及び適用

この法律は、主として平成10年4月の大学等の新入学生から適用されるものです。

この法律の施行日(平成10年4月1日)前に大学等に在学した者で、これらを卒業するまでに小学校又は中学校の教諭の普通免許状に係る所要資格を得た者については、適用されません。

ただし、平成10年3月31日以前に大学等に在学した者であっても、卒業までの間に小学校又は中学校教諭の専修、一種若しくは二種のいずれかの免許状取得のための所要資格を得なかった者については、平成10年4月以降新たにこれらの免許状を取得しようとする場合、介護等の体験を行うことが必要となります。

4) 本学部での介護等体験の実施

本学部では、次の方法により介護等体験を行います。実施に際しては、介護等体験説明会(ガイダンス)を開催し、介護等体験実施の概要などを説明するとともに、介護等体験実施の申し込みの受け付けを行います。

なお、介護等体験説明会(ガイダンス)の開催期日は、掲示により通知しますので、見落としなどのないよう留意してください。

① 介護等体験を行うことのできる者

介護等体験を行うことのできる者は、本学部の学生等で小学校及び中学校の教諭の普通免

許状を取得しようとする者です。

② 介護等体験を行う年次

介護等体験は、原則として2年次に実施します。

③ 介護等体験を実施する施設及び期間

介護等体験を行う期間は7日間とし、5日間は社会福祉施設等において、2日間は特別支援学校において実施します。

介護等体験を行う施設については、社会福祉施設等にあつては、大学と新潟県社会福祉協議会とで協議のうえ、介護等体験を行う施設を定めます。特別支援学校にあつては、本学部附属特別支援学校において介護等体験を行います。

④ 介護等体験事前指導の受講

介護等体験を受けようとする者は、介護等体験実施の前に事前指導を受けなければなりません。事前指導を受けない場合、介護等体験に参加できません。

⑤ 介護等体験実施に対応した保険

介護等体験を実施しようとする学生は、万一の事故等に備えて、財団法人日本国際教育支援協会の「学生教育研究賠償責任保険」（学生教育研究災害傷害保険に加入していることが必要）に加入しなければなりません。

なお、未加入の場合、介護等体験を受け入れてもらえません。

⑥ 介護等体験に係る費用の負担

介護等体験を実施するに当たり費用又は実費を負担してもらいます。詳細については、説明会(ガイダンス)において連絡します。

(4) 教育実習の履修要件

履修要件は、教育実習を効果的に行なうために必要な最低限の教職科目の履修を義務付ける目的で設けられているものです。3年次の4月に教育実習の履修登録をする時点で、履修要件を満たしていることが必要になりますので、履修計画を立て計画的に履修してください。

【初等・中等主専攻実習】

a 事前指導を履修済みであること

b 次の科目を履修済みであること

イ. 教職入門 (1年次前期)

ロ. 教育心理学 (1年次後期)

ハ. 教育学概論 (2年次)

c 次の科目を履修済みまたは履修中であること

イ. 教育の制度と経営 (2年次～)

ロ. 教育方法・技術 (2年次～)

ハ. 道徳指導法(高校免許のみの学生は除く)(2年次～)

または特別活動研究(特別活動指導法)(2年次～)

ニ. 小学校教育実習では教科教育法1科目を履修済み、さらに1科目を「履修済みまたは履修中」であること(2年次～)

ホ. 中等教育実習では教科教育法1科目(当該科目)を「履修済み」であること(2年

次～)

- d 中等教育実習（英語科）の場合は教育実習の履修申請をする時点で，実用英語技能検定試験（英検）の2級以上に合格していること

【初等・中等副専攻実習】

- a 主専攻教育実習を修了していること
- b 次の科目を履修済みまたは履修中であること
 - イ．小学校教育実習では教科教育法1科目を履修済み，さらに1科目を「履修済みまたは履修中」であること（2年次～）
 - ロ．中等教育実習では教科教育法1科目（当該科目）を「履修済み」であること（2年次～）
- c 中等教育実習（英語科）の場合は教育実習の履修申請をする時点で，実用英語技能検定試験（英検）の2級以上に合格していること

【特別支援教育実習】

以上に加えて，次の科目を履修済みまたは履修中であること

- イ．特別支援教育の本質と目標（2年次～）
- ロ．知的障害心理学（2年次～）

(5) 教員免許状取得のための授業科目の履修方法（主専攻の履修方法を示す。）

免許状の種類に応じて、本学部で修得すべき授業科目の履修方法については、以下のとおりです。なお、教育実習の履修に当たっては、所定の基準を満たしていなければなりません。
副専攻の履修については、各専攻の指示による。

I 学校教員養成課程

1. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教科に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める 科目区分等		授 業 科 目 (単位数)	単 位 数		備 考
科 目	単位数		一 種 必修	二種 選択	
国 語 (書写を含む。)	8	小 学 校 国 語 (書写を含む。)	2		二種の場合は、「音楽、 図画工作、体育」のうち、 1教科2単位以上を 含まなければならない。
社 会		小 学 校 社 会	2		
算 数		小 学 校 算 数	2		
理 科		小 学 校 理 科	2		
生 活		生 活	2	2	
音 楽		小 学 校 音 楽	2	2	
図 画 工 作		図 画 工 作	2	2	
家 庭		小 学 校 家 庭	2	2	
体 育	小 学 校 体 育	2	2		
合 計	8		16	10	

2. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目・単位		単 位 数		備 考	
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	授 業 科 目	単 位 数	一 種	二 種 特別支援教育専修 (小教基礎免)		
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教 職 入 門	2	2	2		
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教 育 学 概 論	2	2	2		
	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教 育 哲 学	2				
			教 育 史	2				
			幼 児 教 育 概 論	2				
			幼 児 教 育 演 習 A	2				
			幼 児 教 育 演 習 B	2				
			幼 児 教 育 史	2				
			教 育 心 理 学	2	2	2		
			発 達 心 理 学	2				
			教 育 心 理 学 実 験 演 習 I	2				
			教 育 心 理 学 実 験 演 習 II	2				
			教 育 心 理 学 総 合 演 習 I	2				
			教 育 心 理 学 総 合 演 習 II	2				
			教 育 心 理 学 総 合 演 習 III	2				
			教 育 心 理 学 A	2				
			教 育 心 理 学 B	2				
			教 育 臨 床 心 理 学	2				
			発 達 心 理 学 A	2				
			発 達 臨 床 心 理 学	2				
			教 科 心 理 学	2				
			認 知 心 理 学	2				
			幼 児 心 理 学 概 論	2				
			幼 児 心 理 学 演 習	2				
			幼 児 発 達 心 理 学	2				
			教 育 の 制 度 と 経 営	2	2	2		
			教 育 社 会 学	2				
			教 育 政 策 と 法	2				
			教 育 行 政 学	2				
			教 育 制 度	2				
			教 育 制 度 演 習	2				
			幼 児 教 育 の 制 度 と 経 営	2				
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	22	教 育 課 程 論	2	2	2		
	・各教科の指導法		国 語 科 教 育 法（初等）	2				2
			社 会 科 教 育 法（初等）	2				
			算 数 科 教 育 法	2				
			理 科 教 育 法（初等）	2				
			生 活 科 教 育 法	2				
			音 楽 科 教 育 法（初等）	2				
			美 術 科 教 育 法（初等）	2				
			体 育 科 教 育 法	2				
			家 庭 科 教 育 法（初等）	2				
			道 徳 指 導 法	2				
	特 別 活 動 の 指 導 法		2					
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教 育 方 法 ・ 技 術 A	2				2
			教 育 実 践 研 究 I	2				
			教 育 実 践 研 究 II	2				
			教 育 実 践 研 究 演 習 I	2				
			教 育 実 践 研 究 演 習 II	2				
授 業 論 ・ 学 級 指 導 論		2						
教 育 内 容 ・ 方 法		2						
教 育 統 計 学	2							
教 育 心 理 デ ー タ 解 析 論	2							
教 育 評 価	2							

二種は6以上の教科（音楽，美術及び体育のうち2以上を含むこと。）各2単位以上を修得しなければならない。

生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	2	2
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	2	2
教育実習		5	初等教育実習Ⅰ 初等教育実習Ⅱ [特別支援教育専修(小教基礎免)]	6 5	6	5
教職実践演習		2	教職実践演習(初等)	2	2	2
合計		41			48	41

3. 特別支援学校教諭免許状を取得する場合の「特別支援教育に関する科目」の履修方法

免許状の種類 (特別支援教育領域)	免許法施行規則に定める科目区分等 (単位数)	授業科目	単位数		中心とする領域	含む領域	備考	
			一 必修	種 選択				
特支一種免 (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)	特別支援教育の基礎理論に関する科目 (2単位)	特別支援教育の本質と目標	2					
	特別支援教育領域に関する科目 (16単位)	心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目	知的障害心理学	2		知的障害者		選択のうち2単位必修
			障害児生理学	2		知的障害者	病弱者	
			発達障害心理学		2	知的障害者	聴覚障害者	
			肢体不自由教育総論	2		肢体不自由者		
			病弱児の心理・生理・病理	2		病弱者		
			障害児心理学演習		2	知的障害者		
			障害児病理学演習		2	病弱者		
		心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害指導論	2		知的障害者		
			肢体不自由指導論	2		肢体不自由者		
			障害児指導学演習Ⅱ		2	知的障害者		
			障害児指導学演習Ⅲ		2	知的障害者	聴覚障害者	
			障害児指導学演習Ⅳ		2	病弱者		
			障害児保健学	2		病弱者		
			障害児指導法演習		2	知的障害者	聴覚障害者	
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 (5単位)	心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目	言語障害心理学	2		重複・LD等領域		
			心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害教育論		2	視覚障害者	
				聴覚障害教育論		2	聴覚障害者	
				聴覚障害言語指導		2	聴覚障害者	
				特別支援教育学演習		2	重複・LD等領域	
障害児指導学演習Ⅰ					2	重複・LD等領域		
心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目		特別支援教育総論	2			視覚障害者 聴覚障害者 知的障害者 肢体不自由者 病弱者		
		重複障害の心理・指導論	2		重複・LD等領域			
		心身に障害のある幼児，児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	軽度発達障害心理・教育論		2	重複・LD等領域		
			特別支援教育実習	3				

(注)「免許法施行規則に定める科目区分等」欄の単位数は，各科目区分ごとの最低必要単位数であり，合計26単位の修得を必要とする。

二種免許状の修得方法については，「(7)副専攻免許状の修得方法 4 特別支援学校教諭免許状」に十分留意すること。

4. 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の「教科に関する科目」の履修方法
 (1) 中学校及び高等学校(国語)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考			
				中学校 一 種		高等学校					
科 目	単位数		(単位数)		必修	選択	必修	選択			
	中学	高校									
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	20	国語学概論 I	2	} 2		} 2				
			国語学概論 II	2							
			国語学及び文章表現 I	2		2		2			
			国語学及び文章表現 II	2		2		2			
			国語学講義 I	2		2		2			
			国語学講義 II	2		2		2			
			国語学演習 I	2		2		2			
			国語学演習 II	2		2		2			
			国語学演習 III	2		2		2			
			国語学演習 IV	2		2		2			
			国語学課題研究 I	2		2		2			
			国語学課題研究 II	2		2		2			
			国語学課題研究 III	2		2		2			
国語学課題研究 IV	2		2		2						
国文学(国文学史を含む。)	20	20	国文学概論 I	2	} 2		} 2				
			国文学概論 II	2							
			国文学史 I	2		2		2			
			国文学史 II	2		2		2			
			国文学講義 I	2		2		2			
			国文学講義 II	2		2		2			
			国文学演習 I	2		2		2			
			国文学演習 II	2		2		2			
			国文学演習 III	2		2		2			
			国文学演習 IV	2		2		2			
			国文学課題研究 I	2		2		2			
			国文学課題研究 II	2		2		2			
			国文学課題研究 III	2		2		2			
国文学課題研究 IV	2		2		2						
漢文学	20	20	漢文学講義 I	2	} 2		} 2				
			漢文学講義 II	2							
			漢文学演習 I	2		2		2			
			漢文学演習 II	2		2		2			
			漢文学演習 III	2		2		2			
			漢文学演習 IV	2		2		2			
			漢文学課題研究 I	2		2		2			
			漢文学課題研究 II	2		2		2			
			漢文学課題研究 III	2		2		2			
			漢文学課題研究 IV	2		2		2			
			書道(書写を中心とする。)	20	20	書道講義及び実習 I	2	} 2		}	
						書道講義及び実習 II	2				
			合 計	20	20			8	22	6	24
					30		30				

(注) 選択には、選択必修の授業科目を含めることができる。

(2) 中学校（社会）及び高等学校（地理歴史）

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考
				中学校		高等学校		
科目	単位数		(単位数)	一種		必修	選択	
	中学	高校		必修	選択			
日本史	20	20	日本史 2	2		2		
			日本史 特講 I 2		2		2	
			日本史 特講 II 2		2		2	
			日本史 特講 III 2		2		2	
			日本史 特講 IV 2		2		2	
			日本史 学研法 I 2		2		2	
			日本史 学研法 II 2		2		2	
			日本史 学研法 III 2		2		2	
			日本史 学研法 IV 2		2		2	
			日本史 学実習 I 2		2		2	
外国史			外国史 2	2		2		
			外国史 特講 I 2		2		2	
			外国史 特講 II 2		2		2	
			外国史 特講 III 2		2		2	
			外国史 特講 IV 2		2		2	
			外国史 学研法 I 2		2		2	
			外国史 学研法 II 2		2		2	
			外国史 学研法 III 2		2		2	
			外国史 学研法 IV 2		2		2	
			外国史 学実習 I 2		2		2	
			外国史 学実習 II 2		2		2	
			外国史 学実習 III 2		2		2	
			外国史 学実習 IV 2		2		2	
人文地理学及び自然地理学			地理学 2	2		4		
			地理学 特講 I 2		2		2	
			地理学 特講 II 2		2		2	
			地理学 特講 III 2		2		2	
			地理学 特講 IV 2		2		2	
			地理学 学研法 I 2		2		2	
			地理学 学研法 II 2		2		2	
			地理学 学研法 III 2		2		2	
			地理学 学研法 IV 2		2		2	
			地理学 学実習 I 2		2		2	
			地理学 学実習 II 2		2		2	
			地理学 学実習 III 2		2		2	
			地理学 学実習 IV 2		2		2	
地誌 「法律学, 政治学」			地誌 2	2		2		
			法律学 2	} 2		X		
			政治学 2					
			人文・社会科学研究法 I (法律学) 2					
			人文・社会科学研究法 II (法律学) 2					
			法律学・政治学演習 I 2					
			法律学・政治学演習 II 2					
			法律学・政治学演習 III 2					
		法律学・政治学演習 IV 2						
「社会学, 経済学」			社会学 2	} 2		X		
			経済学 2					
			人文・社会科学研究法 I (経済学) 2					
			人文・社会科学研究法 II (経済学) 2					
			社会学・政治学演習 I 2					
			社会学・政治学演習 II 2					
			社会学・政治学演習 III 2					
			社会学・政治学演習 IV 2					

「哲学，倫理学，宗教学」			哲学	2	} 2				
			倫理学	2					
			哲学・倫理学特講Ⅰ	2			2		
			哲学・倫理学特講Ⅱ	2			2		
			人文・社会科学研究法Ⅰ（哲学）	2			2		
			人文・社会科学研究法Ⅱ（倫理学）	2			2		
			人文・社会科学研究法Ⅱ（哲学）	2			2		
			哲学・倫理学演習Ⅰ	2			2		
			哲学・倫理学演習Ⅱ	2			2		
			哲学・倫理学演習Ⅲ	2			2		
			哲学・倫理学演習Ⅳ	2			2		
			人文・社会科学方法論特講	2			2		
			人文・社会科学方法論演習Ⅱ	2			2		
			社会認識形成史演習Ⅱ	2			2		
合計	20	20				14	16	10	20
						30		30	

(注) 選択には，選択必修の授業科目を含めることができる。

(3)高等学校 (公民)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授 業 科 目 (単位数)	単 位 数		備 考	
科 目	単位数		必修	選択		
「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	20	法 律 学	} 2			
		政 治 学				
		法 律 学 特 講 I				2
		法 律 学 特 講 II				2
		政 治 学 特 講 I				2
		政 治 学 特 講 II				2
		人文・社会科学研究法 I (法律学)				2
		人文・社会科学研究法 II (法律学)				2
		法 律 学 ・ 政 治 学 演 習 I				2
		法 律 学 ・ 政 治 学 演 習 II				2
		法 律 学 ・ 政 治 学 演 習 III				2
		法 律 学 ・ 政 治 学 演 習 IV				2
		「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」				20
経 済 学						
経 済 学 特 講 I	2					
経 済 学 特 講 II	2					
社 会 学 特 講 I	2					
社 会 学 特 講 II	2					
人文・社会科学研究法 I (経済学)	2					
人文・社会科学研究法 II (経済学)	2					
経 済 学 ・ 社 会 学 演 習 I	2					
経 済 学 ・ 社 会 学 演 習 II	2					
経 済 学 ・ 社 会 学 演 習 III	2					
経 済 学 ・ 社 会 学 演 習 IV	2					
「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	20		哲 学	} 2		
		倫 理 学				
		哲 学 ・ 倫 理 学 特 講 I	2			
		哲 学 ・ 倫 理 学 特 講 II	2			
		人文・社会科学研究法 I (哲学)	2			
		人文・社会科学研究法 II (倫理学)	2			
		哲 学 ・ 倫 理 学 演 習 I	2			
		哲 学 ・ 倫 理 学 演 習 II	2			
		哲 学 ・ 倫 理 学 演 習 III	2			
		哲 学 ・ 倫 理 学 演 習 IV	2			
		人文・社会科学方法論特講	2			
		人文・社会科学方法論演習 II	2			
		社会認識形成史演習 II	2			
合 計	20		6	24		
			30			

(注) 選択には, 選択必修の授業科目を含めることができる。

(4) 中学校及び高等学校 (数学)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考	
				中学校 一 種		高等学校			
科 目	単位数		(単位数)						
	中学	高校	必修	選択	必修	選択			
代 数 学	20	20	代 数 系 の 基 礎 I	2	2	2	2		
			代 数 系 の 基 礎 II	2				2	2
			代 数 学 序 説	2				2	2
			代 数 学 講 義 I	2				2	2
			代 数 学 講 義 II	2				2	2
			応 用 代 数 I	2				2	2
			応 用 代 数 II	2				2	2
			代 数 学 特 講	2				2	2
幾 何 学			線 形 代 数 学 I	2	2	2	2		
			線 形 代 数 学 II	2				2	2
			幾 何 学 序 説	2				2	2
			幾 何 学 講 義 I	2				2	2
			幾 何 学 講 義 II	2				2	2
			応 用 幾 何 学 I	2				2	2
			応 用 幾 何 学 II	2				2	2
			幾 何 学 特 講	2				2	2
解 析 学			微 分 積 分 学 I	2	2	2	2		
			微 分 積 分 学 II	2				2	2
			解 析 学 講 義 I	2				2	2
			解 析 学 講 義 II	2				2	2
			応 用 解 析 学 I	2				2	2
			応 用 解 析 学 II	2				2	2
			解 析 学 特 講	2				2	2
			「確率論, 統計学」						統 計 学 I
		統 計 学 II	2						
コ ン ピ ュ ー タ			情 報 数 学 I	2	2	2	2		
			情 報 数 学 II	2				2	2
合 計	20	20			10	20	10	20	
					30		30		

(5) 中学校及び高等学校 (理科)

免許法施行規則に定める 科目区分等		単位数		授業科目 (単位数)		単位数				備考
						中学校 一 種		高等学校		
科 目	単位数	中学	高校			必修	選択	必修	選択	
						物 理 学	20	20	基礎物理学 I A 2	
			基礎物理学 I B 2							
			自然科学基礎演習 I 2							
			自然科学基礎演習 II 2							
			情報科学セミナー 2							
			物理学基礎物理セミナー A 2							
			物理学基礎物理セミナー B 2							
			現代物理学 I A 2							
			現代物理学 I B 2							
			現代物理学 II A 2							
			現代物理学 II B 2							
			現代物理学 III 2							
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)			基礎物理学実験 2			2	2	2	2	
化 学			基礎化学 I A 2	} 2	} 2	2	2	2	2	
			基礎化学 I B 2							
			基礎化学 II A 2							
			基礎化学 II B 2							
			無機化学 2							
			有機化学 2							
			化学分析演習 I A 2							
			化学分析演習 I B 2							
			化学分析演習 II A 2							
			化学分析演習 II B 2							
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			基礎化学実験 2			2	2	2	2	
生 物 学			基礎生物学 A 2	} 2	} 2	2	2	2	2	
			基礎生物学 B 2							
			動物学 2							
			植物学演習 A 2							
			植物学演習 B 2							
			基礎生物学実験 I 2							
			基礎生物学実験 II 2							
			植物学野外実習 2							
			地域環境生物学実習 2							
			昆虫学実習 2							
			生活環境生物学実習 2							
地 学			基礎地学 I 2	} 2	} 2	2	2	2	2	
			基礎地学 II 2							
			地殻科 2							
			地層学 2							
			地学演習 A 2							
			地学演習 B 2							
			火山・地球環境セミナー 2							
			地学セミナー 2							
			地層学セミナー 2							
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			地学基礎実習 2			2	2	2	2	
			地域地質実習 2			2	2	2	2	
			地殻地学実習 2			2	2	2	2	
合 計	20	20				16	14	16	14	
						30		30		

(注) 選択には、選択必修の授業科目を含めることができる。

(6) 中学校及び高等学校 (音楽)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考
				中学校		高等学校		
科目	単位数		(単位数)				必修	
	中学	高校	必修	選択	必修	選択		
ソルフェージュ 声乐（合唱及び日 本の伝統的な歌唱 を含む。）	20	20	音楽表現Ⅰ	2	2		2	
			音楽実践Ⅰ	2	2		2	
			音楽実践Ⅳ	1	1		1	
			合唱	2	2		2	
			声楽アンサンブル	2		2		2
器楽（合奏及び伴 奏並びに和楽器を 含む。）	20	20	声楽メソードⅠ	1		1		1
			声楽メソードⅡ	1		1		1
			音楽実践Ⅱ	2	2		2	
			音楽実践Ⅲ	1	1		1	
			音楽実践Ⅳ	2	2		2	
			弦楽器メソードⅠ	1		1		1
			弦楽器メソードⅡ	1		1		1
			音楽実践Ⅴ	1		1		1
			音楽実践Ⅵ	1		1		1
			音楽実践Ⅶ	1		1		1
			音楽実践Ⅷ	1		1		1
			音楽実践Ⅷ	1		1		1
			伴奏	2		2		2
			ピアノメソードⅠ	1		1		1
			ピアノメソードⅡ	1		1		1
ピアノ・アンサンブル	1		1		1			
弦楽アンサンブルⅠ	2		2		2			
弦楽アンサンブルⅡ	2		2		2			
弦楽器実践	2		2		2			
指揮法			2		2			
音楽理論，作曲法 （編曲法を含む。） 及び音楽史（日本 の伝統音楽及び諸 民族の音楽を含 む。）	20	20	音楽理論	2	2		2	
			音楽史	2	2		2	
			多文化音楽論Ⅰ	2	2		2	
			音楽教育学演習Ⅰ	1		1		1
			音楽教育学演習Ⅱ	1		1		1
			コンピュータ音楽Ⅰ	2		2		2
			コンピュータ音楽Ⅱ	2		2		2
			音楽心理学Ⅰ	2		2		2
			音楽心理学Ⅱ	2		2		2
			西洋音楽史Ⅰ	2		2		2
			西洋音楽史Ⅱ	2		2		2
			音楽文化論	2		2		2
			音楽学Ⅰ	2		2		2
			音楽学Ⅱ	2		2		2
			作曲分析法Ⅰ	2		2		2
			作曲分析法Ⅱ	2		2		2
			作曲・理論入門Ⅰ	2		2		2
作曲・理論入門Ⅱ	2		2		2			
合計	20	20		20	10	20	10	
				30		30		

(7) 中学校及び高等学校 (美術)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考		
				中学校		高等学校				
科目	単位数		(単位数)				必修		選択	
	中学	高校	必修	選択	必修	選択				
絵画 (映像メディア表現を含む。)	20	20	絵画基礎 I	2	2		2			
			絵画基礎 II	2					2	2
			絵画制作 I	2					2	2
			日本画制作 I	2					2	2
			西洋画制作 I	2					2	2
			日本画実習 I	2					2	2
			空画面実習 I	2					2	2
			日本画技法演習 I	2					2	2
			教育描法演習 I	2					2	2
彫刻	20	20	彫刻基礎 I	2	2		2			
			彫刻基礎 II	2					2	2
			彫刻制作論	2					2	2
デザイン (映像メディア表現を含む。)	20	20	デザイン基礎 I	2	2		2			
			デザイン制作論	2					2	2
			木素材実習	2					2	2
工芸	20	20	工芸基礎 I	2	2					
			工芸制作 I	2					2	
			工芸実習 I	2					2	
			工芸実習 II	2					2	
			工芸実習 III	2					2	
			工芸地域工芸	2					2	
			工芸家刻	2					2	
美術理論及び美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	20	20	美術学	2	2		2			
			日本・東洋美術史	2					2	2
			西洋美術史	2					2	2
			美術教育原論	2					2	2
			地域芸術研究	2					2	2
			美術教育課題研究 I	2					2	2
			美術教育課題研究 II	2					2	2
			造形芸術学課題研究 I	2					2	2
			造形芸術学課題研究 II	2					2	2
			芸術学特論	2					2	2
			美術史特論	2					2	2
			比較芸術学特論	2					2	2
			造形教育研究論	2					2	2
			地域芸術研究論	2					2	2
			くらしと表現・鑑賞	2					2	2
			伝統芸術表現	2					2	2
			東洋書画の歴史と表現論	2					2	2
芸術総合学	2	2	2							
合計	20	20			12	18	10	20		
					30		30			

(8) 中学校及び高等学校 (保健体育)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目 (単位数)		単位数				備考			
				中学校 一 種		高等学校					
科 目	単位数		必修	選択	必修	選択					
	中学	高校									
体 育 実 技	20	20	体操	1	1		1				
			陸上競技	1							
			水泳	1					1		1
			サッカー	1							
			剣道	1	1		1				
			体操授業実践実習	1					1	1	
			陸上競技授業実践実習	1	1	1	1				
			水泳授業実践実習	1	1	1	1				
			野外活動・スキー授業実践実習	1	1	1	1				
			サッカー授業実践実習	1	1	1	1				
			バスケットボール授業実践実習	1	1	1	1				
			バレーボール授業実践実習	1	1	1	1				
			ベースボールスポーツ授業実践実習	1	1	1	1				
			卓球授業実践実習	1	1	1	1				
			剣道授業実践実習	1	1	1	1				
			器械運動	1	1	1	1				
			バレーボール	1	1	1	1				
			柔道	1	1	1	1				
			ダンス	1	1	1	1				
			野外活動	1	1	1	1				
バスケットボール	1	1	1	1							
ベースボールスポーツ	1	1	1	1							
卓球	1	1	1	1							
「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）			体育原理	2	2		2				
			体育心理学	2	2		2				
			体育経営学	2	2		2				
			運動方法学	2	2		2				
			体育史	2		2	2				
			体育社会学	2		2	2				
			体育行政学	2		2	2				
			体育測定評価論	2		2	2				
			体育測定評価論演習Ⅰ	1		1	1				
			体育測定評価論演習Ⅱ	1		1	1				
			運動学演習Ⅰ	1		1	1				
			運動学演習Ⅱ	1		1	1				
			体育情報処理論	2		2	2				
			体育原理体育史演習Ⅰ	1		1	1				
			体育原理体育史演習Ⅱ	1		1	1				
			体育心理学演習Ⅰ	1		1	1				
			体育心理学演習Ⅱ	1		1	1				
			保健体育科教育学演習Ⅰ	1		1	1				
			保健体育科教育学演習Ⅱ	1		1	1				
			体育方法学演習ⅠA	1		1	1				
			体育方法学演習ⅡA	1		1	1				
			体育方法学演習ⅠB	1		1	1				
			体育方法学演習ⅡB	1		1	1				
体育方法学演習ⅠC	1		1	1							
体育方法学演習ⅡC	1		1	1							
生理学（運動生理学を含む。）			生理学・運動生理学	2	2		2				
			生理学・運動学演習Ⅰ	1		1	1				
			生理学・運動学演習Ⅱ	1		1	1				
衛生学及び公衆衛生学			衛生学・公衆衛生学	2	2		2				
			衛生学・公衆衛生学演習Ⅰ			1	1				
			衛生学・公衆衛生学演習Ⅱ			1	1				
学校保健（小児保			学 校 保 健	2	2		2				

健，精神保健，学 校安全及び救急処 置を含む。)								
合 計	20	20		17	13	17	13	
				30		30		

(注) 選択には，選択必修の授業科目を含めることができる。

(9) 中学校（技術）

免許法施行規則に定める 科 目 区 分 等		授 業 科 目 (単位数)	単 位 数		備 考											
科 目	単位数		一 種													
			必修	選択												
木材加工（製図及 び実習を含む。）	20	木 材 加 工 I 2	2	2												
金属加工（製図及 び実習を含む。）		木 材 加 工 及 び 実 習 2				1	2									
	金 属 加 工 実 習 I 1	2	2													
	金 属 加 工 I 2				2				2							
	金 属 加 工 II 2										2	2				
	金 属 加 工 III 2													2	2	
	金 属 加 工 IV 2															
	金 属 加 工 実 習 II 1															
機 械（実習を含 む。）		機 械 実 習 I 1	1	2												
	機 械 実 習 I 2	2				2										
	機 械 実 習 II 2							2	2							
	機 械 実 習 III 2										2	2				
	機 械 実 習 IV 2													1	1	
	機 械 実 習 II 1															
電 気（実習を含 む。）		電 気 実 習 I 1	1	2												
	電 気 実 習 I 2	2				2										
	電 気 実 習 II 2							2	2							
	電 気 実 習 III 2										2	2				
	電 気 実 習 IV 2													1	1	
	電 気 実 習 II 1															
栽 培（実習を含 む。）		栽 培 実 習 I 1	1	2												
	栽 培 実 習 I 2	2				2										
	栽 培 実 習 II 2							2	2							
	栽 培 実 習 III 2										2	2				
	栽 培 実 習 IV 2													1	1	
	栽 培 実 習 II 1															
情 報 と コ ン プ ュ ー タ（実習を含む。）		情 報 基 礎 及 び 実 習 2	2	2												
	情 報 基 礎 基 礎 I 2	2				2										
	情 報 基 礎 基 礎 II 2															
合 計	20		19	11												
				30												

(注) 選択には，選択必修の授業科目を含めることができる。

(10) 中学校及び高等学校 (家庭)

免許法施行規則に定める 科目区分等		授業科目		単位数				備考
				中学校		高等学校		
科目	単位数		一 種					
	中学	高校	必修	選択	必修	選択		
家庭経営学 (家族 関係学及び家庭経 済学を含む。)	20	20	家庭経営学Ⅰ	2	2	2		
			家庭経営学Ⅱ	2			2	
			生活科学教育研究	2			2	
			生活科学教育演習	2			2	
			生活科学教育課題の分析	2			2	
			家庭経営学演習	2			2	
被服学 (被服製作 実習を含む。)	20	20	被服学Ⅰ	2	2	2		
			被服学Ⅱ	2	2	2		
			被服学実験実習Ⅰ	2	2	2		
			被服学Ⅲ	2			2	
			被服学Ⅳ	2			2	
			被服学実験実習Ⅱ	2	2	2		
			被服学実験実習Ⅲ	2	2	2		
			被服学演習	2	2	2		
			被服学課題の分析	2	2	2		
食物学 (栄養学, 食品学及び調理実 習を含む。)	20	20	食物学Ⅰ	2	2	2		
			食物学Ⅱ	2	2	2		
			食物学実験実習Ⅰ	2	2	2		
			食物学Ⅲ	2			2	
			食物学実験実習Ⅱ	2	2	2		
			調理実習Ⅰ	2	2	2		
			調理実習Ⅱ	2	2	2		
			食物学演習	2	2	2		
			食物学課題の分析	2	2	2		
住居学 (製図を含 む。)	20	20	住居学Ⅰ	2	2	2		
			住居学実験実習	2	2	2		
			住居学Ⅱ	2	2	2		
			住居学Ⅲ	2	2	2		
			住居学演習	2	2	2		
保育学 (実習及び 家庭看護を含む。)	20	20	保育学	2	2	2		
			家庭看護学	2	2	2		
家庭電気・機械及 び情報処理	×	×	家庭電気・機械	2		2		
			情報処理演習	2		2		
合 計	20	20		18	12	24	6	
				30		30		

(11) 中学校及び高等学校（英語）

免許法施行規則に定める 科目区分等				単位数				備考			
科目	単位数		授業科目 (単位数)	中学校 一 種		高等学校					
	中学	高校		必修	選択	必修	選択				
英 語 学	20	20	英語教育と英文法Ⅰ	2	2		2				
			英語教育と言語学Ⅰ	2	2		2				
			英語教育と英文法Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と英文法研究法Ⅰ	2		2		2			
			英語教育と英文法研究法Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と言語学Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と言語学研究法Ⅰ	2		2		2			
			英語教育と言語学研究法Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と音声学Ⅰ	2		2		2			
			英語教育と音声学Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と音声学研究法Ⅰ	2		2		2			
			英語教育と音声学研究法Ⅱ	2		2		2			
			英語教育とコミュニケーション	2		2		2			
			英語教育とコミュニケーション研究法	2		2		2			
英 米 文 学			英語教育と英文学Ⅰ	2	2		2				
			英語教育と米文学Ⅰ	2	2		2				
			英語教育と英文学Ⅱ	2		2		2			
			英文学教材研究Ⅰ	2		2		2			
			英文学教材研究Ⅱ	2		2		2			
			英語教育と米文学Ⅱ	2		2		2			
			米文学教材研究Ⅰ	2		2		2			
			米文学教材研究Ⅱ	2		2		2			
英語コミュニケーション			英語教育リスニング演習Ⅰ	1	1		1				
			英語教育スピーキング演習Ⅰ	1	1		1				
			英語教育ライティング演習Ⅰ	1	1		1				
			英語教育リスニング演習Ⅱ	1		1		1			
			英語教育リスニング演習Ⅲ	1		1		1			
			英語教育リスニング演習Ⅳ	1		1		1			
			英語教育スピーキング演習Ⅱ	1		1		1			
			英語教育スピーキング演習Ⅲ	1		1		1			
			英語教育スピーキング演習Ⅳ	1		1		1			
			英語教育リーディング演習Ⅰ	1		1		1			
			英語教育リーディング演習Ⅱ	1		1		1			
			英語教育リーディング演習Ⅲ	1		1		1			
			英語教育リーディング演習Ⅳ	1		1		1			
			英語教育ライティング演習Ⅱ	1		1		1			
			英語教育ライティング演習Ⅲ	1		1		1			
			英語教育ライティング演習Ⅳ	1		1		1			
			英語総合演習Ⅰ	2		2		2			
			英語総合演習Ⅱ	2		2		2			
			異文化理解			英語教育と異文化理解	2	2		2	
						英語教育と異文化理解研究法	2			2	
合 計	20	20		13	17	13	17				
				30		30					

Ⅱ 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の「教職に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目・単位		単位数			備考	
科目	各科目に含める必要事項	単位数		授業科目	単位数	中学校			
		中学	高校			一種	二種		
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	各教科に共通	2		教職入門	2	2	2	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		6		教育学概論	2	2	2	
					教育心理学 発達心理学	2	2	2	
				教育の制度と経営	2	2	2		
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法（受けようとする免許教科について修得すること。）	各教科に共通	12	6	教育課程論	2	2	2	
			国語		国語科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			社会		社会科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	
			数学		数学科教育法Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			理科		理科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			音楽		音楽科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			美術		美術科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			保健体育		保健体育科教育法Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			技術		技術教育研究Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	
			家庭		家庭科教育法（中等）Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			英語		英語科教育法Ⅰ～Ⅳ	各2	計8	2	計4
			地理歴史		地理歴史科教育法Ⅰ、Ⅱ	各2			計4
		公民		公民科教育法Ⅰ、Ⅱ	各2			計4	
	・道徳の指導法	各教科に共通			道徳指導法	2	2	2	
	・特別活動の指導法				特別活動研究	2	2	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				教育方法・技術A	2	2	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	各教科に共通	4		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	2	2	
					生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	2	2	
教育実習		各教科に共通	5	3	中等教育実習Ⅰ	4	4	4	
					中等教育実習Ⅱ（特別支援教育専修学生）	3	3	3	
					中等教育実習Ⅲ	2	2	2	
教職実践演習		2		教職実践演習（中等）	2	2	2		
合計			31	23		36	30	30	

中学校二種免許の各教科の指導法は、次の2単位を履修すること。
 国語科教育法（中等）Ⅰ
 社会科教育法（中等）Ⅰ
 数学科教育法Ⅰ
 理科教育法（中等）Ⅰ
 音楽科教育法（中等）Ⅰ
 美術科教育法（中等）Ⅰ
 保健体育科教育法Ⅰ
 技術教育研究Ⅰ
 家庭科教育法（中等）Ⅱ
 英語科教育法Ⅰ
 各教科の指導法のうち、次の科目は高校の免許のみ取得する場合には、履修しないこと。
 理科教育法（中等）Ⅳ
 保健体育科教育法Ⅱ
 保健体育科教育法Ⅲ
 家庭科教育法（中等）Ⅰ
 家庭科教育法（中等）Ⅳ

高等学校教諭の免許状のみを取得希望する者の教育実習は、中等教育実習Ⅰとする。
 ただし、免許状取得のために必要な最低単位数(59単位)を満たすこと。

5 教育学部の事務組織

5 教育学部の事務組織

教育学部の事務は、人文社会・教育科学系事務部が担当しており、特にその中で学生の皆さんと密接な関係をもつ学業及び学生生活に関する主な事務は、次のとおり分担されています。

教育学部学務企画係

- 1 学生募集及び入学試験に関すること。
- 2 教育実習，養護実習及び介護等体験等に関すること。
- 3 学生の課外活動，生活指導及び福利厚生に関すること。
- 4 各自治体教育委員会等との連携及び調整に関すること。
- 5 教育研究災害傷害保険に関すること。
- 6 教員採用及びその他学生の就職，進学等の進路に関すること。

教育学部教務係

- 1 教育課程の編成及び授業の実施に関すること。
- 2 学生の入学，卒業，修了その他学生の在籍（休学等）に関すること。
- 3 学生の履修計画立案に対する指導・助言に関すること。
- 4 学位に関すること。
- 5 外国人留学生に関すること。
- 6 教育職員免許に関すること。
- 7 教室等の使用及び管理に関すること。
- 8 各種証明書に関すること。

6 修学上の諸事項

6 修学上の諸事項

(1) 学生への通知・連絡

学生への通知・連絡は、原則として掲示と学務情報システムにより行います。教育学部の学生への通知・連絡用掲示板は、教育学部の講義棟 1 階廊下に設置してあります。教養教育に関する授業科目の履修等に係る通知・連絡は、総合教育研究棟（教養校舎）の掲示板に掲示されます。

学生の皆さんは、常にこれらの掲示板及び学務情報システムに注意し、見落としや誤読のないよう心掛けてください。登、下校時には必ず掲示板を見るよう習慣づけてください。

なお、急を要するときは、担当係から直接皆さんの携帯電話や宿所に連絡することがありますので、連絡先届は正確なものを提出しておいてください。連絡先届の内容に変更を生じた場合は、速やかに教務係に届け出てください。

(2) 学生証

学生証は、学生の身分を証明する唯一のもので、常に携帯してください。

各種証明書の申請、奨学生の確認、施設・用具の借用、学生旅客運賃割引証による乗車券の購入、図書館の利用など、すべて学生証が必要となります。学生証は、入学から卒業までの間使用しますので、大切に取り扱いってください。

この学生証は、入学時に交付され、学生の身分(退学等)がなくなった場合は速やかに教務係に返してください。

学生証を汚損・紛失等をした場合は、速やかに「学生証再交付願(写真添付)」を教務係に提出し、再交付の手続きを行ってください。

(3) 各種証明書の交付

1) 在学証明書・学業成績証明書・卒業見込証明書等

① 在学証明書・学業成績証明書・卒業見込証明書・教員免許取得見込証明書

各人の学生証を用いて、教務係に設置してある「証明書自動発行システム」のパソコンを操作して発行してください。

② 上記以外の証明書等

上記以外の証明書等を必要とする場合は、「証明書申請・交付簿」に必要事項を記入のうえ、交付を希望する 3 日前までに、教務係へ申し込んでください。なお、窓口が混雑している時期においては、希望日時に交付を受けられないことがあるので、十分余裕をもって申請してください。

2) 学生旅客運賃割引証(学割証)

学割証は、旅客鉄道株式会社(JR)を利用して、片道の営業キロが 100km を超える区間を旅行する場合に使用を認められ、その際に普通旅客運賃が 2 割引になります。

学割証は、各人の学生証を用いて、教務係に設置してある「証明書自動発行システム」のパソコンを操作して発行してください。

なお、学割証は、次の点に留意のうえ計画的に使用するようになしてください。

また、新潟駅南キャンパスときめいにも「証明書自動発行システム」が設置してありますので利用下さい。

- ① 学割証1枚で往復の乗車券を購入するよう心掛けてください。(下記の〔乗車券の有効日数〕を参照して購入してください。)
- ② 学割証の有効期限は発行日より3か月以内です。

〔乗車券の有効日数〕

営業キロ	200km まで	400km まで	600km まで	800km まで	1,000km まで	1,200km まで
有効日数	2日	3日	4日	5日	6日	7日

注1：1,200kmを超える場合は200kmごとに1日を加えます。

注2：往復乗車券(往復割引乗車券も含む)の有効日数は片道乗車券の2倍です。連続乗車券は、各区間の営業キロに応じた有効日数を合算したものととなります。

なお、学割証は、本人以外には使用できません。不正に使用した場合は、本人は勿論のこと学部全体、新潟大学全体が発行停止の処分を受け、他の学生に迷惑をかけることとなりますので、そのようなことが無いよう十分注意してください。

3) 通学証明書

JRの通学証明を受けたい場合は、教務係から「通学についての証明」シールを受領し、学生証の裏側に貼って使用してください。

(4) 休学・退学等の願い出

1) 休学願，退学願

休学又は退学をしようとする場合は、指導教員の承認を得た上で、所定の様式により教務係を経て学部長に願い出て、その承認を得なければなりません。

なお、病気のため休学又は退学を願い出る場合は、医師の診断書の添付も必要となります。

休学又は退学を申請しようとする場合は、事前に指導教員等に相談するとともに教務係に申し出てください。

2) 復学届

休学期間が満了した場合又は休学期間中にその事由が消滅した場合は、教務係を経て学部長に届け出なければなりません。

3) 長期欠席届

病気その他の理由により継続して2週間以上欠席する場合は、必ず「長期欠席届(病気の場合は、医師の診断書を添付)」を教務係を経て学部長に届け出てください。

(5) 届け出等の諸手続き

1) 連絡先届

連絡先届は、学生の居住(現住所)及び父兄の住所等を届け出てもらうものです。毎学年始め及び宿所を変更した場合はその都度、届け出てください。皆さんへの連絡が急を要する場合は、直接、携帯電話や宿所に電話連絡しますので必ず教務係へ届け出てください。

2) 身上異動(改氏名・保証人変更・保証人住所変更等)

改氏名・保証人変更・保証人住所変更など身上に異動が生じた場合は、速やかに教務係へ届け出てください。

3) 海外旅行

海外旅行を行うときは、実施予定の2週間前までに指導教員の承諾を得て、学部長に次の要件をすべて備えた計画書を提出してください。

ただし、本学の名を冠する団体として旅行する場合は、上記の計画書を旅行予定の2週間前までに提出し許可を受けなければなりません。

- ① 計画が周到綿密で、安全性の高いものであること。
- ② 所要経費が合理的に算定され、またその出所が妥当かつ明確であり、確実に入手できる見込みのあるものであること。
- ③ 父母(保証人)の同意があること。
- ④ 健康が旅行に耐えられること。
- ⑤ 学業との関連に無理がないこと。
- ⑥ 海外旅行保険に加入すること。

(6) 課外活動等の手続き

1) 教室使用願

授業及び管理上支障のない場合は、教育研究活動等のため講義室を使用することができます。講義室を使用したい場合は、使用する3日前までに「教室使用願」を教務係へ提出し、許可を受けてください。

なお、土曜日、日曜日、祝祭日など休日は使用できません。

また、使用後は整理整頓し、移動した物品等は原状に戻してください。

2) 文書等・印刷物の掲示、配布、発行

学生が学内で文書や印刷物等を掲示、配布、発行しようとするときは、掲示等の内容を添えて、あらかじめ、学務企画係を経て、学部長に届け出てください。

また、掲示物は所定の学生掲示板以外の場所に掲示しないでください。

3) 団体結成届及び集会(催物)届

学生が学内で団体を結成するとき及び集会(催物)をしようとするときは、学務企画係を経て学部長に願い出てください。

団体結成届は、結成時及び継続する場合は毎年度始めに、集会(催物)届は、その実施日の2

日前までに提出してください。

また、学内の諸施設を利用し集会(催物)をするときは、「施設使用願」も併せて提出しなければなりません。

(7) 大学構内への車両乗り入れ規制

交通安全と良好な教育研究環境を維持するため、大学構内への車両の乗り入れ規制を行っています。

構内への車両の乗り入れについては、新潟大学(五十嵐地区)構内交通対策専門委員会の決定により、「入構票」を交付された者以外は、入構できません。

自動二輪車(原付を含む。)での入構・駐輪については、届出制となっており、届け出た者に対して「入構票(ワッペン)」を発行します。

なお、この大学構内への車両の乗り入れ規制については、学年の始めに掲示で通知します。

(8) 盗難防止

盗難は、被害にあわないことは無論のことですが、自分が注意していても、盗難が発生するとまわりの人にも迷惑を掛けることがありますので、「盗難にあわない・あわせない」よう各自持物の保管には十分注意を払い、貴重品は必ず身に付けておくよう心掛けてください。

(9) 悩みや困りごと相談

新潟大学では、各種こまりごとの相談窓口を設置しています。困りごとがあったら、ひとりで悩まず、相談してください。

- ・学生支援相談ルーム 0 2 5 - 2 6 2 - 5 4 7 7
- ・学生なんでも相談窓口 0 2 5 - 2 6 2 - 7 5 2 4 gakumado@adm.niigata-u.ac.jp
- ・特別修学サポートルーム 0 2 5 - 2 6 2 - 6 3 0 0

新潟大学教育学部講義室使用取扱要領

平成 28 年 8 月 1 日

(趣旨)

第 1 この要領は、学生が教育研究活動等のために教育学部講義室（大講義室及びB棟講義室をいう。以下同じ。）を使用する場合の取扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(使用者の範囲)

第 2 講義室を使用できる者は、教育学部、大学院教育学研究科及び養護教諭特別別科の学生（これらの者で構成される教育学部に届出済みの団体を含み、学友会及び同好会サークルを除く。）とする。

(使用可能日及び時間)

第 3 講義室を使用できる日及び時間は、原則として土曜、日曜及び祝日を除いた日の 8 時 30 分から 20 時 30 分までのうち、講義その他の使用予定がないときとする。

(使用の手続)

第 4 講義室の使用を希望する者は、使用予定日の 3 日前までに所定の講義室使用願を、教育学部教務係に提出し、許可を受けるものとする。

(使用許可の取消し等)

第 5 次の各号のいずれかに該当するときは、使用の取消し又は変更をすることがある。

- (1) 使用者が、この要領に違反し、又は指示に従わないとき。
- (2) 新潟大学又は教育学部の行事等で使用する時。
- (3) 安全上又は管理運営上支障があるとき。

(使用者の遵守事項)

第 6 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設・物品等の破損、盗難等に注意し、使用者の故意又は重大な過失により生じた損害に対しては、賠償の責を負うこと。
- (2) 使用時間を厳守し、使用後は、清掃、窓の施錠、消灯等を確実に

行い、物品等は原状に復帰すること。

- (3) 使用終了時刻が 18 時以降となる場合及び夏期休業等の長期休業中の使用の場合は、17 時までに教育学部教務係から講義室の鍵の貸与を受けること。また、使用後は、所定の場所に鍵を返却すること。
- (4) 転貸は、絶対にしないこと。
- (5) 講義室の使用を取り止める場合は、速やかに教育学部教務係へ連絡すること。
- (6) 講義室の使用を許可された後、使用の取消し又は変更をされた場合は、異議の申し立てはできないこと。

学務課長	学務課副課長	教務係長	起案者

平成 年 月 日

講義室使用願

新潟大学教育学部長 殿

使用集団名 (教育学研究科、教育学部、養護教諭特別科所属学生のみで構成されるものに限る)

使用責任者 _____ 学部 _____ 学科課程 _____ 年

氏 名 _____ 印 _____

連絡先TEL _____

指導教員等 の確認印	
---------------	--

下記のとおり使用したいので、許可して下さるようお願いいたします。
なお、使用等に際しては、次の事項を厳守します。

- ① 施設、物品等の破損、盗難等に注意し、使用者の故意または重大な過失により生じた損害に対しては、賠償の責を負うこと。
- ② 使用時間を厳守し、使用後は、清掃、窓の施錠、消灯等を確実にを行い、物品等は原状に復帰すること。
- ③ 使用終了時刻が18時以降となる場合及び夏期休業等の長期休業中の使用の場合は、17時までに教育学部教務係から講義室の鍵の貸与を受けること。また、使用後は、所定の場所に鍵を返却すること。
- ④ 転貸は、絶対にしないこと。
- ⑤ 講義室の使用を取りやめる場合は、速やかに教育学部教務係へ連絡すること。
- ⑥ 講義室の使用を許可された後、使用の取消し又は変更をされた場合は、異議の申し立ては出来ないこと。

使用講義室名	講義室	使用人員	名
使用目的	(具体的に)		
使用日時	平成 年 月 日 ()	:	~ :
	平成 年 月 日 ()	:	~ :
	平成 年 月 日 ()	:	~ :
備考			

7 新潟大学養護教諭特別別科

7 新潟大学養護教諭特別別科

(1) 履修の手続き

各自の履修計画に基づき、所定の期間内に「学務情報システム（インターネットの web 画面）」により履修申請を行い、授業担当教員の承認を得なければならない。

(2) 指導教員

特別別科には、指導教員がおかれている。指導教員は、特別別科学生の学習指導を行うとともに、広く学生生活に関しても指導助言に当たる目的で設けられている。故に特別別科学生は、常に指導教員と親密な関係を保ち、学問に関することはもちろん、家庭的、経済的等の個人的な問題でも遠慮なく相談し、学生生活を十分意義あるものとするのが望ましい。

(3) 修了のための基準

修了のため必要な最低修得単位数は、次のとおりである。

1) 教養科目

- a) 必修として定められている単位 6 単位。
- b) 体育(講義・実技)科目
必修として定められている 2 単位。

2) 専門科目

- a) 養護に関する科目
必修として定められている単位を含め、22 単位以上。
- b) 教職に関する科目
必修として定められている単位を含め、14 単位以上。

合計 44 単位以上

(4) 修了後の資格

看護師（婦）免許を取得している者で、所定の課程を修了した者は、養護教諭一種免許状を取得することができる。

8 教育学部諸規程

8 教育学部諸規程

(1) 新潟大学教育学部規程

(趣旨)

第1条 新潟大学教育学部（以下「本学部」という。）の教育課程の編成，学生の履修方法，卒業の要件等に関し必要な事項については，新潟大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）の規定に基づき，この規程の定めるところによる。

(教育研究の目的)

第1条の2 本学部は，学校教育に関する研究を基盤として，その専門的な理論及び技術・技能を身につけ，広く生涯学習社会における諸課題に即応できる実践的能力を備えた教育的指導者の養成を目的とする。

(課程等)

第2条 本学部に，次の表に掲げる課程，コース及び専修を置く。

課程名	コース名	専修名
学校教員養成課程	学校教育コース	学校教育学専修 教育心理学専修 特別支援教育専修
	教科教育コース	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 技術科教育専修 家庭科教育専修 英語教育専修

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程は，教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成する。

2 本学部の授業科目の区分は，別表第1による。

(履修方法)

第4条 学生は，授業科目について，別表第1及び別表第2の定めるところにより，所定の単位を修得しなければならない。ただし，外国人留学生及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間，中等教育を受けた学生の履修方法については，別に定める。

2 前項の別表第2に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分等に基づく授業科目は，新潟大学における授業科目の区分等に関する規則（平成16年規則第38号）の定めるところによる。

3 本学部において履修すべき専門教育に関する授業科目及びその単位数は，別表第3から別表第

8までに定めるところによる。

4 教育実習の履修については、別に定める。

(履修手続)

第5条 学生は、履修しようとする授業科目を選択し、各学期ごとに定める所定の期日までに、履修手続きを行い、授業担当の承認を得なければならない。

(試験)

第6条 試験は、学期末に行うものとする。ただし、不定期に開設する授業科目その他特別の事情により学期末に試験を行うことができない授業科目については、この限りでない。

2 試験における不正行為により懲戒処分を受けた学生に対しては、不正行為を行った科目は不合格(0点)とし、それ以外の当該学期の履修登録科目は、すべて履修取消とする。

3 病気その他やむを得ない理由により第1項の試験を受けることができない学生については、追試験を行うことができる。

4 第1項及び前項の規定により実施した試験の結果、不合格となった授業科目については、原則として再試験は行わない。ただし、卒業年次の学生で、教養教育に関する授業科目又は専門教育に関する授業科目のうち、1科目(外国人留学生等の場合は、2科目)について不合格のため、第9条の卒業要件を満たさない学生については、本人の願い出により、再試験を行うことができる。

(卒業研究)

第7条 卒業研究を履修しようとする学生は、本学部で3年以上在学し、95単位以上を修得していなければならない。

2 卒業研究の内容、審査方法等については、別に定める。

(教員の免許状)

第8条 本学部において、取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科等は、別表第9のとおりとする。

2 教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)第66条の6に規定する「情報機器の操作」に関する科目については、別表第14に定める授業科目の中から修得するものとする。

(卒業)

第9条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第4条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学長が行う。

(編入学、再入学、転部及び転入学)

第10条 学則第62条第1項、及び第63条及び第64条の規定による編入学、再入学、又は転入学を志望する者がある場合は、編入学及び転入学にあつては第2年次又は第3年次の始めに、再入学にあつては学期の始めに限り、別に定めるところにより選考の上、教授会の議を経て、学長が編入学、再入学又は転入学を許可することがある。

2 学則第64条の規定による転部を志望する者がある場合は、第2年次又は第3年次の始めに限り、別に定めるところにより選考の上、転部を許可することがある。

3 前項の規定により許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

(転コース等)

第11条 本学部の学生で転コース又は転専修を志望する者がある場合は、別に定めるところにより、第3年次の始めに、選考の上、転コース又は転専修を許可することがある。

2 前項の規定により許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算についての認

定は、教授会が行う。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月20日教育規程第1号)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件並びに転課程等の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則 (平成22年3月8日教育規程第7号)

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお従前の例による。

附 則 (平成23年3月6日教育規程第1号)

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお従前の例による。

附 則 (平成24年3月16日教育規程第2号)

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 学校教員養成課程の学校教育コースの幼児教育専修は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成24年3月31日に当該専修に在学する者が当該専修に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 平成23年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお従前の例による。

附 則 (平成25年3月21日教育規程第2号)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお従前の例による。

附 則 (平成26年3月17日教育規程第1号)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお従前の例による。

附 則 (平成27年3月6日教育規程第1号)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前に入学した学生の履修方法については、なお従前の例による。

附 則 (平成28年3月20日教育規程第2号)

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前に入学した学生の履修方法については、なお従前の例による。

別表第1（第3条，第4条関係）

履修基準表

課程等 科目		学校教員養成課程				
		学校教育コース		教科教育コース		
		学校教育学専修 教育心理学専修	特別支援教育専修		小学校主免	中学校主免
			小教基礎免	中教基礎免		
教養教育に関する授業科目		33	33	33	33	33
専門教育に関する授業科目	課程共通科目	4	4	4	4	4
	教職専門科目	48	41	31	48	38
	教科専門科目	16	10	20	16	—
	専修専門科目	10	4	4	14	30
	特別支援教育専門科目	—	25	25	—	—
	卒業研究	6	6	6	6	6
自由科目		7	1	1	3	13
合計		124	124	124	124	124

備考

- 1 自由科目は，教養教育に関する授業科目，専門教育に関する授業科目並びに新潟大学における授業科目の区分等に関する規則に定める留学生基本科目区分及び医歯学科目区分のうちから履修するものとする。
- 2 学校教育コース特別支援教育専修の「小教基礎免」は小学校教諭免許状取得の資格を基礎として同専修を履修するコースをいい，「中教基礎免」は中学校教諭免許状取得の資格を基礎として同専修を履修するコースをいう。
- 3 教科教育コースの「小学校主免」は所属する専修において小学校教諭一種免許状取得を主として履修するコースをいい，「中学校主免」は所属する専修において中学校教諭一種免許状取得を主として履修するコースをいう。

別表第2（第4条関係）

教養教育に関する授業科目履修基準表

科目区分	細区分	単位数	
		必修	選択必修
健康・スポーツ	体育実技	1	
	体育講義	2	
情報リテラシー		2	
大学学習法		2	
英語		4	
初修外国語		2	8
新潟大学個性化科目	自由主題	2	
	地域入門 地域研究		
自然系共通専門基礎		4	
自然科学			
人文社会・教育科学		6（日本国憲法2 単位を含む。）	
合 計		33	

人文社会・教育科学科目区分は、別表第3から別表第8に定める授業科目を除く。

別表第3（第4条関係）

課程共通科目

区分	科目	単位	備考
選 択 科 目	環境教育概論	2	
	教育実践体験研究Ⅰ	2	
	教育実践体験研究Ⅱ	2	
	教育実践体験研究Ⅲ	2	
	教育実践体験研究Ⅳ	2	
	教育実践研究Ⅰ	2	
	教育実践研究Ⅱ	2	
	教育実践研究演習Ⅰ	2	
	教育実践研究演習Ⅱ	2	
	教育臨床研究演習	2	
	学校カウンセリング	2	
	新聞活用教育(NIE)演習	2	
	初等外国語活動指導法	2	
	小学校英語	2	
	軽度発達障害心理・教育論	2	
	数学・数学教育学研究入門	2	
	計	4	

別表第4（第4条関係）

教職専門科目

区分	科目	単位	備考		
課 程 共 通 必 修 科 目	教職入門	2			
	教育学概論	2			
	教育心理学	2			
	発達心理学	2			
	教育の制度と経営	2			
	教育方法・技術A	2			
	道徳指導法	2			
	特別活動研究	2			
	教育課程論	2			
		計	18		
学 校 教 育 コ ー ス	学校教育学専修・教育心理学専修	必修科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
			国語科教育法（初等）	2	
			社会科教育法（初等）	2	
			算数科教育法	2	
			理科教育法（初等）	2	
			生活科教育法	2	
			音楽科教育法（初等）	2	
			美術科教育法（初等）	2	
			体育科教育法	2	
			家庭科教育法（初等）	2	
			初等教育実習Ⅰ	6	
教職実践演習（初等）	2				
	計	30			

学 校 教 育	特別 支 援 教 育 専 修 （小 教 基 礎 免）	必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	うち2教科4単位必修
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		初等教育実習Ⅱ	5		
		教職実践演習（初等）	2		
		計	11		
	選 択 必 修 科 目	国語科教育法（初等）	2		
		社会科教育法（初等）	2		
		算数科教育法	2		
		理科教育法（初等）	2		
		生活科教育法	2		
音楽科教育法（初等）	2				
美術科教育法（初等）	2				
体育科教育法	2				
家庭科教育法（初等）	2				
計	12				
合 計	23				
育 コ ー ス	特別 支 援 教 育 専 修 （中 教 基 礎 免）	必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		中等教育実習Ⅱ	3		
		中等教育実習Ⅲ	2		
		教職実践演習（中等）	2		
	計	11			
	選 択 科 目	国語科教育法（中等）Ⅰ	2		
		社会科教育法（中等）Ⅰ	2		
		数学科教育法Ⅲ	2		
		理科教育法（中等）Ⅰ	2		
音楽科教育法（中等）Ⅰ		2			
美術科教育法（中等）Ⅰ	2				
保健体育科教育法Ⅰ	2				
技術教育研究Ⅰ	2				
家庭科教育法（中等）Ⅱ	2				
英語科教育法Ⅰ	2				
計	2				
合 計	13				
教 科 教 育 コ ー ス	小 学 校 主 免	必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	
			生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
			国語科教育法（初等）	2	
			社会科教育法（初等）	2	
			算数科教育法	2	
			理科教育法（初等）	2	
			生活科教育法	2	
			音楽科教育法（初等）	2	
			美術科教育法（初等）	2	
			体育科教育法	2	
家庭科教育法（初等）	2				
初等教育実習Ⅰ	6				
教職実践演習（初等）	2				
計	30				

教 科 教 育 コ ー ス	中 学 校 主 修 目 録	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	ただし、所属する専修の教科 教育法等Ⅰ～Ⅳをそれぞれ2 単位計8単位必修
		生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	
		中等教育実習Ⅰ	4	
		中等教育実習Ⅲ	2	
		教職実践演習（中等）	2	
		国語科教育法（中等）Ⅰ	2	
		国語科教育法（中等）Ⅱ	2	
		国語科教育法（中等）Ⅲ	2	
		国語科教育法（中等）Ⅳ	2	
		社会科教育法（中等）Ⅰ	2	
		社会科教育法（中等）Ⅱ	2	
		社会科教育法（中等）Ⅲ	2	
		社会科教育法（中等）Ⅳ	2	
		数学科教育法Ⅰ	2	
		数学科教育法Ⅱ	2	
		数学科教育法Ⅲ	2	
		数学科教育法Ⅳ	2	
		理科教育法（中等）Ⅰ	2	
		理科教育法（中等）Ⅱ	2	
		理科教育法（中等）Ⅲ	2	
		理科教育法（中等）Ⅳ	2	
		音楽科教育法（中等）Ⅰ	2	
		音楽科教育法（中等）Ⅱ	2	
		音楽科教育法（中等）Ⅲ	2	
		音楽科教育法（中等）Ⅳ	2	
		美術科教育法（中等）Ⅰ	2	
		美術科教育法（中等）Ⅱ	2	
		美術科教育法（中等）Ⅲ	2	
		美術科教育法（中等）Ⅳ	2	
		保健体育科教育法Ⅰ	2	
		保健体育科教育法Ⅱ	2	
		保健体育科教育法Ⅲ	2	
		保健体育科教育法Ⅳ	2	
		技術教育研究Ⅰ	2	
		技術教育研究Ⅱ	2	
		技術教育研究Ⅲ	2	
		技術教育研究Ⅳ	2	
		家庭科教育法（中等）Ⅰ	2	
		家庭科教育法（中等）Ⅱ	2	
		家庭科教育法（中等）Ⅲ	2	
		家庭科教育法（中等）Ⅳ	2	
		英語科教育法Ⅰ	2	
		英語科教育法Ⅱ	2	
		英語科教育法Ⅲ	2	
		英語科教育法Ⅳ	2	
	計	20		

別表第5（第4条関係）

教科専門科目

区分		科目	単位	備考	
学 校 教 育 コ ー ス	学校教育学専修・教育心理学専修	必修科目	小学校国語（書写を含む）	2	
			小学校社会	2	
			小学校算数	2	
			小学校理科	2	
			小学校音楽	2	
			図画工作	2	
			小学校体育	2	
			小学校家庭	2	
			計	16	
	特別支援教育専修（小教基礎免）	選択必修科目	小学校国語（書写を含む）	2	
小学校社会			2		
小学校算数			2		
小学校理科			2		
生活			2		
小学校音楽			2		
図画工作			2		
小学校体育			2		
小学校家庭			2		
計	10				
ス	特別支援教育専修（中教基礎免）	国語	20	別表第6に定める「(3)教科教育コース（中学校主免）」の各専修の専門科目の中から1専修20単位を修得する。	
		社会	20		
		数学	20		
		理科	20		
		音楽	20		
		美術	20		
		保健体育	20		
		技術	20		
		家庭	20		
		英語	20		
計	20				
教科教育コース	小学校主免	必修科目	小学校国語（書写を含む）	2	
			小学校社会	2	
			小学校算数	2	
			小学校理科	2	
			小学校音楽	2	
			図画工作	2	
			小学校体育	2	
			小学校家庭	2	
			計	16	

別表第6（第4条関係）

学校教員養成課程専修専門科目

(1) 学校教育コース

① 学校教育学専修

区分	科目	単位	備考
選 択 科 目	授業論・学級指導論	2	
	教育内容・方法	2	
	教育哲学	2	
	教育史	2	
	教育社会学	2	
	教育政策と法	2	
	授業論・学級指導論演習A	2	
	授業論・学級指導論演習B	2	
	授業論・学級指導論演習C	2	
	授業論・学級指導論演習D	2	
	教育内容・方法演習A	2	
	教育内容・方法演習B	2	
	教育内容・方法演習C	2	
	教育内容・方法演習D	2	
	教育哲学演習A	2	
	教育哲学演習B	2	
	教育哲学演習C	2	
	教育哲学演習D	2	
	教育史演習A	2	
	教育史演習B	2	
	教育史演習C	2	
	教育史演習D	2	
	教育社会学演習A	2	
	教育社会学演習B	2	
	教育社会学演習C	2	
	教育社会学演習D	2	
	教育政策と法演習A	2	
	教育政策と法演習B	2	
教育政策と法演習C	2		
教育政策と法演習D	2		
	計	10	

② 教育心理学専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	教育心理学実験演習Ⅰ	2	
	教育心理学実験演習Ⅱ	2	
	教育統計学	2	
	計	6	
選択科目	教育心理学総合演習Ⅰ	2	
	教育心理学総合演習Ⅱ	2	
	教育心理学総合演習Ⅲ	2	
	教育心理学A	2	
	教育心理学B	2	
	教育臨床心理学	2	

選 択 科 目	発達心理学A	2	
	発達臨床心理学	2	
	教育心理データ解析論	2	
	教科心理学	2	
	認知心理学	2	
	教育評価	2	
	幼児心理学演習	2	
	幼児発達心理学	2	
	計	4	
合 計		10	

③ 特別支援教育専修

区分	科目	単位	備考
選 択 必 修 科 目	発達障害心理学	2	うち2単位必修
	障害児心理学演習	2	
	障害児病理学演習	2	
	障害児指導学演習Ⅱ	2	
	障害児指導学演習Ⅲ	2	
	障害児指導法演習	2	
	視覚障害教育論	2	
	聴覚障害教育論	2	
	聴覚障害言語指導	2	
	特別支援教育学演習	2	
	障害児指導学演習Ⅰ	2	
	障害児指導学演習Ⅳ	2	
		計	

(2) 教科教育コース（小学校主免）

① 国語教育専修

区分	科目	単位	備考
選 択 必 修 科 目	国語教育基礎演習Ⅰ	2	うち10単位必修
	国語教育基礎演習Ⅱ	2	
	文法及び文章表現Ⅰ	2又は4	
	文法及び文章表現Ⅱ	2又は4	
	音声言語Ⅰ	2又は4	
	音声言語Ⅱ	2又は4	
	国語学概論Ⅰ	2又は4	
	国語学概論Ⅱ	2又は4	
	国語学講義Ⅰ	2又は4	
	国語学講義Ⅱ	2又は4	
	国語学演習Ⅰ	2又は4	
	国語学演習Ⅱ	2又は4	
	国語学演習Ⅲ	2又は4	
	国語学演習Ⅳ	2又は4	
	国文学史Ⅰ	2又は4	
	国文学史Ⅱ	2又は4	
国文学概論Ⅰ	2又は4		

選 択 必 修 科 目	国文学概論Ⅱ	2又は4	うち4単位必修
	国文学講義Ⅰ	2又は4	
	国文学講義Ⅱ	2又は4	
	国文学演習Ⅰ	2又は4	
	国文学演習Ⅱ	2又は4	
	国文学演習Ⅲ	2又は4	
	国文学演習Ⅳ	2又は4	
	漢文学講義Ⅰ	2又は4	
	漢文学講義Ⅱ	2又は4	
	漢文学演習Ⅰ	2又は4	
	漢文学演習Ⅱ	2又は4	
	漢文学演習Ⅲ	2又は4	
	漢文学演習Ⅳ	2又は4	
	書道講義及び実習Ⅰ	2又は4	
	書道講義及び実習Ⅱ	2又は4	
	国語学課題研究Ⅰ	2又は4	
	国語学課題研究Ⅱ	2又は4	
	国語学課題研究Ⅲ	2又は4	
	国語学課題研究Ⅳ	2又は4	
	国文学課題研究Ⅰ	2又は4	
国文学課題研究Ⅱ	2又は4		
国文学課題研究Ⅲ	2又は4		
国文学課題研究Ⅳ	2又は4		
漢文学課題研究Ⅰ	2又は4		
漢文学課題研究Ⅱ	2又は4		
漢文学課題研究Ⅲ	2又は4		
漢文学課題研究Ⅳ	2又は4		
国語科教育学課題研究Ⅰ	2又は4		
国語科教育学課題研究Ⅱ	2又は4		
国語科教育学課題研究Ⅲ	2又は4		
国語科教育学課題研究Ⅳ	2又は4		
国語科教育学演習Ⅰ	2又は4		
国語科教育学演習Ⅱ	2又は4		
国語科教育学演習Ⅲ	2又は4		
国語科教育学演習Ⅳ	2又は4		
計	14		

② 社会科教育専修

区分	科目	単位	備考
選 択 必 修 科 目	社会科関係研究法	2又は4	うち8単位必修
	社会科関係実習	2又は4	
	社会科関係特講	2又は4	
	社会科関係演習	2又は4	
	日本史	2	うち6単位必修
	外国史	2	
	地理学	2	

選 択 必 修 科 目	地誌	2	
	法律学	2	
	政治学	2	
	社会学	2	
	経済学	2	
	哲学	2	
	倫理学	2	
	計	14	

③ 数学教育専修

区分	科目	単位	備考
選 択 必 修 科 目	代数学序説	2	うち2単位必修
	代数系の基礎 I	2	
	代数系の基礎 II	2	
	代数学講義 I	2	
	代数学講義 II	2	
	応用代数学 I	2	
	応用代数学 II	2	
	代数学特講	2	
	幾何学序説	2	うち2単位必修
	線形代数学 I	2	
	線形代数学 II	2	
	幾何学講義 I	2	
	幾何学講義 II	2	
	応用幾何学 I	2	
	応用幾何学 II	2	
	幾何学特講	2	
	微分積分学 I	2	うち2単位必修
	微分積分学 II	2	
	解析学講義 I	2	
	解析学講義 II	2	
	応用解析学 I	2	
	応用解析学 II	2	
	解析学特講	2	
	統計学 I	2	
	統計学 II	2	
	情報数学 I	2	うち2単位必修
	情報数学 II	2	
	計	14	

④ 理科教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	基礎物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
	基礎生物学実験	2	
	地学基礎実習	2	
	計	8	
選択科目 (A群)	物理学セミナー	2	
	化学演習A I	2	
	化学演習A II	2	
	化学演習B I	2	
	化学演習B II	2	
	生物学演習A	2	
	生物学演習B	2	
	地学演習A	2	
	地学演習B	2	
	地層学セミナー	2	
	火山・地球環境セミナー	2	
	自然科学基礎演習 I	2	
	自然科学基礎演習 II	2	
	計	2	
選択科目 (B群)	基礎物理学 I A	2	
	基礎物理学 I B	2	
	基礎物理学 II A	2	
	基礎物理学 II B	2	
	現代物理学 I A	2	
	現代物理学 I B	2	
	現代物理学 II A	2	
	現代物理学 II B	2	
	現代物理学 III	2	
	物理学実験	2	
	基礎化学 I A	2	
	基礎化学 I B	2	
	基礎化学 II A	2	
	基礎化学 II B	2	
	無機化学	2	
	機器分析化学	2	
	有機化学実験	2	
	物理化学実験	2	
	基礎生物学A	2	
	基礎生物学B	2	
	基礎生物学C	2	
	動物学	2	
	植物学	2	
	地域環境生物学	2	
	生物学特論A	2	
	生物学特論B	2	
	生活環境生物学実習	2	
	生物学実験 I	2	
	生物学実験 II	2	
	植物野外実習	2	

選択科目 (B群)	地域環境生物学実習	2	
	昆虫学実習	2	
	基礎地学Ⅰ	2	
	基礎地学Ⅱ	2	
	天文学・気象学A	2	
	天文学・気象学B	2	
	地学セミナー	2	
	地殻科学	2	
	地層学	2	
	地殻科学実習	2	
	地域地質実習	2	
	情報理科特論	2	
	情報理科特講	2	
	計	4	
	合計	14	

⑤ 音楽教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	音楽表現Ⅱ	2	
	音楽理論	2	
	合唱	2	
	合奏	2	
	計	8	
選択必修科目	音楽表現Ⅰ	2	
	音楽実践Ⅰ	2	
	音楽実践Ⅱ	2	
	音楽実践Ⅲ	2	
	音楽実践Ⅳ	2	
	音楽史	2	
	音楽教育実践入門Ⅰ	2	
	音楽教育実践入門Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅰ	2	
	音楽教育実践Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅲ	2	
	計	6	

⑥ 美術教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	絵画基礎Ⅰ	2	うち4単位必修
	彫刻基礎Ⅰ	2	
	工芸基礎	2	
	デザイン基礎	2	
	計	8	
選択必修科目	芸術学	2	
	日本・東洋美術史	2	
	西洋美術史	2	
	美術教育原論	2	

選 択 必 修 科 目	西洋絵画	2	うち2単位必修
	日本画	2	
	版画実習	2	
	空間表現	2	
	彫刻論	2	
	日本画技法演習	2	
	芸術学特論	2	
	美術史特論	2	
	比較芸術学特論	2	
	造形教育論	2	
	芸術鑑賞演習	2	
	彫刻制作	2	
	木材実習	2	
	工芸実習Ⅰ	2	
	工芸実習Ⅱ	2	
	工芸実習Ⅲ	2	
	地域と工芸	2	
	絵画基礎Ⅱ	2	
	くらしと表現・鑑賞	2	
	伝統芸術表現	2	
東洋書画の歴史と表現	2		
篆刻と工芸	2		
教育描法演習	2		
芸術総合学習論	2		
	計	6	
	合計	14	

⑦ 保健体育専修

区分	科目	単位	備考	
選 択 必 修 科 目	体育原理	2	うち10単位必修	
	体育心理学	2		
	体育経営学	2		
	運動方法学	2		
	生理学・運動生理学	2		
	衛生学・公衆衛生学	2		
	学校保健	2		
	体操	1		うち4単位必修
	陸上競技	1		
	水泳	1		
スキー	1			
サッカー	1			
剣道	1			
バレーボール	1			
ベースボールスポーツ	1			
卓球	1			
	計	14		

⑧ 技術教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	木材加工 I	2	
	木材加工及び実習 I	2	
	金属加工実習 I	1	
	機械実習 I	1	
	電気実習 I	1	
	栽培実習 I	1	
	情報基礎及び実習	2	
計		10	
選択科目	栽培 I	2	
	栽培実習 II	1	
	金属加工 I	2	
	金属加工 II	2	
	金属加工実習 II	1	
	機械 I	2	
	機械 II	2	
	機械実習 II	1	
	電気 I	2	
	電気 II	2	
	電気実習 II	1	
計		4	
合計		14	

⑨ 家庭科教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	家庭経営学 I	2	
	被服学 I	2	
	被服学実験実習 I	2	
	食物学 I	2	
	食物学実験実習 I	2	
	住居学 I	2	
	保育学	2	
計		14	

⑩ 英語教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	英語教育と英文法 I	2	
	英語教育と言語学 I	2	
	英語教育と英文学 I	2	
	英語教育と米文学 I	2	
	英語教育リスニング演習 I	1	
	英語教育スピーキング演習 I	1	
	英語教育ライティング演習 I	1	
	英語教育と異文化理解	2	
小計		13	
選択必修科目	英語教育と英文法 II	2	
	英語教育と英文法研究法 I	2	

選 択 必 修 科 目	英語教育と英文法研究法Ⅱ	2
	英語教育と言語学Ⅱ	2
	英語教育と言語学研究法Ⅰ	2
	英語教育と言語学研究法Ⅱ	2
	英語教育と音声学Ⅰ	2
	英語教育と音声学Ⅱ	2
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	2
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	2
	英語教育とコミュニケーション	2
	英語教育とコミュニケーション研究法	2
	英語教育と英文学Ⅱ	2
	英文学教材研究Ⅰ	2
	英文学教材研究Ⅱ	2
	英語教育と米文学Ⅱ	2
	米文学教材研究Ⅰ	2
	米文学教材研究Ⅱ	2
	英語教育リスニング演習Ⅱ	1
	英語教育リスニング演習Ⅲ	1
	英語教育リスニング演習Ⅳ	1
	英語教育スピーキング演習Ⅱ	1
	英語教育スピーキング演習Ⅲ	1
	英語教育スピーキング演習Ⅳ	1
	英語教育リーディング演習Ⅰ	1
	英語教育リーディング演習Ⅱ	1
	英語教育リーディング演習Ⅲ	1
	英語教育リーディング演習Ⅳ	1
	英語教育ライティング演習Ⅱ	1
	英語教育ライティング演習Ⅲ	1
	英語教育ライティング演習Ⅳ	1
	英語総合演習Ⅰ	2
	英語総合演習Ⅱ	2
	英語教育と異文化理解研究法	2
	初等英語科教育法	2
英語科教育総合実践	2	
小計	1	
計	14	

(3) 教科教育コース（中学校主免）

① 国語教育専修

区分	科目	単位	備考
選択必修科目	国語教育基礎演習Ⅰ	2	うち12単位必修
	国語教育基礎演習Ⅱ	2	
	文法及び文章表現Ⅰ	2又は4	
	文法及び文章表現Ⅱ	2又は4	
	音声言語Ⅰ	2又は4	
	音声言語Ⅱ	2又は4	
	国語学概論Ⅰ	2又は4	うち2単位必修
	国語学概論Ⅱ	2又は4	

選 択 必 修 科 目	国語学講義 I	2又は4	うち2単位必修
	国語学講義 II	2又は4	
	国語学演習 I	2又は4	
	国語学演習 II	2又は4	
	国語学演習 III	2又は4	
	国語学演習 IV	2又は4	
	国文学史 I	2又は4	うち2単位必修
	国文学史 II	2又は4	
	国文学概論 I	2又は4	うち2単位必修
	国文学概論 II	2又は4	
	国文学講義 I	2又は4	うち2単位必修
	国文学講義 II	2又は4	
	国文学演習 I	2又は4	
	国文学演習 II	2又は4	
	国文学演習 III	2又は4	
	国文学演習 IV	2又は4	
	漢文学講義 I	2又は4	うち2単位必修
	漢文学講義 II	2又は4	
	漢文学演習 I	2又は4	うち2単位必修
	漢文学演習 II	2又は4	
漢文学演習 III	2又は4		
漢文学演習 IV	2又は4		
書道講義及び実習 I	2又は4	うち2単位必修	
書道講義及び実習 II	2又は4		
国語学課題研究 I	2又は4	うち4単位必修	
国語学課題研究 II	2又は4		
国語学課題研究 III	2又は4		
国語学課題研究 IV	2又は4		
国文学課題研究 I	2又は4		
国文学課題研究 II	2又は4		
国文学課題研究 III	2又は4		
国文学課題研究 IV	2又は4		
漢文学課題研究 I	2又は4		
漢文学課題研究 II	2又は4		
漢文学課題研究 III	2又は4		
漢文学課題研究 IV	2又は4		
国語科教育学課題研究 I	2又は4		
国語科教育学課題研究 II	2又は4		
国語科教育学課題研究 III	2又は4		
国語科教育学課題研究 IV	2又は4		

選択必修科目	国語科教育学演習Ⅰ	2又は4	
	国語科教育学演習Ⅱ	2又は4	
	国語科教育学演習Ⅲ	2又は4	
	国語科教育学演習Ⅳ	2又は4	
	計	30	

② 社会科教育専修

区分	科目	単位	備考	
共通科目	日本史	2	8単位必修	
	外国史	2		
	地理学	2		
	地誌	2		
	法律学	2	うち2単位必修	
	政治学	2		
	社会学	2	うち2単位必修	
	経済学	2		
	哲学	2	うち2単位必修	
	倫理学	2		
	小計		14	
	科目	日本史	2	
		外国史	2	
		地理学	2	
地誌		2		
法律学		2		
政治学		2		
社会学		2		
経済学		2		
哲学		2		
倫理学		2		
社会科各研究法		2		
社会科各特講		2		
社会科各演習		2		
小計		4		
計		18		
歴史学(日本史)	日本史特講Ⅰ	2		
	日本史特講Ⅱ	2		
	日本史特講Ⅲ	2		
	日本史特講Ⅳ	2		
	歴史学研究法	2		
	日本史演習Ⅰ	2		
	日本史演習Ⅱ	2		
	日本史演習Ⅲ	2		
	日本史演習Ⅳ	2		
	日本史実習	2		
計		12		

歴史学 (外国史)	選 択 科 目	外国史特講Ⅰ	2	
		外国史特講Ⅱ	2	
		外国史特講Ⅲ	2	
		外国史特講Ⅳ	2	
		外国史演習Ⅰ	2	
		外国史演習Ⅱ	2	
		外国史演習Ⅲ	2	
		外国史演習Ⅳ	2	
		歴史学研究法Ⅰ	2	
		歴史学研究法Ⅱ	2	
計		12		
地 理 学	選 択 科 目	地理学特講Ⅰ	2	
		地理学特講Ⅱ	2	
		地理学特講Ⅲ	2	
		地理学特講Ⅳ	2	
		地理学研究法	2	
		地理学演習Ⅰ	2	
		地理学演習Ⅱ	2	
		地理学演習Ⅲ	2	
		地理学演習Ⅳ	2	
		地理学実習Ⅰ	2	
		地理学実習Ⅱ	2	
		地理学実習Ⅲ	2	
計		12		
法律学・政治学	選 択 科 目	法律学特講Ⅰ	2	
		法律学特講Ⅱ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
		法律学・政治学演習Ⅰ	2	
		法律学・政治学演習Ⅱ	2	
		法律学・政治学演習Ⅲ	2	
		法律学・政治学演習Ⅳ	2	
		法律学	2	
		政治学	2	
計		12		
経済学・社会学	選 択 科 目	経済学特講Ⅰ	2	
		経済学特講Ⅱ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
		経済学・社会学演習Ⅰ	2	
		経済学・社会学演習Ⅱ	2	
		経済学・社会学演習Ⅲ	2	
		経済学・社会学演習Ⅳ	2	
		経済学	2	
		社会学	2	
計		12		
哲学・倫理学	選 択 科 目	哲学・倫理学特講Ⅰ	2	
		哲学・倫理学特講Ⅱ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅱ	2	

哲学・倫理学	選択科目	哲学・倫理学演習Ⅰ	2	
		哲学・倫理学演習Ⅱ	2	
		哲学・倫理学演習Ⅲ	2	
		哲学・倫理学演習Ⅳ	2	
		哲学	2又は4	
		倫理学	2又は4	
		計	12	
社会科学教育学	選択科目	社会科教材開発実習Ⅰ	2	
		社会科教材開発実習Ⅱ	2	
		人文・社会科学方法論特講	2	
		人文・社会科学方法論演習Ⅰ	2	
		人文・社会科学方法論演習Ⅱ	2	
		社会認識形成史特講	2	
		社会認識形成史演習Ⅰ	2	
		社会認識形成史演習Ⅱ	2	
		社会認識教育方法論演習	2	
		授業研究法（生活・社会）	2	
		日本史	2	
		外国史	2	
		社会学	2	
		哲学	2	
		人文・社会科学研究法Ⅰ	2	
		人文・社会科学研究法Ⅱ	2	
		計	12	
合計		30		

③ 数学教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	代数学の基礎Ⅰ	2	
	線形代数学Ⅰ	2	
	微分積分学Ⅰ	2	
	統計学Ⅰ	2	
	情報数学Ⅰ	2	
	計	10	
選択科目	代数学序説	2	
	代数学の基礎Ⅱ	2	
	代数学講義Ⅰ	2	
	代数学講義Ⅱ	2	
	応用代数学Ⅰ	2	
	応用代数学Ⅱ	2	
	代数学特講	2	
	幾何学序説	2	
	線形代数学Ⅱ	2	
	幾何学講義Ⅰ	2	
	幾何学講義Ⅱ	2	
	応用幾何学Ⅰ	2	
	応用幾何学Ⅱ	2	
	幾何学特講	2	
	微分積分学Ⅱ	2	
	解析学講義Ⅰ	2	

選択科目	解析学講義Ⅱ	2	
	応用解析学Ⅰ	2	
	応用解析学Ⅱ	2	
	解析学特講	2	
	統計学Ⅱ	2	
	情報数学Ⅱ	2	
	計	20	
	合計	30	

④ 理科教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	基礎物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
必修科目	基礎生物学実験	2	
	地学基礎実習	2	
	小計	8	
共通科目	基礎物理学ⅠA	2	うち2単位必修
	基礎物理学ⅠB	2	
	基礎化学ⅠA	2	うち2単位必修
	基礎化学ⅠB	2	
	基礎化学ⅡA	2	
	基礎化学ⅡB	2	
	無機化学	2	
	機器分析化学	2	
	基礎生物学A	2	うち2単位必修
	基礎生物学B	2	
	基礎生物学C	2	
	生物学特論A	2	
	生物学特論B	2	
	動物学	2	
	地域環境生物学	2	
	植物学	2	
	生活環境生物学実習	2	
	基礎地学Ⅰ	2	
	基礎地学Ⅱ	2	
	天文学・気象学A	2	
天文学・気象学B	2		
地学セミナー	2		
地殻科学	2		
地層学	2		
自然科学基礎演習Ⅰ	2		
自然科学基礎演習Ⅱ	2		
情報理科特論	2		
情報理科特講	2		
	小計	10	
	計	18	

物理学	科目必修	物理学実験	2	
		物理学セミナー	2	
		小計	4	
	選択科目	基礎物理学ⅠA	2	
		基礎物理学ⅠB	2	
		基礎物理学ⅡA	2	
		基礎物理学ⅡB	2	
		現代物理学ⅠA	2	
		現代物理学ⅠB	2	
		現代物理学ⅡA	2	
		現代物理学ⅡB	2	
		現代物理学Ⅲ	2	
		天文学・気象学A	2	
天文学・気象学B	2			
小計	8			
計	12			
化学	科目必修	有機化学実験	2	
		物理化学実験	2	
		小計	4	
	選択必修科目	化学演習AⅠ	2	うち2単位必修
		化学演習AⅡ	2	
		化学演習BⅠ	2	
		化学演習BⅡ	2	
		基礎化学ⅠA	2	
		基礎化学ⅠB	2	
		基礎化学ⅡA	2	
		基礎化学ⅡB	2	
		無機化学	2	
		機器分析化学	2	
小計	8			
計	12			
生物学	選択必修科目	生物学演習A	2	うち2単位必修
		生物学演習B	2	
	基礎生物学A	2		
	基礎生物学B	2		
	基礎生物学C	2		
	動物学	2		
	植物学	2		
	地域環境生物学	2		
	生物学特論A	2		
	生物学特論B	2		
	生活環境生物学実習	2		
	生物学実験Ⅰ	2		
	生物学実験Ⅱ	2		
植物野外実習	2			
地域環境生物学実習	2			
昆虫学実習	2			
計	12			

地 学	選 択 必 修 科 目	地学演習A	2	うち2単位必修
		地学演習B	2	
		地層学セミナー	2	
		火山・地球環境セミナー	2	
		基礎地学Ⅱ	2	
		天文学・気象学A	2	
		天文学・気象学B	2	
		地学セミナー	2	
		地層学	2	
		地殻科学	2	
		地殻科学実習	2	
	計	12		
理 科 教 育 学	必 修 科 目	自然科学基礎演習Ⅰ	2	うち2単位必修
		自然科学基礎演習Ⅱ	2	
		情報理科特論	2	
		小 計	4	
	選 択 科 目	情報理科特講	2	
		基礎物理学ⅠA	2	
		基礎物理学ⅠB	2	
		基礎物理学ⅡA	2	
		基礎物理学ⅡB	2	
		現代物理学ⅠA	2	
		現代物理学ⅠB	2	
		現代物理学ⅡA	2	
		現代物理学ⅡB	2	
		現代物理学Ⅲ	2	
		基礎化学ⅠA	2	
		基礎化学ⅠB	2	
		基礎化学ⅡA	2	
		基礎化学ⅡB	2	
		無機化学	2	
		機器分析化学	2	
		基礎生物学A	2	
		基礎生物学B	2	
		基礎生物学C	2	
		動物学	2	
		地域環境生物学	2	
		植物学	2	
		生物学特論A	2	
		生物学特論B	2	
		生活環境生物学実習	2	
		基礎地学Ⅰ	2	
		基礎地学Ⅱ	2	
		天文学・気象学A	2	
		天文学・気象学B	2	
地学セミナー	2			
地層学	2			
地殻科学	2			
	小 計	8		
	計	12		
	合 計	30		

⑤ 音楽教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	音楽表現Ⅰ	2	
	音楽表現Ⅱ	2	
	音楽実践Ⅰ	2	
	音楽実践Ⅱ	2	
	音楽実践Ⅲ	1	
	音楽実践Ⅳ	1	
	音楽理論	2	
	音楽史	2	
	多文化音楽論Ⅰ	2	
	合唱	2	
	合奏	2	
	計	20	
選択科目	音楽教育学演習Ⅰ	1	
	音楽教育学演習Ⅱ	1	
	コレギウムⅠ	1	
	コレギウムⅡ	1	
	コレギウムⅢ	1	
	コレギウムⅣ	1	
	コレギウムⅤ	1	
	コレギウムⅥ	1	
	コレギウムⅦ	1	
	コレギウムⅧ	1	
	音楽教育実践入門Ⅰ	2	
	音楽教育実践入門Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅰ	2	
	音楽教育実践Ⅱ	2	
	音楽教育実践Ⅲ	2	
	弦楽器メソードⅠ	1	
	弦楽器メソードⅡ	1	
	音楽実践Ⅴ	1	
	音楽実践Ⅵ	1	
	音楽実践Ⅶ	1	
	音楽実践Ⅷ	1	
	声楽アンサンブル	2	
	伴奏法	2	
	コンピュータ音楽Ⅰ	2	
	コンピュータ音楽Ⅱ	2	
	音楽マネジメントⅠ	2	
	音楽マネジメントⅡ	2	
	音楽心理学Ⅰ	2	
	音楽心理学Ⅱ	2	
	西洋音楽史Ⅰ	2	
	西洋音楽史Ⅱ	2	
	音楽文化論	2	
音楽学Ⅰ	2		
音楽学Ⅱ	2		
声楽メソードⅠ	1		
声楽メソードⅡ	1		
ピアノメソードⅠ	1		

選 択 科 目	ピアノメソードⅡ	1	
	ピアノ・アンサンブル	1	
	楽曲分析法Ⅰ	2	
	楽曲分析法Ⅱ	2	
	作曲・理論入門Ⅰ	2	
	作曲・理論入門Ⅱ	2	
	音楽環境学演習Ⅰ	1	
	音楽環境学演習Ⅱ	1	
	音楽課題研究	2	
	弦楽アンサンブルⅠ	2	
	弦楽アンサンブルⅡ	2	
	弦楽器実践	2	
	計	10	
合 計	30		

⑥ 美術教育専修

区分	科目	単位	備考
必 修 科 目	絵画基礎Ⅰ	2	
	絵画基礎Ⅱ	2	
	彫刻基礎Ⅰ	2	
	彫刻基礎Ⅱ	2	
	工芸基礎	2	
	デザイン基礎	2	
	芸術学	2	
	日本・東洋美術史	2	
	西洋美術史	2	
	美術教育原論	2	
計	20		
選 択 必 修 科 目	絵画制作	2	うち2単位必修
	日本画制作	2	
	彫刻制作	2	
	工芸制作	2	
	デザイン制作	2	
	美術教育課題研究Ⅰ	2	
	美術教育課題研究Ⅱ	2	
	造形芸術学課題研究Ⅰ	2	
	造形芸術学課題研究Ⅱ	2	
	西洋絵画	2	うち8単位必修
	日本画	2	
	版画実習	2	
	空間表現	2	
	日本画技法演習	2	
	デザイン理論	2	
	彫刻論	2	
	芸術学特論	2	
美術史特論	2		
比較芸術学特論	2		
造形教育論	2		

選 択 必 修 科 目	芸術鑑賞演習	2	
	木材実習	2	
	工芸実習Ⅰ	2	
	工芸実習Ⅱ	2	
	工芸実習Ⅲ	2	
	地域と工芸	2	
	地域芸術研究	2	
	くらしと表現・鑑賞	2	
	伝統芸術表現	2	
	東洋書画の歴史と表現	2	
	篆刻と工芸	2	
	教育描法演習	2	
	芸術総合学習論	2	
	計		
合 計		30	

⑦ 保健体育専修

区分	科目	単位	備考
必 修 科 目	体育原理	2	
	体育心理学	2	
	体育経営学	2	
	運動方法学	2	
	生理学・運動生理学	2	
	衛生学・公衆衛生学	2	
	学校保健	2	
	体操	1	
	陸上競技	1	
	水泳	1	
	スキー	1	
	サッカー	1	
	剣道	1	
	計		
選 択 必 修 科 目	体育史	2	うち2単位必修
	体育社会学	2	
	体育行政学	2	
	体育測定評価論	2	
	体操授業実践実習	1	うち3単位必修
	陸上競技授業実践実習	1	
	水泳授業実践実習	1	
	野外活動・スキー授業実践実習	1	
	サッカー授業実践実習	1	
	バスケットボール授業実践実習	1	
	剣道授業実践実習	1	
バレーボール授業実践実習	1		
ベースボールスポーツ授業実践実習	1		
卓球授業実践実習	1		

選 択 必 修 科 目	器械運動	1	うち4単位必修
	バレーボール	1	
	柔道	1	
	ダンス	1	
	野外活動	1	
	バスケットボール	1	
	ベースボールスポーツ	1	
	卓球	1	
計	9		
選 択 科 目	体育原理体育史演習Ⅰ	1	
	体育原理体育史演習Ⅱ	1	
	体育心理学演習Ⅰ	1	
	体育心理学演習Ⅱ	1	
	保健体育科教育学演習Ⅰ	1	
	保健体育科教育学演習Ⅱ	1	
	体育方法学演習ⅠA	1	
	体育方法学演習ⅡA	1	
	体育方法学演習ⅠB	1	
	体育方法学演習ⅡB	1	
	体育方法学演習ⅠC	1	
	体育方法学演習ⅡC	1	
	生理学・運動学演習Ⅰ	1	
	生理学・運動学演習Ⅱ	1	
	衛生学・公衆衛生学演習Ⅰ	1	
	衛生学・公衆衛生学演習Ⅱ	1	
	運動学演習Ⅰ	1	
	運動学演習Ⅱ	1	
	体育測定評価論演習Ⅰ	1	
	体育測定評価論演習Ⅱ	1	
計	1		
合 計	30		

⑧ 技術教育専修

区分	科目	単位	備考
必 修 科 目	木材加工Ⅰ	2	
	木材加工及び実習Ⅰ	2	
	金属加工実習Ⅰ	1	
	機械実習Ⅰ	1	
	電気実習Ⅰ	1	
	栽培実習Ⅰ	1	
	情報基礎及び実習	2	
	計	10	
選 択 必 修 科 目	栽培Ⅰ	2	うち4単位必修
	栽培Ⅱ	2	
	栽培Ⅲ	2	
	金属加工Ⅰ	2	うち4単位必修
	金属加工Ⅱ	2	

選 択 必 修 科 目	金属加工Ⅲ	2	うち4単位必修
	機械Ⅰ	2	
	機械Ⅱ	2	
	機械Ⅲ	2	
	電気Ⅰ	2	
	電気Ⅱ	2	
	電気Ⅲ	2	
	電気Ⅳ	2	
	栽培Ⅳ	2	
	情報基礎Ⅰ	2	
	情報基礎Ⅱ	2	
	栽培実習Ⅱ	1	
	金属加工Ⅳ	2	
	金属加工実習Ⅱ	1	
	機械Ⅳ	2	
	機械実習Ⅱ	1	
	電気実習Ⅱ	1	
	計	20	
	合 計	30	

⑨ 家庭科教育専修

区分	科目	単位	備考
必 修 科 目	家庭経営学Ⅰ	2	
	家庭経営学Ⅱ	2	
	被服学Ⅰ	2	
	被服学Ⅱ	2	
	被服学実験実習Ⅰ	2	
	食物学Ⅰ	2	
	食物学Ⅱ	2	
	食物学実験実習Ⅰ	2	
	住居学Ⅰ	2	
	住居学実験実習	2	
保育学	2		
	計	22	
選 択 科 目	生活科学教育研究	2	
	生活科学教育演習	2	
	生活科学教育課題の分析	2	
	家庭経営学演習	2	
	家庭経営学課題の分析	2	
	被服学Ⅲ	2	
	被服学Ⅳ	2	
	被服学実験実習Ⅱ	2	
	被服学実験実習Ⅲ	2	
	被服学演習	2	
	被服学課題の分析	2	
	食物学Ⅲ	2	
食物学実験実習Ⅱ	2		

	調理実習Ⅰ	2
	調理実習Ⅱ	2
	食物学演習	2
	食物学課題の分析	2
	住居学Ⅱ	2
	住居学Ⅲ	2
	住居学演習	2
	住居学課題の分析	2
	家庭看護学	2
	家庭電気・機械	2
	情報処理演習	2
	計	8
	合計	30

⑩ 英語教育専修

区分	科目	単位	備考
必修科目	英語教育と英文法Ⅰ	2	
	英語教育と言語学Ⅰ	2	
	英語教育と音声学Ⅰ	2	
	英語教育と英文学Ⅰ	2	
	英語教育と米文学Ⅰ	2	
	英語教育リスニング演習Ⅰ	1	
	英語教育スピーキング演習Ⅰ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅰ	1	
	英語教育と異文化理解	2	
計	15		
選択必修科目	英語教育と英文法Ⅱ	2	
	英語教育と英文法研究法Ⅰ	2	
	英語教育と英文法研究法Ⅱ	2	
	英語教育と言語学Ⅱ	2	
	英語教育と言語学研究法Ⅰ	2	
	英語教育と言語学研究法Ⅱ	2	
	英語教育と音声学Ⅱ	2	
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	2	
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	2	
	英語教育とコミュニケーション	2	
	英語教育とコミュニケーション研究法	2	
	英語教育と英文学Ⅱ	2	
	英文学教材研究Ⅰ	2	
	英文学教材研究Ⅱ	2	
	英語教育と米文学Ⅱ	2	
	米文学教材研究Ⅰ	2	
	米文学教材研究Ⅱ	2	
	目	英語教育リスニング演習Ⅱ	1
英語教育リスニング演習Ⅲ		1	
英語教育リスニング演習Ⅳ		1	
英語教育スピーキング演習Ⅱ		1	
英語教育スピーキング演習Ⅲ		1	
英語教育スピーキング演習Ⅳ		1	
英語教育ライティング演習Ⅱ		1	

うち9単位必修

選 択 必 修 科 目	英語教育ライティング演習Ⅲ	1	
	英語教育ライティング演習Ⅳ	1	
	英語教育リーディング演習Ⅰ	1	
	英語教育リーディング演習Ⅱ	1	
	英語教育リーディング演習Ⅲ	1	
	英語教育リーディング演習Ⅳ	1	
	英語総合演習Ⅰ	2	
	英語総合演習Ⅱ	2	
	英語教育と異文化理解研究法	2	
	初等英語科教育法	2	
	英語科教育総合実践	2	
	計	15	
	合 計	30	

別表第7（第4条関係）

学校教員養成課程特別支援教育専門科目

区分			科目	単位	備考
学校 教育 コース	特別 支援 教育 専修	必 修 科 目	特別支援教育の本質と目標	2	
			知的障害心理学	2	
			障害児生理学	2	
			肢体不自由教育総論	2	
			病弱児の心理・生理・病理	2	
			発達障害指導論	2	
			肢体不自由指導論	2	
			障害児保健学（病弱）	2	
			言語障害心理学	2	
			特別支援教育総論	2	
			重複障害の心理・指導論	2	
			特別支援教育実習	3	
			計		

別表第8（第4条関係）

教職専門科目

科目	単位	備考
保育内容の研究（健康）	2	
保育内容の研究（人間関係）	2	
保育内容の研究（環境）	2	
保育内容の研究（言葉）	2	
保育内容の研究（表現Ⅰ）	2	
保育内容の研究（表現Ⅱ）	2	
幼稚園教育指導法	2	
幼児理解の心理学・教育相談	2	
幼児教育概論	2	
幼児心理学概論	2	
保育内容の研究演習	2	
幼児教育演習	2	
幼児心理学演習	2	
幼稚園教育実践研究	2	
幼児教育史	2	
幼児教育の制度と経営	2	
幼児発達心理学	2	
幼稚園教育課程論	2	
地理歴史科教育法Ⅰ	2	
地理歴史科教育法Ⅱ	2	
公民科教育法Ⅰ	2	
公民科教育法Ⅱ	2	
教育課程総論	2	
特別活動指導法	1	
教育方法・技術B	1	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
商業科教育法Ⅰ	2	

商業科教育法Ⅱ	2
農業科教育法Ⅰ	2
農業科教育法Ⅱ	2
ドイツ語科教育法Ⅰ	2
ドイツ語科教育法Ⅱ	2
ドイツ語科教育法Ⅲ	2
ドイツ語科教育法Ⅳ	2
フランス語科教育法Ⅰ	2
フランス語科教育法Ⅱ	2
フランス語科教育法Ⅲ	2
フランス語科教育法Ⅳ	2
ロシア語科教育法Ⅰ	2
ロシア語科教育法Ⅱ	2
ロシア語科教育法Ⅲ	2
ロシア語科教育法Ⅳ	2
中国語科教育法Ⅰ	2
中国語科教育法Ⅱ	2
中国語科教育法Ⅲ	2
中国語科教育法Ⅳ	2
養護実習事前・事後指導	1
教職実践演習（養護教諭）	2

別表第9（第8条関係）

取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科等

課程	教員の免許状の種類（免許教科）〔特別支援教育領域〕
学校教員養成課程	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状〔知的障害者，肢体不自由者，病弱者〕 中学校教諭一種免許状（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語） 高等学校教諭一種免許状（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，英語）

(2) 新潟大学教育学部教育実習規程

(設置)

第1条 この規程は、新潟大学教育学部規程（平成20年教育規程第1号）第4条第4項及び新潟大学養護教諭特別別科規程（平成16年規程第161号）第11条の規定に基づき、教育学部学生の教育実習及び特別支援教育実習並びに養護教諭特別別科学生の養護実習に関する基本的事項について定める。

(教育学部学生の教育実習)

第2条 教育学部学生（以下この条において「学生」という。）は、別表第1に規定する主専攻教育実習を履修しなければならない。

2 副専攻教育実習の種類、単位、期間及び履修年次は、別表第2の定めるところによる。

3 学生は、前項の科目を2科目まで履修することができる。

(養護教諭特別別科学生の養護実習)

第3条 養護教諭特別別科学生は、別表第3に規定する養護実習を履修しなければならない。

(教育実習事前・事後指導)

第4条 教育実習事前・事後指導は、新潟大学教育学部教育実習委員会が、新潟大学教育学部附属学校（以下「附属学校」という。）の協力の下に行うものとする。

(実習校)

第5条 教育実習、特別支援教育実習及び養護実習は、附属学校において行う。ただし、その一部を教育実習協力校において行うことができる。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成21年9月17日教育規程第6号）

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

附 則（平成24年3月16日教育規程第3号）

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成23年度以前に入学した学生の教育実習については、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月6日教育規程第1号）

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成28年度以前に入学した学生の履修方法については、なお従前の例による。

別表第1（第2条関係）

教育学部主専攻教育実習（必修科目）

コース	専修等	科目	履修年次等						
			第3年次		第4年次		事前・事後指導	単位計	
			相当する単位	期間（週）	相当する単位	期間（週）	相当する単位		
学校教育コース	学校教育学専修 教育心理学専修	初等教育実習Ⅰ	4	4	/	/	2	6	
		特別支援教育専修	小教基礎免	初等教育実習Ⅱ	2	2	2	2	1
	特別支援教育実習		2	2	/	/	1	3	
	中教基礎免	中等教育実習Ⅱ	2	2	/	/	1	3	
		中等教育実習Ⅲ	/	/	2	2	/	2	
		特別支援教育実習	2	2	/	/	1	3	
教科教育コース	小学校主免	初等教育実習Ⅰ	4	4	/	/	2	6	
	中学校主免	中等教育実習Ⅰ	2	2	/	/	2	4	
		中等教育実習Ⅲ	2	2	/	/	/	2	

備考

- 1 学校教育学専修，教育心理学専修及び小学校主免の初等教育実習Ⅰは，小学校の教育実習を中心とする。
- 2 中学校主免の中等教育実習Ⅰ及び中等教育実習Ⅲは，中学校の教育実習を中心とする。
- 3 特別支援教育専修（小教基礎免）の初等教育実習Ⅱ及び特別支援教育実習は，小学校及び特別支援学校の教育実習を中心とする。
- 4 特別支援教育専修（中教基礎免）の中等教育実習Ⅱ，中等教育実習Ⅲ及び特別支援教育実習は，中学校及び特別支援学校の教育実習を中心とする。
- 5 事前・事後指導の期間は，別に定める。

別表第2（第2条関係）

教育学部副専攻教育実習（選択科目）

科目	履修年次等			単位計
	第4年次			
	単位	期間（週）	事前・事後指導	
			単位	
初等教育実習	2	2		2
中等教育実習	2	2		2
特別支援教育実習	2	2	1	3

備考 事前・事後指導の期間は、別に定める。

別表第3（第3条関係）

養護教諭特別別科養護実習（必修科目）

別科	科目	単位	期間（週）
養護教諭特別別科	養護実習	4	4

(3) 新潟大学教育学部卒業研究細則

(趣旨)

第1条 この細則は、新潟大学教育学部規程（平成20年教育規程第1号）第7条第2項の規定に基づき、卒業研究の内容、審査の方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(卒業研究の内容)

第2条 卒業研究の内容は、次の表に掲げるとおりとする。

課程（コース・専修）		卒業研究	
学 校 教 員 養 成 課 程	学校教育コース	学校教育学専修	論文
		教育心理学専修	論文
		特別支援教育専修	論文
	教科教育コース	国語教育専修	論文
		社会科教育専修	論文
		数学教育専修	論文又はこれに代わる業績
		理科教育専修	論文又はこれに代わる業績
		音楽教育専修	論文及び演奏
		美術教育専修	論文及び制作
		保健体育専修	論文
		技術科教育専修	論文
		家庭科教育専修	論文
		英語教育専修	論文

(卒業研究の題目の提出)

第3条 卒業研究の題目は、あらかじめ卒業研究指導教員の承認を受け、第1学期末までに教育学部教務係に届け出なければならない。

(卒業研究の成果の提出)

第4条 卒業研究の成果は、各専修の定める方法により、1月20日の午後4時までに提出しなければならない。ただし、1月20日が日曜日又は土曜日に当たるときは、それぞれ1月21日又は1月22日の午後4時までとする。

(卒業研究の修了の認定)

第5条 卒業研究の修了の認定は、卒業研究の審査により行い、あわせて口述試験の結果を加味することができるものとする。

(卒業研究の審査)

第6条 前条の卒業研究の審査は、卒業研究指導教員を主査とし、当該専修の教員により行うことを原則とする。ただし、主査が特に必要と認める場合は他の教員を加えることができる。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月20日教育細則第1号）

この細則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月16日教育細則第1号）

- 1 この細則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前に入学した学生の卒業研究の内容、審査の方法等については、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月6日教育細則第1号）

- 1 この細則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前に入学した学生の卒業研究の内容、審査の方法等については、なお従前の例による。

(4) 新潟大学教育学部第1年次に入学した学生の既修得単位等の認定に関する取扱要項

(趣旨)

第1 この要項は、新潟大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第57条の規定に基づき、新潟大学教育学部(以下「本学部」という。)の第1年次に入学した者の入学する前に他の大学又は短期大学若しくは外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)及び入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(以下「既修得単位等」という。)の認定について必要な事項を定めるものとする。

(認定の条件)

第2 既修得単位の認定は、その授業科目又は学修の内容が教育・学生支援機構が公示している授業科目又は本学部が開設している授業科目(以下「該当授業科目」という。)と同一と認められ、かつ、その授業科目の単位数が該当授業科目の単位数を下回らない場合に限り、学則第57条第3項に定める単位数の範囲内で、前条に定める入学前に修得した単位については、該当授業科目の履修により修得したものとみなすことにより、前条に定める入学前に行った学修については、該当授業科目の履修とみなし、単位を与えることにより行う。

(申請の手続)

第3 既修得単位等の認定を受けようとする者は、次に掲げる書類を入学した年度の4月末日までに学部長に提出しなければならない。

- (1) 他大学等において修得した単位等に係る単位認定申請書(別記第1号様式)
- (2) 認定申請授業科目概要(別記第2号様式)
- (3) 成績証明書

(審査)

第4 既修得単位等の認定の審査は、新潟大学教育学部教務委員会が当該授業科目の関連分野等の教員に意見を求めた上、行うものとする。

(認定)

第5 既修得単位等の認定の審査は、新潟大学教育学部教授会が行う。

- 2 認定した単位は、他大学等において修得した単位等に係る単位認定通知書(別記第3号様式)をもって申請者に通知する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

他大学等において修得した単位等に係る単位認定申請書

年	月	日
---	---	---

新潟大学教育学部長 殿

所 属	課程 第1年次						
	在籍番号		⋮		⋮		
本人氏名							

新潟大学学則第57条の規定により単位の認定を受けたいので、下記により申請します。

記

単位の修得を行った大学等名				添 付 す る 書 類		
				1 成績証明書 2 修了（在学）証明書 3 その他		
認 定 を 希 望 す る 授 業 科 目				認定の対象となる他大学等 において修得した単位等		
科目区分	講義番号	授 業 科 目 名	単位数	授 業 科 目 名 等	単位数等	評価等

（注）右欄に記載する授業科目に対応させて左欄の認定を希望する該当授業科目の科目区分，
授業科目名及び単位数を記入すること。

別記第3号様式（第5関係）

他大学等において修得した単位等に係る単位認定通知書

教育学部 _____ 課程

在籍番号 _____

氏 名 _____ 殿

新潟大学学則第57条の規定に基づき、下記のとおり _____ で修得した授業科目の単位を、本学において修得又は履修したものとみなし単位を認定する。

記

認 定 す る 授 業 科 目					認定の基礎となった単位等		
科目区分	講義番号	授 業 科 目 名	単 位	評 価	授 業 科 目 名	単位等	評価等

年 月 日

新潟大学教育学部長

印

(5) 新潟大学養護教諭特別別科規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新潟大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第87条に規定する新潟大学養護教諭特別別科（以下「特別別科」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 特別別科は、養護教諭を養成することを目的とする。

(管理運営)

第3条 特別別科の管理運営については、新潟大学教育学部教授会（以下「教育学部教授会」という。）が行うものとする。

(収容定員)

第4条 特別別科の収容定員は、50人とする。

(学年、学期及び休業日)

第5条 特別別科の学年、学期及び休業日については、学則第36条から第38条までの規定に定めるところによる。

(修業年限)

第6条 特別別科の修業年限は、1年とする。

(在学年限)

第7条 学生が特別別科に在学することができる年限は、2年を超えることができない。

(入学資格)

第8条 特別別科に入学することができる者は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する大学の入学資格を有し、かつ、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第21条各号のいずれかに該当する者とする。

(入学の時期)

第9条 特別別科の入学の時期は、毎年学年の始めとする。

(入学者の選抜等)

第10条 特別別科に入学を志願する者については、別に定めるところにより入学者の選抜を行う。

2 前項の入学者選抜における合格者の認定は、教育学部教授会の議を経て、学長が行う。

(教育課程)

第11条 授業科目は、教養科目及び専門科目に区分する。

2 前項の授業科目及びその単位数並びに履修方法は、別表の定めるところによる。

(単位の計算方法)

第12条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、その授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(単位の授与)

第13条 授業科目の修了の認定は、その授業科目についての平素の学習状況、出席状況、試験その他の成績により、学年末又は学期末に行うものとし、それに合格した学生には、所定の単位を与

える。

2 成績の評価は、100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。

3 前項の成績の評語は、秀（90点以上）、優（89点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）及び不可（59点以下）とする。

（教員の免許状授与の所要資格の取得）

第14条 特別別科を修了した者で、保健師助産師看護師法第7条の規定による看護師の免許を受けたものは、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による養護教諭一種免許状の授与の所要資格を取得することができる。

（修了）

第15条 第6条に規定する修業年限以上在学し、かつ、所定の授業科目の単位を修得した学生の修了の認定は、教育学部教授会の議を経て、学長が行う。

2 学長は、前項の規定により修了と認定された者には、修了証書を授与する。

（休学、復学、転学、退学、除籍及び復籍）

第16条 特別別科における学生の休学、復学、転学、退学、除籍及び復籍については、学則第65条、第67条、第68条、第70条及び第71条の規定を準用する。この場合において、次の表の第1欄に掲げる学則の規定中同表の第2欄に掲げる字句は、それぞれ同表の第3欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

第1欄	第2欄	第3欄
第65条第1項 第67条第3項 第68条 第70条第2項	所属する学部の学部長	教育学部長
第65条第2項	その学生が所属する学部の学部長	教育学部長
第71条第1項各号列記以外の部分	その学生が所属する学部の教授会の議を経て、学部長	教育学部教授会の議を経て、教育学部長
第71条第1項第2号	第40条	新潟大学養護教諭特別別科規程第7条
第71条第1項第3号	第66条第1項ただし書	新潟大学養護教諭特別別科規程第17条
第71条第2項	当該学部の教授会の議を経て、学部長	当該学部教授会の議を経て、教育学部長
第71条第3項	その学部	教育学部

（休学期間）

第17条 休学期間は、1年を超えることができない。

2 休学期間は、第7条の在学年限に算入しない。

（表彰及び懲戒）

第18条 特別別科における学生の表彰及び懲戒については、学則第72条及び第73条の規定を準用する。この場合において、学則第72条第2項中「学部長」とあるのは「教育学部長」と、「その学部に所属する」とあるのは「特別別科の」と、それぞれ読み替えるものとする。

（検定料、入学料、授業料及び寄宿料）

第19条 特別別科における検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額、徴収の時期、免除、徴収猶予等については、学則第74条から第79条、第89条及び第90条の規定を準用する。この場合において、

学則第74条中「本学の学部」とあるのは「特別別科」と読み替えるものとする。

(規程の改廃)

第20条 この規程の改廃は、教育学部教授会の議を経て行う。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日規程第32号)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年12月26日規程第59号)

この規程は、平成19年12月26日から施行する。

附 則 (平成20年3月31日規程第12号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月31日規程第17号)

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月31日規程第11号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月30日規程第23号)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月31日規程第10号)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年3月8日規程第7号)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

平成28年度以前に入学した学生の取り扱いについては、なお従前の例による。

別表（第11条関係）

授業科目及び単位数並びに履修方法

区分	授業科目	講義・演習・ 実習等の別		単位数		
				必修	選択	計
教養科目	日本国憲法	講	義	2		2
	外国語コミュニケーション	演	習	2		2
	情報機器の操作	講	義	2		2
	体育講義	講	義	1		1
	体育実技	実	技	1		1
	計				8	
専門科目	学校保健	講	義	2		2
	健康診断実習	実	習	1		1
	救急処置・看護法実習	実	習	2		2
	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	講	義	2		2
	栄養学（食品学を含む。）	講	義	2		2
	養護概説	講	義	2		2
	健康相談活動の理論と方法	講	義	2		2
	学校保健演習	演	習	1		1
	性・エイズ教育講義	講	義	2		2
	環境保健実習	実	習	1		1
	精神保健	講	義		2	2
	肢体不自由教育総論	講	義		2	
	ヘルスプロモーション・ウェルネス概論	講	義		2	
	健康生活環境論	講	義		2	
	養護教諭新聞活用教育(NIE)実践法講義	講	義		2	
	修了研究	演	習	3		3
	小計				20	2
教職に関する科目	教育学概論	講	義	2		2
	教育心理学	講	義	2		2
	生徒指導	講	義		2	2
	障害児心理	講	義		2	
	家庭教育概論	講	義		2	
	養護教育実践研究（養護実習事前事後研究を含む。）	講	義	4		4
	養護実習	実	習	4		4
小計				12	2	14
計				32	4	36
合計（修了要件）				40	4	44

9 關係法規

9 関係法規

教育基本法

平成18年12月22日
法律第120号

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに、我々は、日本国憲法の精神にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の基本を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。

第一章 教育の目的及び理念

(教育の目的)

第一条

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育の目標)

第二条

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

(生涯学習の理念)

第三条

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

(教育の機会均等)

第四条

すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないが、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

- 2 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
- 3 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

第二章 教育の実施に関する基本

(義務教育)

第五条

- 国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、普通教育を受けさせる義務を負う。
- 2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。
 - 3 国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。
 - 4 国又は地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料を徴収しない。

(学校教育)

第六条

- 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。
- 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

(大学)

第七条

- 大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。
- 2 大学については、自主性、自律性その他の大学における教育及び研究の特性が尊重されなければならない。

(私立学校)

第八条

私立学校の有する公の性質及び学校教育において果たす重要な役割にかんがみ、国及び地方公共団体は、その自主性を尊重しつつ、助成その他の適当な方法によって私立学校教育の振興に努めなければならない。

(教員)

第九条

- 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。
- 2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。

(家庭教育)

第十条

- 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
- 2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

(幼児期の教育)

第十一条

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

(社会教育)

第十二条

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

(学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力)

第十三条

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。

(政治教育)

第十四条

良識ある公民として必要な政治的教養は、教育上尊重されなければならない。

2 法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

(宗教教育)

第十五条

宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活における地位は、教育上尊重されなければならない。

2 国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない。

第三章 教育行政

(教育行政)

第十六条

教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

2 国は、全国的な教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、教育に関する施策を総合的に策定し、実施しなければならない。

3 地方公共団体は、その地域における教育の振興を図るため、その実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならない。

4 国及び地方公共団体は、教育が円滑かつ継続的に実施されるよう、必要な財政上の措置を講じなければならない。

(教育振興基本計画)

第十七条

政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

第四章 法令の制定

第十八条

この法律に規定する諸条項を実施するため、必要な法令が制定されなければならない。

附則 抄

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から施行する。

教育職員免許法抄

第2章 免許状

(種類)

第4条 免許状は、普通免許状、特別免許状及び臨時免許状とする。

2 普通免許状は、学校（中等教育学校を除く。）の種類ごとの教諭の免許状、養護教諭の免許状及び栄養教諭の免許状とし、それぞれ専修免許状、一種免許状及び二種免許状（高等学校教諭の免許状にあつては、専修免許状及び一種免許状）に区分する。

3 特別免許状は、学校（幼稚園及び中等教育学校を除く。）の種類ごとの教諭の免許状とする。

4 臨時免許状は、学校（中等教育学校を除く。）の種類ごとの助教諭の免許状及び養護助教諭の免許状とする。

5 中学校及び高等学校の教員の普通免許状及び臨時免許状は、次に掲げる各教科について授与するものとする。

一 中学校の教員にあつては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業（職業指導及び職業実習（農業、工業、商業、水産及び商船のうちいずれか一以上の実習とする。以下同じ。）を含む。）、職業指導、職業実習、外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語に分ける。）及び宗教

二 高等学校の教員にあつては、国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉、福祉実習、商船、商船実習、職業指導、外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語に分ける。）及び宗教

6 小学校教諭、中学校教諭及び高等学校教諭の特別免許状は、次に掲げる教科又は事項について授与するものとする。

一 小学校教諭にあつては、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育

二 中学校教諭にあつては、前項第一号に掲げる各教科及び第16条の3第1項の文部科学省令で定める教科

三 高等学校教諭にあつては、前項第二号に掲げる各教科及びこれらの教科の領域の一部に係る事項で第16条の4第1項の文部科学省令で定めるもの並びに第16条の3第1項の文部科学省令で定める教科

第4条の2 特別支援学校の教員の普通免許状及び臨時免許状は、1又は2以上の特別支援教育領域について授与するものとする。

2 特別支援学校において専ら自立教科等の教授を担当する教員の普通免許状及び臨時免許状は、前条第2項の規定にかかわらず、文部科学省令で定めるところにより、障害の種類に応じて文部科学省令で定める自立教科等について授与するものとする。

3 特別支援学校教諭の特別免許状は、前項の文部科学省令で定める自立教科等について授与するものとする。

(授与)

第5条 普通免許状は、別表第1、別表第2若しくは別表第2の2に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において別表第1、別表第2若しくは別表第2の2に定める単位を修得した者又はその免許状を授与するため行う教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、次の各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

一 18歳未満の者

二 高等学校を卒業しない者（通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む。）ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認められた者を除く。

三 成年被後見人又は被保佐人

四 禁錮以上の刑に処せられた者

五 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該執行の日

から3年を経過しない者

六 第11条第1項から第3項の規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

七 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 前項本文の規定にかかわらず、別表第1から別表第2の2までに規定する普通免許状に係る所要資格を得た日の翌日から起算して10年を経過する日の属する年度の末日を経過した者に対する普通免許状の授与は、その者が免許状更新講習(第9条の3第1項に規定する免許状更新講習をいう。以下第9条の2までにおいて同じ。)の課程を修了した後文部科学省令で定める2年以上の期間内にある場合に限り、行うものとする。

3 特別免許状は、教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、前1項各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

4 前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

一 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者

二 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

5 第7項で定める授与権者は、第3項の教育職員検定において合格の決定をしようとするときは、あらかじめ、学校教育に関し学識経験を有する者その他の文部科学省令で定める者の意見を聴かなければならない。

6 臨時免許状は、普通免許状を有する者を採用することができない場合に限り、第1項各号のいずれにも該当しない者で教育職員検定に合格したものに授与する。ただし、高等学校助教諭の臨時免許状は、次の各号のいずれかに該当する者以外の者には授与しない。

一 短期大学士の学位又は準学士の称号を有する者

二 文部科学大臣が前号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

7 免許状は、都道府県の教育委員会(以下「授与権者」という。)が授与する。

(免許状の授与の手続等)

第5条の2 免許状の授与を受けようとする者は、申請書に授与権者が定める書類を添えて、授与権者に申し出るものとする。

2 特別支援学校の教員の免許状の授与に当たっては、当該免許状の授与を受けようとする者の別表第1の第3欄に定める特別支援教育に関する科目(次項において「特別支援教育科目」という。)の修得の状況又は教育職員検定の結果に応じて、文部科学省令で定めるところにより、一又は二以上の特別支援教育領域を定めるものとする。

3 特別支援学校の教員の免許状の授与を受けた者が、その授与を受けた後、当該免許状に定められている特別支援教育領域以外の特別支援教育領域(以下「新教育領域」という。)に関して特別支援教育科目を修得し、申請書に当該免許状を授与した授与権者が定める書類を添えて当該授与権者にその旨を申し出た場合、又は当該授与権者が行う教育職員検定に合格した場合には、当該授与権者は、前項に規定する文部科学省令で定めるところにより、当該免許状に当該新教育領域を追加して定めるものとする。

別表第1（第5条，第5条の2関係）

第1欄		第2欄	第3欄			
免許状の種類	所要資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数			
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	6	35	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	6	35	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	27		
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	8	41	34	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	8	41	10	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	4	31	2	
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	20	31	32	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	20	31	8	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	10	21	4	
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	20	23	40	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	20	23	16	
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				50
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				26
	二種免許状	小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				16

備 考

- 1 この表における単位の修得方法については、文部科学省令で定める（別表第2から別表第8までの場合においても同様とする。）。
- 2 第2欄の「修士の学位を有すること」には、大学（短期大学を除く。第6号及び第7号において同じ。）の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に1年以上在学し、30単位以上修得した場合を含むものとする（別表第2及び別表第2の2の場合においても同様とする。）。
- 2の2 第2欄の「学士の学位を有すること」には、文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認めた場合を含むものとする（別表第2の場合においても同様とする。）。
- 2の3 第2欄の「短期大学士の学位を有すること」には、文部科学大臣の指定する教員養成機関を卒業した場合又は文部科学大臣が短期大学士の学位を有することと同等以上の資格を有すると認めた場合を含むものとする。
- 3 高等学校教諭以外の教諭の二種免許状の授与の所要資格に関しては、第3欄の「大学」には、文部科学大臣の指定する教員養成機関を含むものとする。
- 4 この表の規定により幼稚園、小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の専修免許状若しくは一種免許状又は幼稚園、小学校若しくは中学校の教諭の二種免許状の授与を受けようとする者については、特に必要なものとして文部科学省令で定める科目の単位を大学又は文部科学大臣の指定する教員養成機関において修得していることを要するものとする（別表第2及び別表第2の2の場合においても同様とする。）。
- 5 第3欄に定める科目の単位は、次のいずれかに該当するものでなければならない（別表第2及び別表第2の2の場合においても同様とする。）。
 - イ 文部科学大臣が第16条の3第4項の政令で定める審議会等に諮問して免許状の授与の所要資格を得させるために適当と認める課程（以下「認定課程」という。）において修得したもの
 - ロ 免許状の授与を受けようとする者が認定課程以外の大学の課程又は文部科学大臣が大学の課程に相当するものとして指定する課程において修得したもので、当該者の在学する認定課程を有する大学が免許状の授与の所要資格を得させるための教科に関する科目として適当であると認めるもの
- 6 前号の認定課程には、第3欄に定める科目の単位のうち、教職に関する科目又は特別支援教育に関する科目の単位を修得させるために大学が設置する修業年限を1年とする課程を含むものとする。
- 7 専修免許状に係る第3欄に定める科目の単位数のうち、その単位数からそれぞれの一種免許状に係る同欄に定める科目の各単位数をそれぞれ差し引いた単位数については、大学院の課程又は大学の専攻科の課程において修得するものとする。（別表第2の2の場合においても同様とする。）。
- 8 一種免許状（高等学校教諭の一種免許状を除く。）に係る第3欄に定める科目の単位数は、短期大学の課程及び短期大学の専攻科で文部科学大臣が指定するものの課程において修得することができる。この場合において、その単位数からそれぞれの二種免許状に係る同欄に定める科目の各単位数をそれぞれ差し引いた単位数については、短期大学の専攻科の課程において修得するものとする。
- 9 中学校教諭の音楽及び美術の各教科についての免許状並びに高等学校教諭の数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、農業、工業、商業、水産及び商船の各教科についての免許状については、当分の間、この表の中学校教諭の項及び高等学校教諭の項中教職に関する科目の欄に定める単位数（専修免許状に係る単位数については、第7号の規定を適用した後の単位数）のうちその半数までの単位は、当該免許状に係る教科に関する科目について修得することができる。

別表第2（第5条関係）

第1欄		第2欄	第3欄		
免許状 の種類	所要資格	基 礎 資 格	大学又は文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において修得することを必要とする最低単位数		
			養護に関する科目	教職に関する科目	養護又は教職に関する科目
養 護 教 諭	一種免許状	イ 学士の学位を有すること。	28	21	7
		ロ 保健師助産師看護師法第7条第1項の規定により保健師の免許を受け、文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関に半年以上在学すること。	4	8	
		ハ 保健師助産師看護師法第7条第3項の規定により看護師の免許を受け、文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関に1年以上在学すること。	12	10	

教育職員免許法施行規則抄

昭和29年10月27日
文部省令第26号

第1章 単位の修得方法等

第1条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号。以下「免許法」という。）別表第1から別表第8までにおける単位の修得方法等に関しては、この章の定めるところによる。

第1条の2 免許法別表第1から別表第8までにおける単位の計算方法は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第21条第2項及び第3項（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条において準用する場合を含む。）、大学通信教育設置基準（昭和50年文部省令第33号）第5条、短期大学設置基準（昭和50年文部省令第21号）第7条第2項及び第3項並びに短期大学通信教育設置基準（昭和57年文部省令第3号）第5条に定める基準によるものとする。

第1条の3 免許法別表第1備考第2号の規定により専修免許状に係る基礎資格を取得する場合の単位の修得方法は、大学院における単位の修得方法の例によるものとする。

第2条 免許法別表第1に規定する幼稚園教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教科に関する科目の単位の修得方法は、小学校の教科に関する科目について修得するものとし、国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目（これら科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他これら科目に準ずる内容の科目を含む。）のうち1以上の科目について修得するものとする。

2 学生が前項の科目の単位を修得するに当たっては、大学は、各科目についての学生の知識及び技能の修得状況に応じ適切な履修指導を行うよう努めなければならない。

第3条 免許法別表第1に規定する小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教科に関する科目の単位の修得方法は、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得するものとする。

2 学生が前項の科目の単位を修得するに当たっては、大学は、各科目についての学生の知識及び技能の修得状況に応じ適切な履修指導を行うよう努めなければならない。

第4条 免許法別表第1に規定する中学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教科に関する科目の単位の修得方法は、次の表の第1欄に掲げる免許教科の種類に応じ、第2欄に掲げる科目について、専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合にあつてはそれぞれ1単位以上計20単位を、二種免許状の授与を受ける場合にあつてはそれぞれ1単位以上計10単位を修得するものとする。

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学 書道（書写を中心とする。）
社会	日本史及び外国史 地理学（地誌を含む。） 「法律学，政治学」 「社会学，経済学」 「哲学，倫理学，宗教学」
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
理科	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む。） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む。） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む。） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む。）
音楽	ソルフェージュ 声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。） 器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。） 指揮法 音楽理論，作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）
美術	絵画（映像メディア表現を含む。） 彫刻 デザイン（映像メディア表現を含む。） 工芸 美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）
保健体育	体育実技 「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」及び運動学（運動方法学を含む。） 生理学（運動生理学を含む。） 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
保健	生理学及び栄養学 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
技術	木材加工（製図及び実習を含む。） 金属加工（製図及び実習を含む。） 機械（実習を含む。） 電気（実習を含む。） 栽培（実習を含む。） 情報とコンピュータ（実習を含む。）
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） 被服学（被服製作実習を含む。） 食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。） 住居学 保育学（実習を含む。）
職業	産業概説 職業指導 「農業，工業，商業，水産」 「農業実習，工業実習，商業実習，水産実習，商船実習」
職業指導	職業指導 職業指導の技術 職業指導の運営管理
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
宗教	宗教学 宗教史 「教理学，哲学」

備考

- 1 第2欄に掲げる教科に関する科目は、一般的包括的な内容を含むものでなければならない。(次条の表の場合においても同様とする。)
- 2 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例によるものとする。(次条の表の場合においても同様とする。)
- 3 「 」内に表示された教科に関する科目の単位の修得は、当該教科に関する科目の1以上にわたって行うものとする。ただし、「農業，工業，商業，水産」の修得方法は、これらの科目のうち2以上の科目(商船をもって水産と替えることができる。)についてそれぞれ2単位以上を修得するものとする。(次条，第9条，第15条第4項，第18条の2及び第64条第2項の場合においても同様とする。)

第5条 免許法別表第1に規定する高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教科に関する科目の単位の修得方法は、次の表の第1欄に掲げる免許教科の種類に応じ、第2欄に掲げる科目について、それぞれ1単位以上計20単位を修得するものとする。

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
国語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学(国文学史を含む。) 漢文学
地理歴史	日本史 外国史 人文地理学及び自然地理学 地誌
公民	「法律学(国際法を含む。)，政治学(国際政治を含む。)」 「社会学，経済学(国際経済を含む。)」 「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ
理科	物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)，化学実験(コンピュータ活用を含む。)，生物学実験(コンピュータ活用を含む。)，地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
音楽	ソルフェージュ 声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。) 器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。) 指揮法 音楽理論，作曲法(編曲法を含む。)及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
美術	絵画（映像メディア表現を含む。） 彫刻 デザイン（映像メディア表現を含む。） 美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）
工芸	図法及び製図 デザイン 工芸制作（プロダクト制作を含む。） 工芸理論，デザイン理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）
書道	書道（書写を含む。） 書道史 「書論，鑑賞」 「国文学，漢文学」
保健体育	体育実技 「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」及び運動学（運動方法学を含む。） 生理学（運動生理学を含む。） 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
保健	「生理学，栄養学，微生物学，解剖学」 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
看護	「生理学，生化学，病理学，微生物学，薬理学」 看護学（成人看護学，老年看護学及び母子看護学を含む。） 看護実習
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） 被服学（被服製作実習を含む。） 食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。） 住居学（製図を含む。） 保育学（実習及び家庭看護を含む。） 家庭電気・機械及び情報処理
情報	情報社会及び情報倫理 コンピュータ及び情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現及び技術（実習を含む。） 情報と職業
農業	農業の関係科目 職業指導
工業	工業の関係科目 職業指導
商業	商業の関係科目 職業指導
水産	水産の関係科目 職業指導

第1欄	第2欄
免許教科	教科に関する科目
福祉	社会福祉学（職業指導を含む。） 高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉 社会福祉援助技術 介護理論及び介護技術 社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。） 人体構造及び日常生活行動に関する理解 加齢及び障害に関する理解
商船	商船の関係科目 職業指導
職業指導	職業指導 職業指導の技術 職業指導の運営管理
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解
宗教	宗教学 宗教史 「教理学，哲学」

第6条 免許法別表第1に規定する幼稚園，小学校，中学校，又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目の単位の修得方法は，次の表の定めるところによる。

備 考

- 1 教育課程及び指導法に関する科目は、幼稚園教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、教育課程の意義及び編成の方法、保育内容の指導法並びに教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）を含むものとし、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、教育課程の意義及び編成の方法、各教科の指導法、道徳の指導法、特別活動の指導法並びに教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）を含むものとし、高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、教育課程の意義及び編成の方法、各教科の指導法、特別活動の指導法並びに教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）を含むものとする。
- 2 教育課程及び指導法に関する科目は、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第38条に規定する幼稚園教育要領、同令第52条に規定する小学校学習指導要領、同令第74条に規定する中学校学習指導要領又は同令第84条に規定する高等学校学習指導要領に掲げる事項に即し、包括的な内容を含むものでなければならない。
- 3 教育の基礎理論に関する科目に教育課程の意義及び編成の方法を含む場合にあつては、教育課程及び指導法に関する科目に教育課程の意義及び編成の方法を含むことを要しない。
- 4 各教科の指導法の単位の修得方法は、小学校教諭の専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合にあつては、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育（以下この号において「国語等」という。）の教科の指導法についてそれぞれ2単位以上を、小学校教諭の二種免許状の授与を受ける場合にあつては、国語等のうち6以上の教科の指導法（音楽、図画工作又は体育の教科の指導法のうち2以上を含む。）についてそれぞれ2単位以上を、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、それぞれ、受けようとする免許教科ごとに修得するものとする。
- 5 道徳の指導法の単位の修得方法は、小学校又は中学校の教諭の専修免許状又は一種免許状の授与を受ける場合にあつては2単位以上を、小学校又は中学校の教諭の二種免許状の授与を受ける場合にあつては1単位以上を修得するものとする。
- 6 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目は、幼稚園教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、幼児理解の理論及び方法並びに教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法を含むものとし、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては、生徒指導の理論及び方法、教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法並びに進路指導の理論及び方法を含むものとする。
- 7 教育実習は、授与を受けようとする普通免許状に係る学校並びに幼稚園教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては小学校、小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては幼稚園及び中学校、中学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては小学校及び高等学校、高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合にあつては中学校の教育を中心とするものとする。この場合において、幼稚園又は小学校には、特別支援学校の幼稚部又は小学部を含み、中学校又は高等学校には、中等教育学校の前期課程又は後期課程及び特別支援学校の中学部又は高等部を含む。
- 8 教育実習の単位数には、教育実習に係る事前及び事後の指導（授与を受けようとする普通免許状に係る学校以外の学校、専修学校、社会教育に関する施設、社会福祉施設、児童自立支援施設及びボランティア団体における教育実習に準ずる経験を含むことができる。）の1単位を含むものとする。（第7条第1項、第10条及び第10条の4の表の場合においても同様とする。）
- 9 幼稚園又は小学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教育実習の単位は、幼稚園（特別支援学校の幼稚部及び附則第18項第4号に規定する幼稚園に相当する旧令による学校を含む。）又は、小学校（特別支援学校の小学部及び附則第18項第1号に規定する小学校に相当する旧令による学校を含む。）において、教員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者については、経験年数1年について1単位の割合で、表に掲げる幼稚園又は小学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目（教育実習を除く。）の単位をもって、これに替えることができる。
- 10 中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教育実習の単位は、中学校

(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部並びに附則第18項第2号に規定する中学校に相当する旧令による学校を含む。)又は高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部並びに附則第18項第3号に規定する高等学校に相当する旧令による学校を含む。)において、教員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者については、経験年数1年について1単位の割合で、表に掲げる中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目(教育実習を除く。)の単位をもって、これに替えることができる。

- 11 教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目(教職実践演習を除く。)の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものとする(第10条及び第10条の4の表の場合においても同様とする。)
- 12 幼稚園、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目、教育実習又は教職実践演習の単位は、教職の意義等に関する科目にあつては2単位まで、教育の基礎理論に関する科目にあつては6単位(二種免許状の授与を受ける場合にあつては4単位)まで、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目にあつては2単位まで、教育実習にあつては3単位まで、教職実践演習にあつては2単位まで、他の学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができる。
- 13 高等学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目、教育実習又は教職実践演習の単位は、教職の意義等に関する科目にあつては2単位まで、教育の基礎理論に関する科目にあつては6単位まで、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目、教育実習並びに教職実践演習にあつてはそれぞれ2単位まで、幼稚園、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができる。
- 14 幼稚園又は小学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教育課程及び指導法に関する科目に係る教育課程の意義及び編成の方法並びに教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)の単位のうち、2単位(二種免許状の授与を受ける場合にあつては1単位)までは、幼稚園又は小学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の単位をもってあてることができる。
- 15 小学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教育課程及び指導法に関する科目に係る各教科の指導法の単位のうち、生活の教科の指導法の単位にあつては2単位まで、特別活動の指導法の単位にあつては1単位まで、幼稚園の教諭の普通免許状の授与を受ける場合の保育内容の指導法の単位をもってあてることができる。
- 16 保育内容の指導法の単位のうち、半数までは、小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の各教科の指導法又は特別活動の指導法の単位をもってあてることができる。
- 17 括弧内の数字は、免許法別表第1備考第9号の規定の適用を受ける者の修得すべき単位数とする。

2 免許法別表第1備考第6号に規定する教職に関する科目の単位を修得させるために大学が設置する修業年限を1年とする課程(以下「教職特別課程」という。)における教職に関する科目の単位の修得方法は、前項に定める修得方法の例によるものとする。

3 大学は、第1項に規定する各科目の開設に当たっては、各科目の内容の整合性及び連続性を確保するとともに、効果的な教育方法を確保するように努めなければならない。

第6条の2 免許法別表第1に規定する幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の専修免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の単位の修得方法は、第2条から第5条までに規定する教科に関する科目(中学校及び高等学校にあつては、当該専修免許状の授与を受けようとする者が有し又は所要資格を得ている一種免許状の教科に応じた教科に関する科目)又は前条に規定する教職に関する科目のうち1以上の科目について単位を修得するものとする。

2 免許法別表第1に規定する幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の一種免許状又は二種免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の単位の修得方法は、第2条から第5条までに規定する教科に関する科目(中学校及び高等学校にあつては、授与を受けようとする免許状の教科に応じた教科に関する科目)又は前条に規定する教職に関する科目若しくは大学が加えるこれ

に準ずる科目のうち1以上の科目について単位を修得するものとする。

第7条 免許法別表第1に規定する特別支援学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の特別支援教育に関する科目の単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

特別支援教育に関する科目 免許状の種類		最低修得単位数			
		第1欄	第2欄	第3欄	第4欄
		理論に関する科目 特別支援教育の基礎	特別支援教育領域に関する科目	免状に定められることとなる特別支援教育領域以外の科目	関する領域に
心身に関する科目 児、児童又は生徒の心理、生理及び病理	心身に関する科目 児、児童又は生徒の教育課程及び指導法		心身に関する科目 児、児童又は生徒の心理、生理及び病理	心身に関する科目 児、児童又は生徒の教育課程及び指導法	
特別支援学校教諭	専修免許状	2	16	5	3
	一種免許状	2	16	5	3
	二種免許状	2	8	3	3

備 考

- 第1欄に掲げる科目は、特別支援学校の教育に係る、心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想並びに心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育に係る社会的、制度的又は経営的事項を含むものとする。
- 第2欄に掲げる科目の単位の修得方法は、特別支援教育領域のうち、一又は二以上の免許状教育領域（授与を受けようとする免許状に定められることとなる特別支援教育領域をいう。次項において同じ。）について、それぞれ次のイ又はロに定める単位を修得するものとする。
イ 視覚障害者又は聴覚障害者に関する教育の領域を定める免許状の授与を受けようとする場合にあっては、当該領域に関する心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（以下「心理等に関する科目」という。）並びに当該領域に関する心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目（以下「教育課程等に関する科目」という。）について合わせて8単位（二種免許状の授与を受ける場合にあっては4単位）以上（当該心理等に関する科目に係る1単位以上及び当該教育課程等に関する科目に係る2単位（二種免許状の授与を受ける場合にあっては1単位）以上を含む。）
ロ 知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に関する教育の領域を定める免許状の授与を受けようとする場合にあっては、当該領域に関する心理等に関する科目及び当該領域に関する教育課程等に関する科目について合わせて4単位（二種免許状の授与を受ける場合にあっては2単位）以上（当該心理等に関する科目に係る1単位以上及び当該教育課程等に関する科目に係る2単位（二種免許状の授与を受ける場合にあっては1単位）以上を含む。）
- 第3欄に掲げる科目は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する教育並びにその他障害により教育上特別の支援を必要とする者に対する教育に関する事項のうち、授与を受けようとする免許状に定められることとなる特別支援教育領域に関する事項以外の全ての事項を含むものとする。
- 第4欄に定める単位は、特別支援学校において、教員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するものについては、経験年数1年について1単位の割合で、それぞれ第1欄から第3欄までに掲げる科目に関する単位をもって、これに替えることができる。

- 2 免許法別表第1に規定する特別支援学校教諭の専修免許状の授与を受ける場合の特別支援教育に関する科目の単位は、前項に規定するもののほか、免許状教育領域の種類に応じ、大学の加える特別支援教育に関する科目についても修得することができる。
- 3 特別支援教育に関する科目の修得により免許法第5条の2第3項の規定による新教育領域の追加の定めを受けようとする場合における特別支援教育に関する科目の単位の修得方法は、追加の定めを受けようとする新教育領域の種類に応じ、第1項の表備考第2号イ又はロに定める単位を修得するものとする。
- 4 前項の規定により修得するものとされる単位は、新教育領域の追加の定めを受けようとする者が免許状の授与を受けた際又は過去に新教育領域の追加の定めを受けた際に修得した単位（新たに追加の定めを受けようとする新教育領域に関する科目に係るものに限る。）をもって、これに替えることができる。この場合において、第1項の表の第3欄に掲げる科目について修得した単位数が同欄に定める最低修得単位数に不足することとなるときは、同欄に掲げる科目について、その不足する単位数と同数以上の単位を修得しなければならない。

5～7 (略)

第8条 削除

第9条 免許法別表第2に規定する養護教諭の普通免許状の授与を受ける場合の養護に関する科目の単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

養護に関する科目 免許状の種類		最低修得単位数								
		衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	学校保健	養護概説	健康相談活動の理論及び方法	栄養学（食品学を含む。）	解剖学及び生理学	「学，薬理概論」 「微生物学，免疫学」	精神保健	看護学（臨床実習を含む。）及び救急処置を含む。
養護教諭	専修免許状	4	2	2	2	2	2	2	2	10
	一種免許状	4	2	2	2	2	2	2	2	10
	二種免許状	2	1	1	2	2	2	2	2	10

備考

- 1 免許法別表第2の養護教諭の一種免許状のロの項に規定する養護に関する科目の単位の修得方法は、衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）、学校保健、養護概説及び栄養学（食品学を含む。）に含まれる内容について、合わせて3単位以上を修得するものとする。
- 2 免許法別表第2の養護教諭の一種免許状のハの項に規定する養護に関する科目の単位の修得方法は、衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）、並びに栄養学（食品学を含む。）についてそれぞれ2単位以上を、学校保健及び養護概説について合わせて2単位以上を修得するものとする。

第10条 免許法別表第2に規定する養護教諭の普通免許状の授与を受ける場合の教職に関する科目の単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

第1欄	最低修得単位数										第5欄	第6欄
	第2欄		第3欄			第4欄						
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目		教育の基礎理論に関する科目			教育課程に関する科目			生徒指導及び教育相談に関する科目		養護 実習	教職 実践 演習
右項の各科目に含めることが必要な事項	教職の意義及び教員の役割	び身分保障等を含む。 教員の職務内容（研修、サービス及び進路選択に資する各種の機会の提供等）	歴史及び思想 教育の理念並びに教育に関する	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	達及び学習の過程を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	は経営的事項 教育に関する社会的、制度的又は教育課程の意義及び編成の方法	道徳及び特別活動に関する内容	及び教材の活用を含む。） 教育の方法及び技術（情報機器	生徒指導の理論及び方法	理論及び方法 する基礎的な知識を含む。）の 教育相談（カウンセリングに関		
養護教諭	専修免許状	2	4			4			4		5	2
	一種免許状	2	4			4			4		5	2
	二種免許状	2	2			2			2		4	2

備考

- 免許法別表第2の養護教諭の一種免許状の口の項及びハの項に規定する教職に関する科目の単位の修得方法は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想並びに幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）のうち1以上の事項並びに養護実習について、それぞれ2単位以上を修得するものとする。
- 養護実習の単位は、養護教諭、養護助教諭又は第69条の2に規定する職員として1年以上良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者については、経験年数1年について1単位の割合で、表に掲げる教職に関する科目（養護実習を除く。）の単位をもって、これに替えることができる。
- 教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目又は生徒指導及び教育相談に関する科目の単位は、教職の意義等に関する科目にあつては2単位まで、教育の基礎理論に関する科目にあつては4単位（二種免許状の授与を受ける場合にあつては2単位）まで、生徒指導及び教育相談に関する科目にあつては2単位まで、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができる。
- 教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目、教職課程に関する科目又は生徒指導及び教育相談に関する科目の単位は、教職の意義等に関する科目にあつては2単位まで、教育の基礎理論に関する科目、教育課程に関する科目並びに生徒指導及び教育相談に関する科目にあつてはそれぞれ4単位（二種免許状の授与を受ける場合にあつては2単位）まで、栄養教諭の普通免許状の授与を受ける場合のそれぞれの科目の単位をもってあてることができる。

第 32 条 免許法別表第 1 の幼稚園、小学校及び中学校の教諭の二種免許状の授与の所要資格に関する指定教員養成機関、免許法別表第 2 の養護教諭の二種免許状のイの項の指定教員養成機関並びに免許法別表第 2 の 2 の栄養教諭の一種免許状及び二種免許状の授与の所要資格に関する指定教員養成機関においては、それぞれ、その免許状授与の所要資格を得させるために必要な授業科目を開設し、生徒に履修させなければならない。

2 免許法別表第 1 の特別支援学校教諭の二種免許状の授与の所要資格に関する指定教員養成機関においては、それぞれ、特別支援教育に関する科目について、その免許状授与の所要資格を得させるために必要な授業科目を開設し、生徒に履修させなければならない。

3 免許法別表第 2 の養護教諭の一種免許状のロの項及びハの項の指定教員養成機関においては、それぞれ、その免許状授与の所要資格を得させるために必要な養護に関する科目の単位及び教職に関する科目の単位を含めて、17 単位及び 32 単位以上の授業科目を開設し、生徒に履修させなければならない。

4 第 1 項及び前項の指定教員養成機関においては、その授業科目の開設に当たっては、幅広く深い教養を身に付けさせるよう適切に配慮しなければならない。

第 66 条の 5 免許法別表第 1 備考第 2 号の 3 の規定により短期大学士の学位を有することと同等以上の資格を有すると認められる場合は、次に掲げる場合とする。

- 一 大学に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した場合（短期大学士の学位を有する場合を除く。）
- 二 指定教員養成機関に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した場合（指定教員養成機関を卒業した場合を除く。）

第 66 条の 6 免許法別表第 1 備考第 4 号に規定する文部科学省令で定める科目の単位は、日本国憲法 2 単位、体育 2 単位、外国語コミュニケーション 2 単位及び情報機器の操作 2 単位とする。

